

# 結核

第九卷 第十號

昭和六年十月二十四日發行

## 綜 說

### 「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

#### (肋膜炎ノ結核感染早期發病論)

(第九回日本結核病學會總會宿題報告)

海軍軍醫學校教官

海軍軍醫中佐 醫學博士 小林 義雄

## 目次

### 第一部 緒論

- 一。從來ノ滲出性胸膜炎發生病理ニ對スル疑義
  - 二。滲出性胸膜炎ノ結核感染早期發病ヲ想ハシムル事實
  - 三。「ツベルクリン」反應陽性轉化ト胸膜炎發病トノ關係
- ### 第二部 海兵ニ「ツベルクリン」反應陽性轉化アリ
- 一。海兵ニ「ツベルクリン」反應陰性者アリ
  - 二。海兵ニ「ツベルクリン」反應陽性轉化アリ
  - 三。「ツベルクリン」反應陽性轉化ハ結核初感染ノ結果ナリヤ
  - 四。「ツベルクリン」反應陽性轉化後早期ノ體況如何
- ### 第三部 滲出性胸膜炎ハ「ツベルクリン」反應陽性轉化後早期ニ發病ス
- 一。緒論

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

- 二。胸膜炎發病前ニ「ツ」反應陽性轉化ヲ發見セシ症例
  - 三。胸膜炎發病前ニ「ツ」反應陰性ニシテ罹患中ニ其ノ陽性ナルヲ發見セシ症例
  - 四。胸膜炎發病前ニ「ツ」反應陰性ニシテ發病後胸液ヨリ結核菌ヲ證明セシ症例
  - 五。胸膜炎發病前ニ「ツ」反應陰性ニシテ其ノ治癒後其ノ陽性ナルヲ發見セシ症例
  - 六。胸膜炎發病前ニ「ツ」反應陰性ニシテ發病後「ツ」反應ヲ檢セザルモ其ノ結核性ト推定スベキ症例
  - 七。「ツ」反應陽性轉化ト胸膜炎發病トノ時間的關係ニ關スル考察。
  - 八。第三部結論
- ### 第四部。滲出性胸膜炎ハ「ツベルクリン」反應陽性轉化後晚期ニ於テモ發病

スルヤ

- 一。緒論
- 二。「ツ」反應陽性健康兵ヨリ胸膜炎ノ發病スル事實
- 三。「ツ」反應陽性健康兵ヨリ發病セル胸膜炎ト陰性健康兵ヨリ發病セル胸膜炎トノ病型比較。
- 四。「ツ」反應陽性健康兵ト陰性健康兵トノ胸膜炎發病時期比較。
- 五。「ツ」反應陽性健康兵ト陰性健康兵トノ胸膜炎發病率比較。

第一部 緒論

淺學菲才ナル私ニ此光榮アル宿題報告ヲ命ゼラレマシタル宮川會長竝ニ會員各位ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマス。本論ニ入りマス前ニ少シ許リ私ガ此問題ノ研究ニ著手シマシタ動機ヲ申上ゲマシテ緒論ニ代ヘ度イト思ヒマス。

一、從來ノ滲出性胸膜炎發生病理ニ對スル疑義

夫レハ一九二四年ノ事デアリマス。當時私ハ吳海軍病院ノ内科ニ勤務シテ居リマシタガ餘リニモ我ガ海軍ニ胸膜炎ノ多イコトヲ痛感シ同年十二月海軍軍醫學校教官ノ職ニ就クニ及ビ遂ニ胸膜炎ノ研究ニ著手シタ次第デアリマス。當時スデニカ、ル軍隊胸膜炎ノ結核性ニ就テハ略々決定シテ居リマシタ。其ノ屢々結核性疾患ヲ併發、繼發又ハ後發スル事實、其ノ胸液ヨリ屢々結核菌ノ證明サレル事實、其ノ多クハ「ツベルクリン」反應陽性ナル事實等ガ最モ有力ナル根據トサレテ居タノデアリマス。但シ茲ニ軍隊胸膜炎ト稱スルハ普通型滲出性胸膜炎(所謂特發性胸膜炎)ノ謂デアツテ斯ノ所謂輕症型胸膜炎ハ論外デアリマス。

當時一般ニ信ゼラレテ居タ處デハ人間ト言フモノハ大抵幼時ニ結核ニ感染シ、其ノ體內何處カニ潜伏性ノ結核病竈ヲ藏スルモノデアアル。其ノ證據ニハ「ツベルクリン」反應ヲ檢スレバ大抵ハ陽性デアアル。胸部「レントゲン」検査ヲ行ヘバ大抵ハ肺門淋巴腺ノ灰化竈位ハアル。ソウ云フ結核ヲ有シ且ツ結核「アレルギー」ヲ有スル人間ガ軍隊ニ入ツテ來ルノデアアルカラ入隊後過劇ナ兵業ニ服スルト夫レガ誘因ト成ツテ陳キ初感染竈或ハ新シキ重感染竈ヨリ胸膜ニ結核菌ノ轉移ヲ起コ

六。第四部結論

第五部 總括

- 一。「ツベルクリン」反應陽性轉化ト胸膜炎ノ發病
  - 二。「ツベルクリンアレルギー」ト胸膜炎。
  - 三。滲出性胸膜炎ノ成因ニ關スル考察
- (表三二枚。圖五枚) (以上)

シ、其所ニ「アレルギト」性ノ滲出性胸膜炎ヲ發病スルニ至ルノデアアル。デアアルカラ軍隊胸膜炎ノ豫防ニハ一般ニ結核ノ感染豫防ヲ行フト共ニ兵業ノ調節ヲ行ツテ胸膜炎ノ發病豫防ヲ計ルヨリ他ニ道ガ無イト云フ様ナ意見ガ多クツタノデアリマス。

果シテ然ルヤ否ヤ私ハ夫レニ疑問ガアツタノデアリマス。丁度其ノ頃、我國ニ於テモ結核發生病理ノ研究ガ盛ニ成リ、ランケ氏ノ三期學說ナドモ一般ニ承認サレル様ニ成リマシタ。其處デ當然問題ト成ルノハ此ノ軍隊胸膜炎ト言フモノガ斯ク結核性ノモノトシタナラバ抑モ如何ナル結核病期ニ屬スルモノデアアルカ。果シテ軍隊胸膜炎ハ從來一般ニ考ヘラレテ居タ様ニ幼時ヨリ存スル陳キ結核感染ノ基礎ノ上ニ成立スルモノデアアルカ否カ。若シ果シテ然リトスルナラバ胸膜炎ノ結核感染ハ其ノ陳キ病竈其物ヨリノ結核菌轉移デアアルカ或ハ新シキ外元性ノ結核重感染ノ結果デアアルカ。

## 二。滲出性胸膜炎ノ結核感染早期發病ヲ想ハシムル事實。

然ルニ我が軍隊胸膜炎ノ實狀ヲ吟味シテ見ルト、古イ結核感染ヨリハ新シイ結核感染ニヨツテ起コル、即チ結核感染後晚期ヨリハ早期ニ發病スルト考フベキ根據ガ少カラズアツタノデアリマス。例ヘバ(一)胸膜炎ハ若イ者ニハ多イガ老人ニハ少イ。海軍デハ新シイ兵ニハ多イガ古イ兵ニハ少イ。(二)胸膜炎ハ田舎出身ノ兵ニ多ク、都會出身ノ兵ニ少イ。(三)胸膜炎ハ日本ニハ多イガ西洋ニハ少イ。西洋ノ軍隊ニハ日本ノ様ニ胸膜炎問題ガ無イ。(四)田舎ニ居タ間ヨリモ軍隊ニ入隊シタ後ノ方ガ胸膜炎ニ罹リ易イ。(五)軍隊ニ入隊シテカラモ始メノ一、二年ノ間ハ胸膜炎ニ罹リ易イガ軍隊生活ニ馴レテ來ルト餘リ罹ラナク成ル。(六)入隊時ノ體格ガ寧ロ強健ノ者ノ方ガ胸膜炎ニ罹リ易ク、所謂結核素因者ハ却ツテ罹リ惡イ。(七)臨牀所見カラモ「レントゲン」所見カラモ胸膜炎ニハ必ズシモ陳イ慢性ノ肺結核ガ發見サレ無イ。(八)檢痰ヲ行ツテモ胸膜炎ニハ結核菌ノ證明サレル事ハ稀レデアアル。(九)豫後カラ言ツテモ此ノ胸膜炎ハ癒リ易イ。海軍ノ胸膜炎ハ其ノ約六〇乃至七〇%ハ全治シテ再ビ海軍ノ役務ニ服スル。(一〇)剖檢シテモ胸膜炎ニハ決シテ從來、世人ノ想像シテ居タ様ナ陳舊結核病竈ガ無イ。最モ胸膜炎其物ノミヲ以テ死ノ轉歸ヲ取ル場合ハ極メテ稀レデアツテ、私

モ未ダ斯カル症例ヲ有セ無イガ、全身粟粒結核ヲ併發シテ死亡スル場合ハ稀レデ無イノデ私モ其一剖檢例ヲ有スル。夫レハ一九二六年二月東京市立築地病院ニ入院シタ二十二歳ノ會社員デ臨牀的ニハ兩側滲出性胸膜炎兼急性粟粒結核ト云フ診斷デアツクガ同年四月死亡後剖檢ノ結果ハ左肺ノ新鮮初期變化群、兩側ノ纖維素纖維性胸膜炎、及全身ノ急性滲出性粟粒結核ト云フ診斷デアツタ。本例ハ結核初感染後早期ニ發病シタ胸膜炎ナル事確實デアアル。當時岡治道博士モ結核初期變化群ノ剖檢的研究ニ從事シテ居ラレタガ、滲出性胸膜炎屍ノ多クハ乾酪性初期變化群ヲ有シ又、陳キ胸膜炎ノ痕跡ト認ムベキ胸膜癒著部ニハ多クハ灰化性初感染竈ヲ有スル事實ヨリシテ結核初期變化群ト胸膜炎トノ關係ノ密接ナルニ著眼シテ居ラレタノデアリマス。

果シテ斯ク我が軍隊胸膜炎ノ成因ガ陳キ結核感染ニ由來スルモノニ非ズシテ、新シキ結核感染ニ由來スルモノトシタナラバ其ノ豫防方針モ建テ變ヘチバ成ラナイコトニ成ル。是レハ重大問題デアアル。夫レデハ此ノ軍隊胸膜炎ノ結核感染早期發病說ヲ確實ニ證明スル方法ハ無イデアラウカ。其處デ考ヘ付イタノハ此ノ「ツベルクリン」反應ト胸膜炎ノ關係デアツタノデアリマス。

### 三。「ツベルクリン」反應陽性轉化ト胸膜炎發病トノ關係

抑モ我が海軍ノ兵員ト云フモノハ從來考ヘテ居タ様ニスベテ「ツベルクリン」反應ガ陽性デアラウカ。若シ中ニ陰性ノ者ガ混在シタナラバ、夫等ハヤガテ結核新感染ニヨリ陽性ニ轉化スベキデハ無カラウカ。若シ此ノ「ツ」反應ノ陽性轉化ガ現認出來レバ、結核新感染ノ在ツク事ヲ推定出來ルカラ、夫レト胸膜炎發病トノ時間的並ニ形態學的關係ヲ調べ得ル筈デアル。先ヅ兵員總員ニ「ツベルクリン」反應ヲ行ツテ夫レヲ陽性群ト陰性群トノ兩群ニ分チ、其ノ陰性群ニハ更ラニ度「ツ」反應ヲ反覆シテ行ク。而シテ其ノ陽性轉化ヲ來シタナラバ、其ノ後胸膜炎ノ發病スルヤ否ヤニ注意シテ見ル。此ノ方法ニヨツテ胸膜炎ガ「ツ」反應陽性群ヨリ發スルカ陰性群カラ發スルカ。若シ陰性群ヨリ發スルトシタナラバ「ツ」反應陽性轉化後如何ナル時期ニ於テ發スルカト云フ事ヲ調べテ見タナラバ胸膜炎ノ結核感染後晚期ニ發スルヤ早期ニ發ス

ルヤノ問題ハ解決スル譯デアアル。其處デ私ハ一九二六年十一月十九日海軍軍醫會研究會ノ席上ニ於テ此ノ研究計畫ヲ發表シタノデアリマス。

然シ乍ラ是レヲ直チニ軍隊ニ實施スル機會ヲ得ズシテ居リマシタガ、次デ翌年一九二七年四月ニ至リマシテ之レガ實施ニ絶好ノ機會ガ到來シタノデアリマス。夫レハ私ガ自ラ在京海軍部隊全部ノ軍醫長職務ヲ執行スル様ニ成リマシタ事デアリマス。夫レデ同年四月京都ニ於テ開カレタ日本結核病學會ニモ出席シテ今村荒男教授其他先輩ノ方々ニ私ノ研究計畫ヲ相談シ、種々ノ助言ヲ得テ益々勇氣ヲ得タ私ハ歸京後直チニ自分ノ預ル軍隊ニ於テ此ノ胸膜炎ノ成因及ビ豫防ニ關スル研究ノ實施ニ著手スル事ニ成ツタノデアリマス。而シテ其ノ研究ノ實施計畫ニ關シテハ岡治道博士及ビ佐藤秀三博士ノ助言ニヨル處多ク、「ツバルクリン」液調製ニ關シテハ佐藤秀三博士ノ盡力ニヨル處ガ多カツタノデアリマス。茲ニ夫等諸氏ニ對シ深甚ナル感謝ノ意ヲ表シマス。

ナホ茲ニ本研究實施ニ好都合デアツタ事ハ日本結核病學會ノ次年度總會ニ於ケル宿題ヲ胸膜炎ト決定サレタ事デアリマス。上田春治郎博士ハ同學會ノ依頼ニヨリ海軍ヲ代表シテ其ノ宿題ヲ擔當セラレマシタガ、幸ヒ私ノ希望ヲ容レラレ、同年六月及十二月入籍ノ各海兵團新兵五六〇〇名ニ對シ「ツバルクリン」反應ヲ検査スル事ニセラレタノデアリマス。

斯クシテ本研究ハ計畫サレテカラ約四年半、實施セラレテカラ約四年ヲ經テ今日ニ至リマシタ。其ノ間中間報告トシテ、度々其ノ成績ヲ雜誌又ハ學會ニ於テ發表シテ來タノデアリマスガ、茲ニ宿題報告ヲ命ゼラル、ニ當リ過去四年間ノ全成績ヲ綜括報告シテ、其ノ責ヲ免レ度イト思ヒマス。此ノ機會ニ於テ本研究ヲ許サレタル小川醫務局長、刑部經理學校長及ビ國府田軍醫學校長ニ敬意ヲ表シ又、終始本研究ニ援助下サレタル佐藤秀三、岡治道兩博士並ニ海軍ノ先輩同僚各位ニ對シ感謝ノ意ヲ表シマス。ナホ東京海軍部隊ニ於テ直接此ノ研究ニ助力ヲ惜シマナカツタ岩崎、染谷、古川三教員及ビ小穴、小林兩看護兵ノ勞ヲ謝スル次第デアリマス。(第一部終リ)

## 第二部 海兵ニ「ツバルクリン」反應陽性轉化アリ

一、海兵ニ「ツベルクリン」反應陽性者アリ

一。「ツベルクリン」反應ノ検査方法

「ツベルクリン」局所反應検査ノ方法トシテハビルケ氏皮膚反應、マンツウ氏皮内反應、ハムブルグル氏皮下反應、モロ  
氏經皮反應等ノ種々アルガ、余ハ最モ確實ニシテ而モ簡便ナルマンツウ氏皮内反應ヲ行ツタ。

注射液ハ傳染病研究所製舊「ツベルクリン」ヲ原液トシタ。其ノ原液ヨリ〇・五%ノ割合ニ石炭酸ヲ加ヘタル〇・九%滅菌  
食鹽水ヲ以テ千倍及百倍稀釋液ヲ製スル。斯カル稀釋液ヲ攝氏一一五度乃至一二〇度ニテ三〇分間加熱消毒シ使用ス  
ル。注射液ハ毎月一回其ノ月頭ニ調製シ一ヶ月間ハ室溫ニ貯ヘテ使用スルヲ例トシタ。但シ、稀釋液モ從來虞レラレタ  
様ニ變質シ易イモノデハ無イ。室溫貯藏數ヶ月ノ後チニ於テモ其ノ反應ニ大差ヲ來サ無イ。余ハ千倍稀釋液ヲ使用スル  
ヲ原則トシ唯、陰性者、疑陰性者、疑陽性者ノ再檢ニノミ參考ノ爲メ百倍液ヲ使用スル。

注射法ハ精確ニ〇・一坵ヲ讀ミ得ル「ツベルクリン」注射器ニ直徑五分ノ一乃至四分ノ一耗ノ注射針ヲ付ケタモノヲ以テ  
スル、其ノ消毒ハ煮沸消毒後成ルベク乾燥シタル後チ筒内ヲ前記千倍「ツベルクリン」注射液ニテ洗ヒ次デ同液ヲ筒内ニ  
充タス。酒精濕布ニテ清拭消毒セル上膊前面又ハ内面皮膚ニ其ノ〇・一坵ヲ皮内注射スル。皮内注射完全ナル時ハ境界  
明劃ニシテ直徑約八一〇耗ナル蒼白色隆起ヲ生ズル。注射後繃帶ヲ用ヒズ、日常ノ作業ヲ制限シ無イ。同時ニモ人數  
注射スル場合ハ注射器ニ充分液ヲ充タシ同ジ針ニテ數人ニ注射スル。但シ、其ノ都度針先ト酒精濕布ニテ拭フ。

成績判定ハビルケ氏皮膚反應ヨリハ容易デアルガ、時ニ其ノ判定ニ苦シム事モアル。余ハ千倍「ツベルクリン」液〇・一坵  
皮内注射後四十八時間目ニ注射局所ヲ檢シ、其處ニ注射針ニヨル刺創ヲ貽スノミニテ發赤モ浸潤モ來サ無イモノヲ陰性  
トスル。直徑一〇耗以上ノ浸潤ヲ生ゼシ場合ハ陽性トスル。其ノ際多クハ發赤ヲ伴フモ女子ニ於テハ發赤不明ノ事ガア  
ル。此ノ陰性ト陽性トノ中間ニ位スルモノモ多少アルガ、夫レハ慎重ニ再檢シテ陰陽何レカニ編入スル。即チ紅斑アルモ  
浸潤無キ場合又ハ直徑四耗以下ノ浸潤在ル場合ハ疑陰性ト認メ直チニ千倍「ツ」液又ハ百倍「ツ」液ニテ再檢シ、其ノ結果  
前回ト同様又ハ同様以下ナラバ陰性ニ編入スル。然ルニ發赤ノ有無ニ拘ラズ浸潤直徑五—九耗ナル場合ハ之レヲ疑陽性

ト認メ直チニ千倍「ツ」液又ハ百倍「ツ」液ヲ以テ再檢シ、其ノ結果、前回同様又ハ同様以上ナル場合ハ陽性ト認定スル。然シ乍ラ記録ニハ陰性陽性ノ判定ヲ記セズシテ發赤竝ニ浸潤ノ直徑ヲ耗ニテ計リシ數ヲ記入シ且ツ水泡壞死、紫斑、淋巴管炎、淋巴腺炎等有ラバ夫レニ附記スル。

(二)海軍軍人軍屬ノ初回「ツベルクリン」反應檢査成績

一九二七年六月二十九日ヨリ一九三一年六月二十九日ニ至ル滿四年間ニ於テ余ノ自ラ東京海軍部隊ノ軍人軍屬合計一三八九名ニ對シ新タニ施行シタル「ツベルクリン」皮内反應檢査ノ成績ハ次ノ第一表ニ示ス通りデア

第一表、東京海軍部隊軍人軍屬「ツ」反應檢査成績(自一九二七年六月至三一年六月)。

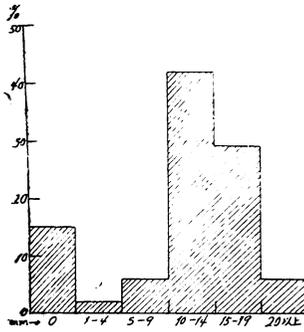
| 番 號 | 級 別 | 員 數 | 檢 査 年 月 日 | 〇 耗 |       | 一—四 耗 |       | 五—九 耗 |       | 〇—四 耗 |       | 五—九 耗 |       | 〇 耗以上 |       | 陰 性 率 % |
|-----|-----|-----|-----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
|     |     |     |           | 陰 性 | 疑 陰 性 | 疑 陽 性 | 弱 陽 性 | 中 陽 性 | 強 陽 性 | 陰 性   | 疑 陰 性 | 疑 陽 性 | 弱 陽 性 | 中 陽 性 | 強 陽 性 |         |
| 一   | 一七生 | 一九  | 二、六、二九    | 〇   | 二     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 四三・七    |
| 二   | 一八生 | 一七  | 二、六、二九    | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 三五・三    |
| 三   | 一九生 | 一五  | 二、六、二九    | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 三三・三    |
| 四   | 二〇生 | 一五  | 三、五、一〇    | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 六〇・〇    |
| 五   | 二一生 | 一五  | 四、七、一六    | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 二六・七    |
| 六   | 二二生 | 一五  | 五、四、八     | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 三五・一    |
| 七   | 二三生 | 一五  | 六、四、四     | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 六〇・〇    |
| 八   | 四〇普 | 二九  | 二、七、六     | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 二七・六    |
| 九   | 四一普 | 三〇  | 二、一、二     | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 二七・四    |
| 一〇  | 四二普 | 二八  | 三、五、一〇    | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 二一・五    |
| 一一  | 四三普 | 二七  | 三、一、五     | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 三三・三    |
| 一二  | 四四普 | 二八  | 四、七、一七    | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 二一・四    |
| 一三  | 四五普 | 五二  | 四、二、六     | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇       |
| 一四  | 四六普 | 五八  | 四、五、六     | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇       |
| 一五  | 四七普 | 五八  | 五、一、六     | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 二七・六    |
| 一六  | 四八普 | 四五  | 六、五、四     | 〇   | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 〇     | 二二・二    |

ナホ此ノ機會ニ於テ我等ノ海軍軍人軍屬ニ於ケル「ツ」反應ノ反應程度ハ如何デアルカ、其ノ陰性率ハ海軍勤務年數、年齢、男女別、配置、原住地、原職業等ニヨツテ差

| 年齢    | 合計   | 水女   | 水男   | 電定   | 特樂定  | 樂定及  | 經定   | 二一   | 二〇   | 一九   | 一八   | 一七   |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 0-4   | 138  | 44   | 39   | 60   | 85   | 106  | 55   | 50   | 40   | 40   | 52   | 52   |
| 5-9   | 266  | 55   | 59   | 65   | 152  | 162  | 51   | 41   | 31   | 21   | 27   | 27   |
| 10-14 | 629  | 125  | 125  | 158  | 271  | 276  | 88   | 66   | 51   | 41   | 71   | 71   |
| 15-19 | 208  | 22   | 26   | 13   | 22   | 33   | 11   | 8    | 5    | 4    | 14   | 14   |
| 20以上  | 108  | 33   | 26   | 13   | 53   | 53   | 11   | 8    | 5    | 4    | 14   | 14   |
| 合計    | 1389 | 244  | 291  | 206  | 352  | 374  | 118  | 88   | 66   | 51   | 77   | 77   |
| 割合    | 16.6 | 5.5  | 5.9  | 6.5  | 15.2 | 16.2 | 8.8  | 6.6  | 5.1  | 4.1  | 7.1  | 7.1  |
| 平均    | 87.7 | 52.3 | 71.1 | 21.7 | 82.2 | 82.2 | 33.6 | 33.6 | 16.0 | 17.5 | 22.5 | 22.5 |

健康青年「ツ」反応陽性陰性自然分離

第一圖 「ツ」反應陽性陰性自然分離



性、陽性自然分離ノ状態ヲ示ス。世人往々「ツ」反應成績判定ヲ以テ全然人工的ナリトシ陰性、陽性ノ間ハ移行型多キガ如ク想像スルモ決シテソウデハ無イノデアアル。但シ、本圖ニ於ケル「ツ」反應成績ハ初メ疑陰性竝ニ疑陽性ナリシ者ニ直チニ再檢ヲ行ヒテ得タル決定成績デアアル。

ナホ陽性ナル場合ニハ一〇—一四耗直径ノ浸潤ヲ生ズルモノ最モ多ク一五—一九耗直径ノ浸潤ヲ呈スルモノ之ニ亞ギ、五—九耗又ハ二〇耗以上ノ場合ハ甚ダ稀レデアアル。但シ、是レハ浸潤ノ直径デアツテ、ナホ其ノ周圍ニ發赤暈ヲ生ズルヲ例トスルモ亦發ハ浸潤ニ比スレバ甚ダ不定デアアルカラ唯判定ノ參考ト成ル

異ガ無イカ等ノ問題ヲ研究スルコト、スル。

(二)海軍、軍人、軍屬ニ於ケル「ツ」ベ  
ルクリン」反應ノ反應程度。

「ツ」反應ノ反應程度ハ第一表ニ於テ窺ヒ居ル様ニ陰性ナル者ハ斷然陰性デアリ、陽性ナルモノハ斷然陽性デアツテ、其ノ中間ニ位シ、判斷ニ困ル様ナ例ハ極メテ稀レデアアル。但シ、コレハ余等ノ對象ガ

ニ過ギ無イ、

(二)海軍勤務年數ト「ツ」反應陰性率、

新シイ兵ハ古イ兵ヨリモ「ツ」反應陰性ナルモノガ多イ。一九二七年余ノ東京海軍部隊デ調査シタ成績ハ一九二八年四月

ノ日本結核病學會總會ニ於ケル上田春治郎博士ノ宿題報告ニ於テモ論ジラレタ處デアル。

海兵團新兵ニ就テハ一九二七年六月及十二月入籍ノ者數千名ニ「ツ」ベルクリンニ皮内反應ヲ行ヒ、其ノ一部成績ハ一六五

一名ノ一九二八年四月上田春治郎博士ニヨツテ第六回日本結核病學會總會宿題トシテ報告サレ又、其ノ全部五五九七名

ニ就テハ一九三〇年四月柴田敏夫博士ニヨリテ第八回軍隊醫學會ニ於テ報告セラレタ處デアル。柴田博士ニヨレバ總計

五五九七名中陽性ナル者三五一五名(六二・八%)、陰性ナル者二〇八二名(三七・二%)デアル。但シ、右ノ内ニハ六月入

籍ノ志願兵モ十二月入籍ノ徵兵モアルワケデアル。前者ノ年齢ハ一七―二〇歳デアルガ、後者ハ滿二〇歳デアル。

第二表 海軍軍人ノ入籍時及ビ入籍後ニ於ケル「ツ」反應検査成績

| 検査時期    | 被検査者ノ種類等級 | 被検査人員數 | 「ツ」皮内反應陽性率% | 検査時年齢 | 入籍後勤務年數 | 「ツ」反應検査年月              | 検査者           |
|---------|-----------|--------|-------------|-------|---------|------------------------|---------------|
| 海軍入籍後検査 | 少年航空兵     | 七九     | 三〇・四        | 一四―一七 | 〇       | 一九三〇年九月                | 原横空軍醫長        |
|         | 志願兵       | 四九七    | 四五・五        | 一七―二〇 | 〇       | 一九二九年一〇月               | 菊地横剛附         |
|         | 海兵生徒      | 一三一    | 五三・四        | 一六―二〇 | 〇       | 一九三〇年六月                | 兼松兵校軍醫長       |
|         | 海經生徒      | 九六     | 六〇・四        | 一六―二一 | 〇       | 一九二七年六月ヨリ<br>三一年六月マデ   | 小林經校軍醫長       |
|         | 徵兵        | 四二一    | 六六・五        | 二〇―二一 | 〇       | 一九二八年一月                | 山城横團軍醫長       |
| 海軍入籍後検査 | 三等兵       | 六九     | 六〇・九        | 一九―二二 | 一―二     | 一九二七年六月ヨリ<br>一九三一年六月マデ | 小林東京各聴軍<br>醫長 |
|         | 二等兵       | 一六八    | 七二・六        | 二〇―二三 | 二―三     |                        |               |
|         | 一等兵       | 一七八    | 八七・一        | 二一―二五 | 三―五     |                        |               |
|         | 三等兵曹      | 二〇五    | 八七・八        | 二三―二七 | 五―七     |                        |               |
|         | 二等兵曹      | 九三     | 九三・五        | 二五―二九 | 七―九     |                        |               |
|         | 一等兵曹      | 五八     | 一〇〇・〇       | 二七―三四 | 九―一五    |                        |               |

説 小林「ツ」ベルクリンアレルギー―ト肋膜炎

然ルニ海軍入籍後勤務年數、年  
以上ニ及、バルモノ多キ東京海軍  
部隊ノ下士官兵ニ於テハ著シク  
其ノ陰性者ヲ減ズルノデアル。  
第一表ニ於テ兵ヨリ成ル普經練  
生ニテハ陰性率二〇―三〇%ノ  
間ニ在ルモ下士官ヨリ成ル高經  
練生ニテハ五―一五%ノ間ニ在  
ル。次ニ第二表ニ於テハ三等兵  
ヨリ一等兵曹ニ進ムト共ニ「ツ」  
反應陰性率ノ次第ニ減少スル様

子ヲ知ル事ガ出來ル。即チ勤務年數一・二三年ノ三等兵ニテハ陰性率三九・一%ナルニ對シ、勤務年數九・一五年ニ及ベル一等下士官ニ於テハ著シク減少シテ〇%ト成ル。右ノ事實ハ恰モ海軍入籍後ニ於テ次第ニ「ツ」反應陰性者ノ減少シ、陽性者ノ増加スル事換言スレバ「ツ」反應陽性轉化ノ存スル事ヲ推定セシメル。

(三)年齡ト「ツ」反應陰性率。

一般ニ「ツ」反應陰性者ハ年齡若キ者ニ多ク、老イタル者ニ少イ。

海軍入籍時ニ於ケル海軍軍人ノ「ツ」反應陽性率ハ、其他ノ種々ナル條件ニモ從フガ、年齡ニヨル處最モ大デアル。第二表ニ於テハ地方的影響ヲ少クスル爲メ何レモ横須賀ノ新兵ニテ此ノ關係ヲ比較シタノデアルガ少年航空兵デハ僅カ三〇・四%ニ過ギナイガ、志願兵デハ四五・五%、徵兵デハ六六・五%デアル。

海軍入籍後ニ於テ勤務年數ト共ニ「ツ」反應陽性者ヲ増ス事ハ前項ニ於テ述べタ處デアルガ、當然年齡高キモノニ「ツ」反應陽性率高ク、年齡低キモノニ「ツ」反應陽性率低キ結果ト成ル。

第三表 海軍軍屬ノ年齡及性別「ツ」反應成績

| 年<br>齡 | 男   |     |       | 女  |     |       | 合 計 |     |       |
|--------|-----|-----|-------|----|-----|-------|-----|-----|-------|
|        | 總數  | 陽性數 | 陽性率 % | 總數 | 陽性數 | 陽性率 % | 總數  | 陽性數 | 陽性率 % |
| 一五—一九  | 四三  | 三五  | 八一    | 一七 | 四   | 二三    | 六〇  | 三九  | 六五    |
| 二〇—二五  | 一三二 | 一一〇 | 九一    | 二二 | 一四  | 六四    | 一五四 | 一三四 | 八六    |
| 二六—三〇  | 八九  | 八三  | 九三    | —  | 〇   | 〇     | 九〇  | 八三  | 九二    |
| 三一—三四  | 三七  | 三七  | 一〇〇   | —  | 〇   | 〇     | 三八  | 三七  | 九八    |
| 三五—三九  | 二四  | 二三  | 九六    | —  | 〇   | 〇     | 二五  | 二四  | 九六    |
| 四〇—五〇  | 三二  | 三一  | 九七    | 二  | 一〇〇 | 〇     | 三四  | 三三  | 九七    |
| 五一以上   | 三四  | 三四  | 一〇〇   | 〇  | 〇   | —     | 三四  | 三四  | 一〇〇   |
| 合計及平均  | 三九一 | 三六三 | 九二・九  | 四四 | 二一  | 四七・七  | 四三五 | 三八四 | 八八    |

然シ、是レハ年齡ノミノ關係デ無イ事ハ、次ニ第三表ニ示ス水路部軍屬ノ成績ト第二表ノ軍人ノ成績ト比較スレバ判ル。同一年齡デモ長ク都會生活ヲシテ居ル夫等軍屬ハ比較的田舎者ノ多イ軍人ヨリモ遙カニ陽性率ガ高イノデアル、即チ、入籍時ニ於テ二〇—二一歳ノ徵兵デモ六六・五%デアリ、入籍後二乃至三年ヲ經タル二〇—二三歳ノ二等兵デモ七二・六%ナルニ對シ水路部男技生デ

八一五——一九歳ニテスデニ八一・〇%ニ達スルノデアル。故ニ單ニ年齢ヨリハ勤務環境乃至勤務年數ニヨルノデアル。

(四) 男女別ト「ツ」反應陰性率

私ハ軍隊生活ト工場生活トノ比較ノ爲メニ在京海軍部隊ノ軍人ト水路部ノ軍屬トノ「ツ」反應検査竝ニ一般健康検査ヲ行ツテ見テ居ルノデアルガ後者ニハ幸ヒ四四名ノ女子ガ居ル。今、其ノ女子ト軍人トノ比較ヲ試ミテ見ル。蓋シ其ノ女子ノ殆ンド全部八一五歳——二五歳ノ娘デアルカラ年齢ノ點デモ下士官兵ト比較スルノニ適當デアル。第三表ニ示セルガ如ク女子ニ於ケル「ツ」反應陽性率八一五——二〇歳ニテハ二三%、二一——二五歳ニテハ六四%デアツテ、是レヲ殆ンド同年齡ナル第二表ノ海軍新兵竝ニ海軍新生徒ノ陽性率ト比較スルニハホボ匹敵スルガ入籍後——三年ヲ經タ東京ノ二三等兵ノ夫レニ比較スルニ稍々低イ。

然シ乍ラ、是レヲ同ジク水路部ノ同年齡ノ男軍屬ト比較スルト非常ノ差デアル。一五——一九歳ニテ男ハ八一%ナルニ對シ女子二三%デアル。

右ノ如ク女子軍屬ニ於テ陰性者多キハ同ジク都會生活トハ言ヘ女子ニ於テハ男子ニ比シテ家庭外集團生活ノ少キニヨルカ、又ハ未ダ都會生活ニ新シキニヨルカ。水路部従業員ハスベテ通勤者デアルガ女子ニハ自ラノ家庭カラ通勤スルモノ多イ事ガ最モ重大ナル原因デハアルマイカ。

(五) 生活環境ト「ツ」反應陰性率

前述ノ如ク同一年齡デモ其ノ陰性率ハ軍人ト軍屬トデ異ナリ、男子ト女子トデ異ナル。女子軍屬ハ家庭ニ生活シ、軍人ハ軍隊内ニ生活シ、男子軍屬ハ家庭外集團生活ヲ營ムモノト假定シタナラバ家庭生活ハ最モ結核感染率少ク、軍隊生活ハ之レニ亞ギ、家庭外集團生活ハ最モ大ナリト謂ハテ成ラナイ。是レヲ一七——一八歳ノ青年ニ於テ比較スレバ三對六對八ノ比デアルトモ謂ヘヤウ。右ニヨツテ觀レバ軍隊生活ハ他ノ集團生活、例ヘバ水路部男子ト比シテ決シテ結核傳染機會ノ多イ環境デハ無イダラウト推定シ得ル。然シ乍ラ右ハ生來海軍入籍時迄ノ環境ト海軍入籍後ノ環境トノ影響ノ總和デアル。而シテ入籍前ノ環境ハ各個人ニヨツテ著シク異リ又、入籍後ノ期間ニ比シテ著シク長イノデアルカラ、其ノ影

響ノ方ガ大ナリト見子バナラナイ。從ツテ直チニ右ヲ以テ軍隊内ノ結核傳染機會少キヲ斷定スル事ハ出來無イ。或ハ「ツ」反應陰性ナル者ノミガ選バレテ軍隊ニ入籍シタモノカモ知レナイノデアル。依テ隊内ト隊外トノ結核傳染機會ノ比較ハ寧ロ、夫等ノ「ツ」反應陽性轉化率ヲ比較スル方ガ適當デアル。其ノ轉化率ノ調査ハ必ズシモ容易デハ無イガ後ニ項ヲ改メテ詳述スル事ニスル。

然シ乍ラ海軍軍人ノ入籍前ノ環境ハ生來入籍マデノ長期間生活セシ環境デアルカラ其ノ「ツ」反應成績ニ及ボス影響ハ相當大ナリト考ヘ子バナラナイ。殊ニ入籍前ニ於ケル原住地及原職業ト入籍時「ツ」反應トノ關係ハ其ノ間ノ消息ヲ知ル好材料デアル。依ツテ余ハ海經生徒一一一名ニ就テ其ノ入籍時ノ時ノ「ツ」反應成績ト入籍前ノ生活環境トノ關係ヲ調査シテ見タ。ナホ、一九二七年十二月入籍シタル横須賀、吳、佐世保各海兵團新兵三三一七名ニ就テモ翌年一一二月ニ於テ行ハレタ入籍時「ツ」皮内反應成績ト原住地及原職業トノ關係ヲ調査シテ見タ。但シ、本統計ハ夫等各海兵團徵兵中、一九三〇年十一月現役滿期ト成リタル者三三一七名ノミニ就テ其ノ還納身體歴ニヨツテ調査シタモノデアル。右身體歴ヲ貸與セラレタル高杉横鎮、福島吳鎮、今吉佐鎮、各軍醫長ニ感謝ノ意ヲ表スル。

(六)海軍入籍前住地ト「ツ」反應陰性率、  
入籍前住地ハ其ノ兵ノ生後海軍入籍迄ノ殆ンド全部ヲ生活シタル環境デアル。其ノ環境影響ハ相當大キイモノト見子バ成ラナイ

海經生徒一一一名ノ入校時ニ於ケル「ツ」反應檢査成績ト原住地トノ關係ヲ調べテ見ルニ次ノ第四表ニ示セルガ如ク一般ニ交通不便ナ地方出身者ニ陰性率高ク、交通便利ナ地方出身者ニ陰性率ノ低イ傾向ガアル。即チ一見文化地方ニ「ツ」反應陽性率ノ高イ觀ヲ呈スル。

是レハ餘リ多數ノ數ニ就テノ統計デハ無イカラ確カニハ言ヘナイガ昭和二年度徵兵(同年十二月一日入籍)ニシテ昭和五年十一月現役滿期ト成ツタ兵三三一七名ノ入籍時(昭和三年一一二月檢査)「ツ」反應成績ヲ府縣別ニ統計シタモノハ相當ノ數デアルカラ此ノ缺ヲ補フニ充分デアル。第四表ニ就テ見ルニ東北地方、山陰地方、宮崎縣地方出身徵兵ニ於テハ

「ツ」反應陰性率高ク其約半数以上陰性ナルハ注目ニ値スル 是等地方ハ或ハ所謂比較的結核處女地或ハ結核稀薄地ト稱スベキ地方カモ知レナイ。然シ横須賀、吳、佐世保ハ三鎮守間ニハ「ツ」反應陰性率ニ大シタ差異ガ無ク何レモ、三三%内外デアレ。

第四表 海經生徒及ビ海兵團新兵入籍時「ツベルクリン」皮内反應成績ト入籍前住地トノ關係

| 番<br>號 | 府<br>縣 | 所<br>屬 | 經校新入生徒 |           | 昭和二年度徵兵 |           | 備<br>考 |
|--------|--------|--------|--------|-----------|---------|-----------|--------|
|        |        |        | 總員數    | 「ツ」反應陰性率% | 總員數     | 「ツ」反應陰性率% |        |
| 一      | 北海道    | 樺太     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二      | 東京     | 東京     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三      | 京都     | 京都     | 一      | 七         | 一       | 五         |        |
| 四      | 大阪     | 大阪     | 一      | 五         | 一       | 四         |        |
| 五      | 神奈川    | 横濱     | 二      | 一         | 一       | 三         |        |
| 六      | 兵庫     | 兵庫     | 五      | 三         | 一       | 六         |        |
| 七      | 長崎     | 佐賀     | 五      | 〇         | 四       | 九         |        |
| 八      | 新潟     | 新潟     | 〇      | 〇         | 四       | 三         |        |
| 九      | 群馬     | 群馬     | 〇      | 〇         | 二       | 八         |        |
| 一〇     | 茨城     | 茨城     | 〇      | 〇         | 一       | 七         |        |
| 一一     | 栃木     | 栃木     | 〇      | 〇         | 一       | 六         |        |
| 一二     | 千葉     | 千葉     | 〇      | 〇         | 一       | 九         |        |
| 一三     | 群馬     | 群馬     | 〇      | 〇         | 一       | 七         |        |
| 一四     | 茨城     | 茨城     | 〇      | 〇         | 一       | 六         |        |
| 一五     | 栃木     | 栃木     | 〇      | 〇         | 一       | 七         |        |
| 一六     | 千葉     | 千葉     | 〇      | 〇         | 一       | 九         |        |
| 一七     | 愛知     | 愛知     | 〇      | 〇         | 一       | 七         |        |
| 一八     | 靜岡     | 靜岡     | 〇      | 〇         | 一       | 七         |        |
| 一九     | 北海道    | 樺太     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二〇     | 東京     | 東京     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二一     | 京都     | 京都     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二二     | 大阪     | 大阪     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二三     | 神奈川    | 横濱     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二四     | 兵庫     | 兵庫     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二五     | 長崎     | 佐賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二六     | 新潟     | 新潟     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二七     | 群馬     | 群馬     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二八     | 茨城     | 茨城     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 二九     | 栃木     | 栃木     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三〇     | 千葉     | 千葉     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三一     | 群馬     | 群馬     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三二     | 茨城     | 茨城     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三三     | 栃木     | 栃木     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三四     | 千葉     | 千葉     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三五     | 群馬     | 群馬     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三六     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三七     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三八     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 三九     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 四〇     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 四一     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 四二     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 四三     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 四四     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 四五     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 四六     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 四七     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 四八     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 四九     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 五〇     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 五一     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 五二     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 五三     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 五四     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 五五     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 五六     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 五七     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 五八     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 五九     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 六〇     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 六一     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 六二     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 六三     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 六四     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 六五     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 六六     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 六七     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 六八     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 六九     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 七〇     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 七一     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 七二     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 七三     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 七四     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 七五     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 七六     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 七七     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 七八     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 七九     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 八〇     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 八一     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 八二     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 八三     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 八四     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 八五     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 八六     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 八七     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 八八     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 八九     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 九〇     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 九一     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 九二     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 九三     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 九四     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 九五     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 九六     | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 九七     | 滋賀     | 滋賀     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 九八     | 岐阜     | 岐阜     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 九九     | 長野     | 長野     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |
| 一〇〇    | 山梨     | 山梨     | 〇      | 〇         | 〇       | 〇         |        |

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

|    |     |   |   |     |    |    |    |     |     |    |     |     |      |      |
|----|-----|---|---|-----|----|----|----|-----|-----|----|-----|-----|------|------|
| 三七 | 和歌山 | 〇 | 〇 | 一二二 | 八三 | 七四 | 四五 | 熊本  | 三   | 二  | 三三  | 一一四 | 七三   | 六四   |
| 三八 | 徳島  | 〇 | 〇 | 六三  | 四八 | 七六 | 四六 | 宮崎  | 一   | 一  | 一〇〇 | 三六  | 一八   | 五〇   |
| 三九 | 香川  | 〇 | 〇 | 六〇  | 四三 | 七二 | 四七 | 鹿兒島 | 九   | 四  | 四四  | 一五一 | 一〇六  | 七〇   |
| 四〇 | 愛媛  | 〇 | 〇 | 一二五 | 八五 | 六八 | 四八 | 沖繩  | 〇   | 〇  | 一   | 一九  | 一三   | 六八   |
| 四一 | 高知  | 〇 | 〇 | 四四  | 二六 | 五九 | 總計 | 及平均 | 一一二 | 六四 | 五七八 | 三三二 | 二一八  | 六六・八 |
| 四二 | 福岡  | 二 | 一 | 一二四 | 八七 | 七〇 | 横鎮 | 二   | 二   | 四二 | 二八  | 〇   | 六六・五 |      |
| 四三 | 大分  | 四 | 一 | 二五  | 六六 | 四二 | 吳鎮 | 二   | 二   | 〇  | 三三  | 四九  | 六六・七 |      |
| 四四 | 佐賀  | 五 | 四 | 八〇  | 二二 | 一四 | 佐鎮 | 八   | 七   | 七三 | 五八  | 九   | 六六・三 |      |

(七)海軍、入籍前職業ト「ツ」反應陰性率

海兵入籍時ノ「ツ」反應陰性率ハ明カニ農業、漁業出身者ニ於テ高率ニシテ、工業、商業出身者ニ低率ナル傾向ガアル。昭和二年度徴兵ノ統計ニヨレバ「ツ」反應陰性率ハ農業出身者ハ四一・七%、漁業出身者ニ三四・六%デアアルガ工業出身者デハ二八・七%、商業出身者デハ二八・〇%ニ過ギナイ。其他ノ職業ニ於テハ不定デアアル。其ノ關係ヲ第五表ニ示ス。

第五表 海軍徴兵入籍時「ツベルクリン」反應ト入籍前職業

| 番 號 | 入籍前 職業 | 横 須 賀  |       | 吳      |       | 佐 世 保  |       | 合計及平均  |       |
|-----|--------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
|     |        | 被檢者 員數 | 陽性率 % | 被檢者 員數 | 陽性率 % | 被檢者 員數 | 陽性率 % | 被檢者 總數 | 陽性率 % |
| 一   | 農業     | 一八三    | 六四・〇  | 五三一    | 五四・九  | 二九七    | 五八・六一 | 一一一    | 五八・三  |
| 二   | 漁業     | 一六     | 六八・六  | 六四     | 六八・七  | 四四     | 五九・〇  | 二二四    | 六五・四  |
| 三   | 工業     | 九一     | 六九・二  | 七一〇    | 七二・一  | 二五五    | 七一・四  | 一〇五六   | 七一・三  |
| 四   | 商業     | 六五     | 七〇・七  | 四一一    | 七二・九  | 一一六    | 七一・六  | 五九二    | 七二・〇  |
| 五   | 船員     | 一五     | 六六・七  | 一〇六    | 七六・四  | 九九     | 八四・〇  | 二二〇    | 七九・〇  |
| 六   | 事務員    | 二三     | 八二・六  | 四九     | 八一・六  | 二三     | 六六・六  | 九五     | 七九・〇  |
| 七   | 其他     | 二八     | 五三・六  | 一一二    | 七一・四  | 三八     | 五五・二  | 一七八    | 六五・二  |
| 合計  |        | 四二一    | 六六・五  | 二〇二三   | 六六・七  | 八七三    | 六七・三  | 三三三一   | 六六・八  |

要之、海軍軍人及軍屬ニハ其原住地、原職業、年齢等ニヨリテ多少ノ差異ヲ有スルモ其ノ入籍時ニ於テハ約三〇乃至四〇%ハ「ツ」反應陰性者ヲ有スル事ハ明カデアアル。其後軍隊内又ハ工場内ニ於ケル勤務年數ノ増加ト共ニ其ノ陰性數ヲ減少シ、入籍後七乃至九年以上ヲ經過シ、年齢二五乃至二九歳ニ達セル二等下士官以上ニ於テハ殆ンド九五乃至一〇〇%陽性ナ

ルヲ認メル。斯ルガ故ニ從來、成人ハ一般ニ「ツ」反應陽性ナルベシト信ゼラレシハ一面ノ眞理ナルモ、他ノ一面ニ於テ其ノ入籍時ニ於テハ斯カル陰性者ノ存スル事ヲ忘レテハナラナイノデアル。而シテ入籍後勤務年數ノ増加ト共ニ夫等陰性者ノ減少シテ行ク事ハ吾人ノ注目ニ値スル事實デアツテ、夫等軍人軍屬ノ間ニ「ツ」反應陽性轉化ノ行ハレツ、アルヲ暗示スルモノデアル。但シ其ノ際陽性轉化ノミ行ハル、カ、陰性轉化陽性轉化共ニ行ハレ陰性轉化數ヨリモ陽性轉化數ノ方が多イ結果アルガ、次ニ其ノ問題ノ研究ニ移ル事トスル。

## 二。海兵ニ「ツベルクリン」反應陽性轉化アリ

海軍ノ軍人軍屬ニハ「ツベルクリン」反應陰性ナル者ガ相當アルノデアル。此ノ陰性者ハ別ニ病人デハ無イ。嚴格ナ身體検査ヲ受ケテ入校又ハ入團又ハ採用サレタ者デ而モ其後毎月又ハ定期ニ健康診断ヲ受ケル居ルモノデ健康者ト認ムベキモノデアル。此ノ「ツ」反應陰性ナモノガヤガテ海軍ニ勤務中ニ「ツ」反應陽性ニ變化スル事ガアルノデアル。是レヲ私ハ「ツベルクリン」反應陽性轉化」ト呼ンデ居ル。

### 一。「ツベルクリン」反應陽性轉化發見ノ方法

「ツ」反應ノ陽性轉化ヲ發見スルニハ「ツ」反應陰性者ニ同反應ヲ連續反復検査シテ行ツテ其ノ陽性ニ成ルノヲ現認スルヨリ外ハ無イ。然ラバ其ノ反復ノ頻度ハ如何カト言フニ私モ始メハ年ニ二―三回デヨイト思ツタガ、ヤツテ見ルト陽性轉化ガ案外急劇ニ起コルノデ一九二九年十一月カラ斷然毎月一回行フ事ニシタ。但シ水路部軍屬ニ對シテハ隔月ニシテ居ル。然シ夫レデモ未ダ疎デアル様ニ思ハル。即チ前月「ツ」反應陰性デ全然無反應ノモノガ一ヶ月後ニハ直徑一五乃至二〇

〇耗ノ著明ナ浸潤ヲ生ズルニ至リ且ツ水泡ヲ生ズル様ナ例モ少ク無イノデアル。  
私ハ毎月一回規定ノ月例健康検査ノ際「ツ」反應陰性者總員ニ此ノ「ツ」皮内反應ヲ檢スルト共ニ全身ノ臨牀的身體検査ヲ行ヒ殊ニ體溫、體重、肺活量、喀痰等ヲモ検査シテ行クコトニシテ居ル。ナホ夫等陰性者ニハ右ノ検査ノ外ニ始メ一回

胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ行ヒ且ツツウエステルグレン氏法ニヨリ赤血球沈降速度ヲ測定スル事ニシテ居ル。而シテ「ツ」反應ガ陽性ニナルト直チニ精シク全身ノ身體検査ヲ行ヒ、且ツ體溫、體重、肺活量、胸圍、胸圍擴張、赤血球沈降速度等ノ測定、胸部「レントゲン」寫眞検査、喀痰、結核菌検査、血液結核菌培養検査等ヲ行フヲ例トスル。

二。「ツベルクリン」反應陽性轉化ノ現認

右ノ方法ニヨツテ余ノ自ラ一九二七年六月末ヨリ三一年九月中旬ニ至ル期間ニ於テ東京海軍部隊ノ軍人ニ發見シ得タル「ツ」皮内反應陽性轉化例ハ合計五三例ハ次ノ第六表ニ示ス通りデアアル。

ナホ一九三〇年九月中旬ヨリ三一年九月中旬ニ至ル滿一ケ年間ニ於テ水路部軍屬ニ發見セル「ツ」反應陽性轉化例ハ合計一三例ニシテ次ノ第七表ニ示ス通りデアアル。右通計六六例デアアル。

夫等六六例中第六表ノ第一三、第一九、第二八、第三一、第三二、第五一ノ六例ハ陽性轉化著明ナラズ、何レモ轉化後八耗以上ニ上ラ無イモノデアアルカラ疑陽性轉化ト稱スベキモノデアアル。然ルニ其他ノ六〇例ニ於テハ何人モ異議ナキ程立派ニ陽性轉化ヲ營ンデ居ル。海軍軍人軍屬ノ海軍勤務中「ツ」反應陽性轉化ノ行ハレツ、ハアル事實ハ之レデ確證サレタハデアアル。

第六表 東京海軍部隊ノ軍人ニ發見セル「ツベルクリン」反應陽性轉化例(一九二七年六月—一九三一年九月)

| 陽轉番號 | 人名  | 所屬 | 最初「ツ」陰性反應 |   | 最終「ツ」陰性反應 |   | 陰性檢査回数 |   | 最初「ツ」陽性反應 |   | 最終「ツ」陽性反應 |    | 陽性檢査回数 |    | 最終陰性<br>陽性マデ<br>ヨリ最初<br>陽性マデ<br>ノ日數 |     |
|------|-----|----|-----------|---|-----------|---|--------|---|-----------|---|-----------|----|--------|----|-------------------------------------|-----|
|      |     |    | 年         | 月 | 日         | 年 | 月      | 日 | 年         | 月 | 日         | 年  | 月      | 日  |                                     | 成績  |
| 一    | 一八生 |    | 二七        | 六 | 三九        |   |        |   | 二七        | 九 | 八         | 二八 | 六      | 一四 | 一八                                  | 二   |
| 二    | 二五高 |    | 二七        | 一 | 一〇        |   |        |   | 二八        | 七 | 五         | 二八 | 七      | 一五 | 一                                   | 二九七 |
| 三    | 〃   |    | 二七        | 一 | 一〇        |   |        |   | 二八        | 〃 |           | 二八 | 七      | 一五 | 一                                   | 二九七 |
| 四    | 一九樂 |    | 二七        | 一 | 一七        |   |        |   | 二八        | 四 | 九         | 二八 | 七      | 一八 | 二                                   | 一四四 |
| 五    | 〃   |    | 二七        | 一 | 一七        |   |        |   | 二八        | 一 | 一         | 二九 | 七      | 一五 | 二                                   | 三〇九 |

綜 說 小林「ツメルクリンアレルギー」ト肋膜炎

|                         |                         |        |        |                         |                         |        |             |                         |                         |                         |                         |                         |                               |                         |                         |        |                               |                               |                               |        |        |        |        |                         |                               |                         |                         |             |   |   |   |
|-------------------------|-------------------------|--------|--------|-------------------------|-------------------------|--------|-------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------|-------------------------|--------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------|---|---|---|
| 三<br>四                  | 三<br>三                  | 三<br>二 | 三<br>一 | 三<br>〇                  | 二<br>九                  | 二<br>八 | 二<br>七      | 二<br>六                  | 二<br>五                  | 二<br>四                  | 二<br>三                  | 二<br>二                  | 二<br>一                        | 二<br>〇                  | 一<br>九                  | 一<br>八 | 一<br>七                        | 一<br>六                        | 一<br>五                        | 一<br>四 | 一<br>三 | 一<br>二 | 一<br>一 | 一<br>〇                  | 九                             | 八                       | 七                       | 六           |   |   |   |
| ■                       | ■                       | ■      | ■      | ■                       | ■                       | ■      | ■           | ■                       | ■                       | ■                       | ■                       | ■                       | ■                             | ■                       | ■                       | ■      | ■                             | ■                             | ■                             | ■      | ■      | ■      | ■      | ■                       | ■                             | ■                       | ■                       | ■           | ■ |   |   |
| 二<br>七<br>高             | 經<br>定                  | "      | "      | 二<br>七<br>高             | 一<br>九<br>生             | "      | "           | 四<br>五<br>普             | "                       | "                       | 二<br>七<br>高             | 四<br>五<br>普             | "                             | 二<br>一<br>生             | 二<br>〇<br>樂             | "      | "                             | 四<br>四<br>普                   | 二<br>〇<br>樂                   | "      | "      | "      | "      | 二<br>六<br>高             | 四<br>四<br>普                   | "                       | 二<br>〇<br>生             | 一<br>九<br>生 |   |   |   |
| 二<br>九、<br>一、<br>六      | 三<br>〇、<br>二、<br>三      | "      | "      | 二<br>九、<br>一、<br>六      | 二<br>七、<br>六、<br>二<br>九 | "      | "           | "                       | "                       | "                       | 二<br>九、<br>一、<br>六      | 二<br>九、<br>一、<br>六      | "                             | 二<br>九、<br>七、<br>一<br>六 | 二<br>八、<br>二、<br>一<br>七 | "      | "                             | 二<br>九、<br>七、<br>一<br>七       | 二<br>八、<br>二、<br>一<br>七       | "      | "      | "      | "      | 二<br>八、<br>一、<br>五      | "                             | 二<br>八、<br>五、<br>一<br>〇 | 二<br>七、<br>六、<br>二<br>九 |             |   |   |   |
| 〇                       | 四                       | 〇      | 〇      | 〇                       | 〇                       | 〇      | 〇           | 〇                       | 〇                       | 〇                       | 〇                       | 〇                       | 三                             | 三                       | 四                       | 〇      | 三                             | 四                             | 四                             | 〇      | 〇      | 〇      | 〇      | 〇                       | 〇                             | 〇                       | 〇                       | 〇           | 〇 |   |   |
| 三<br>〇、<br>三、<br>二      | "                       | "      | "      | 三<br>〇、<br>一、<br>二      | "                       | "      | "           | "                       | "                       | "                       | 二<br>九、<br>一、<br>一      | "                       | "                             | 二<br>九、<br>七、<br>一<br>六 | "                       | "      | "                             | "                             | "                             | "      | "      | "      | "      | "                       | "                             | "                       | 二<br>八、<br>六、<br>一<br>四 |             |   |   |   |
| 〇                       |                         | 〇      | 〇      | 〇                       | 〇                       | 〇      | 〇           | 〇                       | 〇                       | 〇                       |                         |                         |                               | 三                       |                         |        |                               |                               |                               |        |        |        |        |                         |                               |                         |                         |             | 〇 |   |   |
| 五                       | 一                       | 三      | 三      | 三                       | 八                       | 二      | 二           | 二                       | 二                       | 二                       | 二                       | 一                       | 二                             | 一                       | 二                       | 一      | 一                             | 一                             | 一                             | 一      | 一      | 一      | 一      | 一                       | 一                             | 一                       | 一                       | 一           | 五 |   |   |
| 三<br>〇、<br>四、<br>一<br>〇 | 三<br>〇、<br>三、<br>一<br>三 | "      | "      | 三<br>〇、<br>二、<br>〇      | "                       | "      | "           | "                       | "                       | "                       | 三<br>〇、<br>一、<br>二<br>〇 | 二<br>九、<br>一、<br>一<br>四 | 二<br>九、<br>一、<br>〇、<br>一<br>四 | "                       | "                       | "      | 二<br>九、<br>一、<br>〇、<br>一<br>七 | 二<br>九、<br>一、<br>〇、<br>一<br>七 | 二<br>九、<br>一、<br>七、<br>一<br>六 | "      | "      | "      | "      | 二<br>九、<br>七、<br>一<br>五 | 二<br>九、<br>七、<br>一<br>八       | "                       | 二<br>九、<br>七、<br>一<br>六 |             |   |   |   |
| 一<br>一                  | 二<br>〇                  | 五      | 七      | 一<br>二<br>水             | 二<br>八<br>水             | 一<br>六 | 二<br>二<br>水 | 一<br>三                  | 一<br>〇                  | 七                       | 一<br>四                  | 一<br>四                  | 八                             | 八                       | 二                       | 〇      | 七                             | 八                             | 八                             | 八      | 八      | 五      | 五      | 五                       | 三                             | 二                       | 三                       |             |   |   |   |
| 三<br>〇、<br>七、<br>七      | 三<br>〇、<br>七、<br>三      | "      | "      | 三<br>〇、<br>七、<br>一<br>四 | 三<br>〇、<br>一、<br>一      | "      | "           | 三<br>〇、<br>四、<br>一<br>〇 | 三<br>〇、<br>七、<br>一<br>〇 | 三<br>〇、<br>七、<br>一<br>〇 | 三<br>一、<br>六、<br>一<br>一 | 三<br>〇、<br>九、<br>三<br>〇 | 二<br>九、<br>一、<br>〇、<br>一<br>二 | 二<br>九、<br>一、<br>一      | 三<br>〇、<br>九、<br>二<br>三 | "      | "                             | "                             | "                             | "      | "      | "      | "      | "                       | 二<br>九、<br>一、<br>〇、<br>一<br>〇 | 三<br>一、<br>六、<br>一<br>一 | 三<br>〇、<br>九、<br>一<br>三 |             |   |   |   |
| 二<br>五<br>水             | 一<br>四                  | 五      | 八      | 一<br>五                  | 一<br>五                  | 六      | 一<br>六      | 一<br>九                  | 一<br>六                  | 一<br>七                  | 二<br>〇                  | 一<br>八                  | 一<br>八                        | 一<br>〇                  | 一<br>二                  | 一<br>〇 | 一<br>二                        | 一<br>〇                        | 一<br>一                        | 一<br>一 | 一<br>一 | 一<br>一 | 一<br>一 | 一<br>一                  | 二<br>〇                        | 一<br>七                  | 一<br>五                  | 八           |   |   |   |
| 四                       | 五                       | 五      | 六      | 六                       | 九                       | 四      | 四           | 四                       | 七                       | 七                       | 七                       | 五                       | 一                             | 一                       | 六                       | 二      | 一                             | 二                             | 五                             | 一      | 一      | 一      | 一      | 一                       | 二                             | 八                       | 〇                       | 一           |   |   |   |
| 二<br>九                  | 三<br>九                  | 二      | 二      | 二                       | 四                       | 四      | 四           | 四                       | 四                       | 四                       | 四                       | 八                       | 八                             | 八                       | 八                       | 八      | 八                             | 八                             | 八                             | 三      | 二      | 二      | 二      | 二                       | 二                             | 二                       | 四                       | 三           | 三 | 三 | 九 |



|            |           |           |           |           |           |           |           |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一三         | 二二        | 一〇        | 九         | 八         | 七         | 六         | 五         |
| 二二         | 一八        | 一八        | 一六        | 二七        | 二一        | 一八        | 二三        |
| 女          | 男         | 男         | 男         | 男         | 男         | 女         | 女         |
| 〇          | 三         | 〇         | 〇         | 〇         | 〇         | 〇         | 〇         |
| 三一、六、二二    | 三一、四、二〇   | 三一、二、二四   | 三一、二、二四   | 三一、二、二四   | 三一、二、二四   | 三一、二、二四   | 三一、二、二四   |
| 〇          | 〇         | 〇         | 〇         | 〇         | 〇         | 〇         | 〇         |
| 五          | 四         | 三         | 三         | 二         | 二         | 二         | 二         |
| 三一、九、一四二七水 | 三一、六、二九一五 | 三一、四、二〇二三 | 三一、四、二〇二三 | 三一、四、二〇二三 | 三一、四、二〇二三 | 三一、四、二〇二三 | 三一、四、二〇二三 |
| 一          | 一         | 一〇        | 一〇        | 一〇        | 一〇        | 一〇        | 一〇        |
| 一          | 一         | 二         | 二         | 三         | 三         | 四         | 一         |
| 八四         | 七一        | 五六        | 五六        | 五六        | 九八        | 九八        | 九三        |

三、「ツベルクリン」反應陽性轉化率

「ツベルクリン」皮内反應検査ヲ行ヒタル東京海軍部隊ノ軍人軍屬一三八九名中、陰性ハ二四一名アツタガ、其ノ内陽轉者ハ前記六六名デアル。勿論各學級ニヨリ觀察期間ヲ異ニシ、殊ニ内三學級ニ於テハ「ツ」反應ヲ反復スル事ガ出來ナカツタノハ遺憾デアルガ、長イモノハ四二ヶ月ニ及ブ。假リニ夫等陽轉者ヲ月割ニシ、陰性者ニ對スル百分比ヲ求メテ一ヶ月ノ「ツベルクリン」反應陽性轉化率トスル時ハ第八表ニ示ス様ニ〇乃至一六・七〇%ト言フ數ヲ得ル。其ノ各級平均ヲ求メレバ一ヶ月ノ陽轉率三・二七%ト成ル。即チ海軍ノ軍人軍屬デハ一ヶ月ノ間ニ陰性者百人中三・二七人ハ「ツ」反應陽轉ヲ來ス。從ツテ一ケ年ノ間ニハ陰性者百人中三・九人ガ「ツ」反應陽轉ヲ來ス割合ト成ル。從ツテ一年ノ陽轉率ハ三九%ト謂フ事ニ成ル。

第八表 東京海軍部隊ニ於ケル「ツベルクリン」反應陽轉率

|    |     |    |                  |      |                  |           |            |                     |    |
|----|-----|----|------------------|------|------------------|-----------|------------|---------------------|----|
| 番號 | 級名  | 員數 | 最初「ツ」反應<br>検査年月日 | 陰性者數 | 最終「ツ」反應<br>検査年月日 | 陽性轉<br>化數 | 觀察期<br>間月數 | 月割「ツ」<br>反應陽轉<br>率% | 備考 |
| 一  | 一七生 | 一九 | 二、六、二九           | 六    | 三、三、一五           | 〇         | 一〇         | 〇                   |    |

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

| 計及平均                        | 二六                          | 二五                 | 二四                 | 二三                 | 二二                 | 二一                 | 二〇                 | 一九                 | 一八                 | 一七                 | 一六                 | 一五                 | 一四                 | 一三                 | 一二                 | 一一                 | 一〇                 | 九                  | 八                  | 七                  | 六                  | 五                  | 四                  | 三                  | 二                  |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 水女屬                         | 水男屬                         | 電定                 | 樂定                 | 樂定                 | 樂定                 | 二八高                | 二七高                | 二六高                | 二五高                | 二四高                | 四八普                | 四七普                | 四六普                | 四五普                | 四四普                | 四三普                | 四二普                | 四一普                | 四〇普                | 二三生                | 二二生                | 二一生                | 二〇生                | 一九生                | 一八生                |
| 一三八九                        | 三九一                         | 六〇                 | 八五                 | 一〇六                | 五五                 | 五〇                 | 四〇                 | 四〇                 | 五二                 | 四五                 | 五八                 | 五八                 | 五二                 | 二八                 | 二七                 | 二八                 | 三〇                 | 二九                 | 二九                 | 一五                 | 一五                 | 一五                 | 一五                 | 一五                 | 一七                 |
| 六、二、六、二、二九                  | 五、九、二、五                     | 六、五、一、八            | 五、二、一、三            | 六、二、七、二、六          | 五、四、一、六            | 三、一、一、五            | 二、一、一、〇            | 二、一、一、四            | 二、一、一、四            | 六、五、一、四            | 五、一、一、六            | 五、一、一、六            | 四、一、一、六            | 四、一、一、七            | 三、一、一、五            | 三、一、一、〇            | 二、一、一、二            | 二、一、一、六            | 二、一、一、六            | 六、四、四、四            | 五、四、四、八            | 四、七、一、六            | 三、五、一、〇            | 二、六、二、九            | 二、六、二、九            |
| 二四一                         | 二三八                         | 一三                 | 七                  | 一四                 | 二八                 | 七                  | 五                  | 二                  | 一〇                 | 一                  | 一六                 | 一六                 | 二                  | 六                  | 九                  | 六                  | 七                  | 八                  | 八                  | 九                  | 八                  | 四                  | 九                  | 五                  | 六                  |
| 六、九、一、四                     | 六、九、一、四                     | 六、七、二、九            | 六、七、二、四            | 六、七、一、四            | 五、七、一、九            | 四、七、一、七            | 三、七、一、五            | 六、九、一、一            | 六、四、一、八            | 五、一、一、九            | 五、一、一、〇            | 四、一、一、〇            | 四、一、一、〇            | 三、一、一、五            | 三、一、一、五            | 三、一、一、五            | 三、一、一、五            | 三、一、一、五            | 三、一、一、五            | 〃                  | 〃                  | 〃                  | 六、九、一、一            | 五、一、一、一            | 三、六、一、四            |
| 六六四一四二                      | 八五                          | 五七                 | 五                  | 五                  | 〇                  | 七                  | 五                  | 二                  | 一                  | 二                  | 二                  | 六                  | 四                  | 四                  | 四                  | 〇                  | 〇                  | 〇                  | 〇                  | 一                  | 〇                  | 二                  | 三                  | 二                  | 一                  |
| 三・二七                        | 二、九〇                        | 一、四九               | 〇                  | 〇                  | 九                  | 九                  | 九                  | 九                  | 五                  | 六                  | 六                  | 六                  | 四                  | 四                  | 四                  | 〇                  | 〇                  | 〇                  | 〇                  | 六                  | 一                  | 二                  | 四                  | 四                  | 一                  |
| 同居者中開放性結核患者發生數軍人六例、軍屬數例テアル。 | 同居者中開放性結核患者發生數軍人六例、軍屬數例テアル。 | 同居者中ヨリ開放性肺癆一例發生(高) |

然、此ハ「ツ」反應陽轉ハ率種々ノ條件ニ影響サレルラシイ。其ノ内最モ重大ナモノハ結核傳染機會ノ大小デアアル。  
(一)結核傳染機會ト「ツ」反應陽性率トノ關係

軍隊内ニ於テハ毎月一回規定ノ月例健康検査ガアル。殊ニ余ノ預ル東京海軍部隊ノ軍人ニ就テハ毎月一回總員ノ全身臨牀的検査ノ外ニ體溫、體重及肺活量ヲ検査シ、又隔月一回喀痰検査ヲ行ヒ、又各人一回宛胸部「レントゲン」透視又ハ寫眞検査ヲ行ヒ極力肺結核患者ノ早期發見ニ努メテ居ルガ、夫レデモ屢々開放性肺結核患者ガ發見サレル。其ノ數ハ合計六例デ第八表備考欄記註ノ通りデアアル。ナホ水路部ノ軍屬ノ方ハ臨牀的検査ハ止メテアルガ夫レデモ相當發見サレル。

斯カル結核傳染原ト「ツ」反應陽轉率トノ間ニ關係ガ無イカト言フニ不明ナ場合モアルガ著明ノ場合モアル。第八表中第一九、第二〇、第二四ノ三級ニ於テ陽轉率高キハ記註ノ如キ傳染源ノ存在ニヨルモノト思ハレル。

次ギニ夫等ノ中結核傳染源ト「ツ」反應陽轉率トノ關係著明ナル實例ニ於テ詳述シテ見ヤウ。夫レハ第九表ニ示ス海經校、東電所及水路部ノ三ヶ所デアアル。陰性者ノ人員ニ出入ガアリ又、次第ニ轉化シテ減ツテ行クノデアアルカラ計算ハ面倒ニ成ルガ大凡表ニ示ス様ニ成ルノデアアル。東電所及水路部ハ一九三〇年九月カラ調査ヲ始メタモノデ滿一ケ年ノ成績デアアル。「ツ」反應検査ハ毎月行ツタガ水路部ノミハ隔月ニ検査シテ行ツタ結果デアアル。海經校ノ一九三〇年一ケ年中「ツ」反應陽轉率ノ最モ高イノハ一月デ一八・八%ニ達スル。二月ハ之レニ亞ギ、三月又之ニ亞グ。冬季三ヶ月ノ陽轉例實數八十一例ニ達スル。然ルニ其後次第ニ減少シ、春季ニハ七例ト成リ夏季秋季ニ於テハ殆ンド全ク陽轉者ヲ見ナイ。其ノ原因ハ何デアアルカ。一九二九年十一月ヨリ三〇年七月マデハ同ジ隊ノ中ニ結核傳染源ト推定スベキ三乃至四例ノ肺結核患者ガ潜在シ、ヤガテ檢痰ニヨリ結核菌ガ證明サル、ニ及ビ始メテ排除サル、ニ至ツタ。其後ハ斯様ノ例ガ無イ。斯カル結核傳染源潜在ノ有無ニヨツテ斯カル陽轉率ノ差異ガ起キタト思ハレル。季節モ亦「ツ」反應陽轉率ニ關係スルト思ハレルガ傳染源ガ在ツテノ上ノ問題デアアル。單ニ季節ノ關係ノミナラバ翌年モ一乃至三月ノ頃ニ於テ其ノ隊ニ「ツ」反應陽轉者ノ多發スベキ筈ナルガ稍々其ノ傾向モ見エルガ著明デ無イ。

結核傳染源ト「ツ」反應陽轉トノ關係ハ時間的ニ斯クノ如クナルガ、又、空間的ニモ傳染源ト同一寢室又ハ教室ニ起臥シ、

同一食卓ニテ飲食セシモノニ陽轉者ヲ多發シ而モ濃厚感染ヲ來セル實例ガアル。第八表第二〇號、第二四號ノ場合ガ夫レデアアル。此ノ問題ニ就テハ余ノ他ノ論文ニ於テ詳述シタ處デアアル。<sup>13)</sup>

是ニ由テ觀レバ「ツ」反應陽性轉化ハ結核傳染ニ關係ガアラウト思ハレル。從ツテ逆ニ或ル集團内ニ「ツ」反應陽轉ノ多發スル場合ハ、其ノ中心ニ結核傳染源ノ潜在スルヲ推定セシメルノデアアル。例ヘバ一九三一年一月來東電所兵員ニ於テ「ツ」反應陽轉率高キヲ以テ其ノ隊内同居者ニ結核傳染源ノ潜在ヲ疑ヒシガ、果セル哉一九三一年四月一日突然兵曹高橋某ガ大量ノ咯血ヲ發スルニ至ツタ。其ノ兵員ハ前年九月末、同所ニ居住シ居リシモノニテ九月末毎回「ツ」反應陽性デアツタガ、毎月ノ月例健康診斷ニ於テモ遂ニ其ノ肺結核ヲ發見サレズニ來タ肺結核患者デアツタノデアアル。何時頃ヨリ排菌セシヤ勿論不明デアアルガ始メカラ毎回「ツ」反應陽性ナリシ所カラ察スルト恐ラク餘程古イモノデアラウト思ハレル。

(二) 季節ト「ツ」反應陽轉率トノ關係

「ツ」反應陽轉率ハ冬季ニ高く、夏期ニ少イ傾向ガアル。第九表ノ海經校、東電所、水路部何レノ成績デモ其ノ傾向ガ窺ハレル。併シ冬期ニ於テ結核傳染源ノ存在シタ事ハ海經校、東電所ニ於テ明カデアアル。斯カル季節ニ於テハ急性氣管枝炎等ノ爲メニ慢性肺癆ガ増悪サレ菌ノ排出ヲ増加スル傾向モアルデアラウシ、又冬季ハ密集生活ヲスルカラ泡抹傳染ノ機會多ク急性呼吸器傳染ヲ發シ易イ爲メデアラウ。然シ此ノ季節ヲ「ツ」反應陽轉率ノ關係ハ更ラニ多數ノ材料ヲ集メテ研究シテ見テバ確言ハ出來無イ。殊ニ結核傳染源ガ年中中等ニ存在スル様ナ大部隊デ調べテ見テバ成ラナイノデアアルガ第九表水路部滿一ケ年間ノ成績ハ大凡其ノ條件ニ適スル。年中傳染元ノ存在スルモノト推定スベキ約六〇〇人ノ集團生活デアアルニモ拘ラズ陽轉率ノ夏期ニ少キハ注目ニ値ス。斯クシテ我等ハ海軍軍人軍屬ニ於テ「ツ」反應陽性轉化ノ行ハレツ、アル事實ヲ現認シ得タ。然ラバ此ノ「ツ」反應陽性轉化ハ何ヲ意味スルモノデアラウカ。

第九表 結核傳染源及ビ季節ト「ツ」反應陽轉率トノ關係

綜 說 小林II「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

| 月   | 次  | 昭四   | 昭五   | 昭六   | 昭七   | 昭八   | 昭九   | 昭一〇  | 昭一一  | 昭一二  |
|-----|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 入   | 三三 | 一〇〇  | 一九八二 | 〇〇一  | 一三〇〇 | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 出   | 〇  | 〇〇〇  | 〇六〇  | 〇二〇  | 三六〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 殘   | 三三 | 二七   | 四二二五 | 三五八〇 | 三一五  | 二九   | 二九   | 二九   | 二九   | 二九   |
| 實陽  | 〇  | 四六一  | 三三一  | 〇一二  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 轉者數 | 〇  | 一八三〇 | 七九四〇 | 二五〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 率%  | 〇  | 一四・九 | 四・〇  | 二・六  | 〇    | 〇    | 〇    | 〇    | 〇    | 〇    |
| 推定  | 三  | 四三三  | 三三四  | 〇三三  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 例明  | 〇  | 〇〇〇  | 〇〇一  | 〇三〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 入   |    |      |      | 〇〇四  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 出   |    |      |      | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 殘   |    |      |      | 四四四  |
| 實陽  |    |      |      | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 轉者數 |    |      |      | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 率%  |    |      |      | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 推定  |    |      |      | 一一一  |
| 例明  |    |      |      | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  | 〇〇〇  |
| 應反  |    |      |      | 五二   |
| 殘性  |    |      |      | 四    | 四    | 四    | 四    | 四    | 四    | 四    |
| 應反  |    |      |      | 四    | 四    | 四    | 四    | 四    | 四    | 四    |
| 實陽  |    |      |      | 三・九二 |
| 率%  |    |      |      | 二・八三 |
| 別月  | 〇  | 四六一  | 三三一  | 〇一二  | 四〇〇  | 四〇〇  | 四〇〇  | 四〇〇  | 四〇〇  | 四〇〇  |
| 合計  | 〇  | 一一   | 七    | 三    | 四    | 六    | 七    | 五    | 五    | 五    |

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |    |    |   |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|---|----|----|
| 合計 | 九八 | 三八 | 三四 | 二六 | 〇一 | 八八 | 二九 | 四一 | 一一 | 一五 | 五〇 | 一六 | 二八 | 一 | 三八 | 一三 | 一〇 | 八五 | 一 | 四四 | 四四 |
| 九  | 〇  | 〇  | 三四 | 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 五  | 〇  | 〇  | 〇  | 〇 | 三九 | 一  | 〇  | 八五 | 一 | 四四 | 四四 |

三、「ツベルクリン」反應陽性轉化ハ結核初感染ノ結果ナリヤ

斯ク、吾人ノ現認シ得タル「ツ」反應陽性轉化ハ果シテ結核初感染ノ結果デアルカ。此ノ問題ヲ解決スル爲メニハ先ヅ「ツ」反應陰性者ノ意義ヲ明カニスル必要ガアル。

吾等ノ「ツ」反應陰性者ハ少クトモ自覺的ニハ健康者デ、何等自覺症無シニ軍務ニ服シテ居ルモノデアアル。然シ乍ラ、夫

等ノモノガ直チニ結核未感染者ダトハ斷言出來ナイ。此ノ問題ニ關シテハ余ノ他ノ論文ニ於テ論述シタ處デアアル。<sup>(23)(24)(25)(27)(28)</sup>

一。「ツ」反應陰性健康兵ハ何等カ疾病ノ爲メニ消極的「アチルギー」(疲癆性無反應)ノ状態ニ在ル結核感染者デアルカ。

余ハ「ツ」反應陰性健康者一一二例中七二例ニ就テハ數ヶ月間毎月數回以上「ツ」反應ト共ニ身體檢査ヲ反復シタガ體重、

肺活量、體溫、胸部其他身體各部ニ於テ臨牀的著變ヲ認メ無イ。其他四〇例ニ於テハ數月乃至四年間ノ長期ニ互リ毎年

數回以上右ト同様ナル檢査ヲ反復シタガ矢張り身體各部ニ著變ヲ認メ無イ。又其ノ内七二例デハ數ヶ月間殆ンド隔月ニ

檢痰ヲ反復シタガ一例モ結核菌ヲ證明セナイ。又、其ノ内五二例ニ就テハウエステルグレン氏法ニヨツテ赤血球沈降速

度ヲ測定セシモ何レモ正常範圍内ニ在ツタ。又其ノ内九四例ニ就テ胸部「レントゲン」寫真檢査ヲ行ツタガ唯二例ニ於テ

陳舊性初期變化群ヲ疑ハシムル像ガ有ツタ外ニハ結核性病變ヲ認メ無イ。又其他ニ消極的「アチルギー」ヲ起コス原因ト

成ル程ノ重症疾患ヲ認メ無イ。以上ノ事實ヨリ推シテ吾等ノ「ツ」反應陰性健康兵ハ消極的「ツベルクリンアレルギー」ハ

状態ニ在ル結核感染者ナリトハ考ヘ難イ。<sup>(23)(24)</sup>

二。「ツ」反應陰性健康者ハ所謂生物學的潜伏期乃至不全「アレルギー」ノ状態ニ在ル結核感染者デアアルカ。

從來學者ノ研究ニヨレバ結核傳染ヨリ「ツベルクリンアレルギー」發現ニ至ル所謂「アレルギー」前期、「ツベルクリン」潛

伏期或ハ生物學的結核潜伏期ト稱セラル、期間ハ約三乃至七週間トサレテ居ル。然ルニ吾等ノ「ツ」反應陰性ハ長期ニ互

ツテ毎回陰性デアル。例ヘバ一年乃至四年ニ互ツテ「ツ」反應ヲ反復シタ四〇例ノ陰性者ニ就テ見ルモ其ノ成績ハ多クハ千倍及百倍「ツベルクリン」〇・一砵皮内注射ニ對シ全然無反應ニテ數月乃至四年ニ互リ毎回同様デアル。而シテ、其ノ陽性轉化後結核性疾患ヲ發病シタ例ハ少ク無イガ、陰性ノマ、結核性疾患ヲ發病シタ例ハ一例モ無イ。故ニ夫等「ツ」反應陰性健康者ハ生物學的潛伏期ニ在ル結核感染者ナリトハ考ヘ難イ。

然ラバ極ク輕度ノ結核感染ノ結果普通ノ方法ヲ以テ「アレルギー」ヲ證明シ得ルニ至ラ無イ程度ノ不全「アレルギー」ノ狀態ニ在ル結核感染者カト言フニ胸部「レントゲン」検査デハ結核病變ガ發見サレズ、檢痰、檢血ニヨツテモ結核菌ガ證明サレ無イガ、理論上是レヲ否定スベキ根據モ肯定スベキ根據モ持タ無イノデアアル。然シ乍ラカカル微小病竈ハ若シ存在スルトシテモ斯ク長ク陰性ノ場合ハ轉移又ハ再燃ノ危險ハ少イモノト推定シ得ルト同時ニ又完全ナル對結核免疫ヲ發生セシムルモノデモ無イト推定サレル。從ツテ夫等ノ場合ハ結核再感染ノ可能性ハ充分存在スルモノト考ヘテバ成ラ無イ<sup>(27)</sup>。

三。「ツ」反應陰性健康者ハ結核治愈ノ結果タル積極的「アチルギー」ノ狀態ニ在ル者デアルカ。

結核ノ治愈ニヨリ自然ニ「ツベルクリンアレルギー」ノ消失シタト言フ例モ文獻上ニハ無イ事ハ無イガ夫レハ極メテ稀レナ事ダトサレテ居ル。余ハ東京海軍部隊ニ於テ數百名ノ「ツ」反應陽性健康兵ニ對シ數ヶ月乃至四年間ニ互リ每年數回以上同反應ヲ反復シテ來タガ未ダ一例モ其ノ陰性轉化ヲ現認シタ事ガ無イ。然シ前述ノ如ク「ツ」反應陰性健康者ノ胸部「レントゲン」検査ノ結果九四例中二例ニ於テ陳舊性初期變化群ヲ疑フベキ變化ヲ發見シタカラ、夫等「ツ」反應陰性健康者ノ中ニハ多少ノ結核治愈ニアル積極的「アチルギー」ノ者モ含マル、カモ知レ無イガ若シ在ツテモ夫レハ恐ラク極メテ少數ニ過ギマイト考ヘラレル<sup>(28)</sup>。

四。以上ノ事實ニ由テ考案スルニ吾等ノ「ツ」反應陰性健康者ハ恐ラク其ノ殆ンド全部ハ結核未感染者デアリ、夫等ニ起コツタ「ツ」反應陽性轉化ハ恐ラク其ノ殆ンド全部ハ結核初感染ノ結果デアラウト思ハレル。而シテ從來ノ文獻ニ從ヒ生物學的結核潛伏期ヲ三乃至七週間トスレバ、「ツ」反應陽性轉化ハ其ノ約一ヶ月前ニ於テ結核傳染ノ行ハレタ事ヲ推定セ

シメル。

#### 四。「ツベルクリン」反應陽性轉化後早期ノ體況如何

##### 一。研究方法

「ツ」反應陽轉後早期ノ體況ハ陽轉直後ノ體況ト夫レヨリ一定期間ノ體況トノニ區分シテ考ヘテバ成ラナイ。從來ノ經驗カラ見テモ右ノ二者ハ其ノ模様ヲ異ニスル。陽轉直後ニ於テハ結核初期變化群ノミヲ藏シ、未ダ結核ノ發病ヲ示サ無イ場合ガ多イガ、其後數ヶ月ヲ經過スレバ、其ノ一部ハ種々ノ結核症例、例ヘバ急性肺浸潤、滲出性胸膜炎、急性粟粒結核症ヲ發病スルニ至リ、又然ラザルモノハ却ツテ治癒ノ傾向ヲ帶ビテ來ル。即チ「ツ」反應陽轉後早期ニハ結核感染後ノ臨牀的潛伏期ト臨牀的發病期トノ二者ガ區別サルベキデアアル。余ハ從來ノ經驗ニ從テ假ニ此ノ「ツ」反應陽轉後早期ヲ分ツテ第一期及ビ第二期トシ、第一期ハ陽轉ヨリ約三ヶ月間、第二期ハ其後約九ヶ月トスル。

「ツ」反應陽轉後第一期ノ體況ヲ知ル爲メニハ「ツ」反應陽轉ヲ極メテ早期且ツ確實ニ發見スルヲ要スル。「ツ」反應陰性者ニ毎月一回「ツ」反應ヲ反復シテ行ク時ハ其ノ陽轉ヲ一ヶ月以内ニ發見シ得ル譯デアアル。從ツテ實際上ハ其ノ「ツ」反應陽性發見時カラ二ヶ月間ヲ陽轉後第一期ヲ夫レ以後一ケ年ノ間ヲ第二期トシテヨイノデアアル。若シ不幸ニシテ「ツ」反應反復ノ實施ガ斯クモ頻繁ニ行ハレナカツタ場合ニ於テハ、此ノ「ツ」反應陽轉ハ第一期或ハ第二期ヲ明カニ區分シテ考フル事ハ出來ナイ。例ヘバ本年又ハ一年ノ間隔ヲ以テ「ツ」反應ヲ反復シタ場合ニ於テハ「ツ」反應陽轉ヲ發見シテモ、其時ガ第一期ニ在ルカ第二期ニ在ルカ全然不明デアアル。

「ツ」反應陽轉ハ早期ノ體況ヲ検査スル項目トシテ、余ハ精密ナル身體検査殊ニ身長、體重、肺活量、胸圍、胸廓擴張、體溫、赤血球沈降速度、喀痰、「ツベルクリン」皮内反應、胸部臨牀所見、胸部「レントゲン」寫眞所見、血液結核菌培養所見等ヲ選ンダ。而シテツ反應陰性期間ハ身長、赤沈反應、胸部「レントゲン」寫眞所見及喀痰ヲ一回以上検査シ、又體溫體重、肺活量、胸圍、胸廓擴張、胸部臨牀所見及「ツベルクリン」皮内反應ヲ毎月一回検査シタ。「ツ」反應陽性轉化後ハ

其後約六ヶ月ノ間、每週火曜日午後ニ體溫、體重、肺活量、胸圍、胸廓擴張、喀痰及ビ胸部臨牀所見ノ検査ヲ反復シ、ナホ體溫ハ約一ヶ月ノ間毎朝夕ヲ檢シ、胸部「レントゲン」寫眞検査、赤沈反應検査及ビ「ツベルクリン」皮内反應ハ其後約六ヶ月ノ間毎月一回以上反復シ又本年二月以後ハ陽轉直後必ず一回以上血液結核菌培養検査ヲ行ツタ。而シテ他ニ轉勤シ、余ノ觀察ヨリ離レタル場合ハ時々其ノ隊ニ照會シ出來ル丈ケノ調査ヲ行ヒ、胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ依頼シタル例モアル。

検査方法トシテハ赤血球沈降速度ハウエステルグレン氏法ニヨリ、血液結核菌培養ハ熊谷教授ノ改良セルレーヴェンス・タイン氏法ニヨリ、肺活量測定ニハ海軍式角型測息器ニヨリ、検査ハ普通ノ塗抹標本チールガベット氏染色鏡檢法ニヨリ、胸部「レントゲン」寫眞検査ハ海軍軍醫學校「レントゲン」室ニ於テ横倉誠次郎博士ノ行ヒタルモノニテ三相交流片整流装置ニテ「ミユラー」一〇「キロワット」「ヘリウム」管球ヲ用ヒ電流二〇〇「ミリアンペア」、焦點距離二「メートル」、照射時間110乃至120秒ニテ撮影シタモノデアアル。ナホ「ツベルクリン」皮内反應ハ前記ノ方法ニ從ツタガ、其ノ陽轉後ハ毎回一〇〇倍「ツベルクリン」液〇・一坵ヲ使用シ四八時間目ニ其ノ成績ヲ検査シタ。

二。「ツ」反應陽轉後早期ノ體況一般

一九二七年六月以降三一年七月ニ至ル間ニ於テ發見セル「ツ」反應陽轉者六五例ノ體況ハ次ノ第一〇表ニ示ス。九月發見シタ第六六例ハ調査未濟ニツキ本章上ニハ省略セルモ陽轉發見時ステニ左滲出性胸膜炎ヲ呈シタ。但シ「ツ」反應陽轉ヲ極メテ早期ニ發見シ得タル例ノ少キヲ遺憾トスル。即チ一ヶ月以内ニ發見シ得タル例ハ陽轉第二九、三〇、三一、三二、三四、三五、三六、三七、三九、四六、四八、四九、五〇ノ一三例デアアル。又二ヶ月以内ニ發見シ得タル例ハ陽轉第二二―二八例、第三三、第四〇―四五例、第四七、五一、五二ノ一七例及ビ第八表中ノ陽轉第一―四、第八―一ノ七例合計二四例デアアル。右通計三七例ハ陽轉後二ヶ月以内ニ發見シタ例デアアルカラ、陽轉發見當時ナホ確カニ陽轉後第一期ニ在ツタモノト謂ヘル。其他ノ例デハ「ツ」反應反復ガ疎デアツタ爲、其ノ陽轉ヲ發見シテモ其ノ發見時ガ陽轉後第一期ニ在ルヤ第二期ニ在ルヤ不明デアアル。

「ツ」反應陽轉後、余ノ自ラ追跡シ得タル期間ハ區々デアル。第六表ニ於ケル最初陽性年月日ト最終陽性年月日トノ間ガ其ノ期間ニ當ル。然シ、其後一九三〇年十月末マデニ轉出シタル例ハ其ノ日現在ヲ以テ夫等ノ現在勤務廳ニ照會シ調査票ヲ徴シテ在ルカラ夫レマデノ體況ハ大凡明カデアル。而シテ次ノ第一〇表ニ於テハ「ツ」反應陽轉發見時スデニ第二期ニシテ臨牀的ニ發病シ居リシ例ハ、已ムヲ得ズ其ノ發病後ノ現況ヲ掲ゲタレドモ、「ツ」反應陽轉發見時ナホ第一期ニシテ未ダ發病セズ、後ニ至ツテ始メテ發病シタル例ニテハ其ノ發病後ノ體況ヲ省略シタ。即チ第二三例、第三〇例、第三三例、第四九例、水第七例ノ五例ハ陽轉後發病ニ至ルマデノ體況ヲ掲ゲタノデアル。(一〇表)

(一)「ツ」反應陽轉後早期ノ體況ヲ大觀スルニ全然自他覺的無症狀ニ經過セルモノハ六五例中三三例即チ五一%デアル。

(二)然ルニ臨牀的發病ヲ來セルモノニ第一例(肛圍膿瘍)、第一六例(左滲出性胸膜炎)、第五二例(肛圍膿瘍)、第五三例(左滲出性胸膜炎)、水第五例(急性粟粒結核)ノ五例ガアル。但シ夫等ハ何レモ「ツ」反應陽轉ノ發見早カラザリシ例ナルヲ以テ果シテ夫レガ陽轉後第一期ニ發病セルヤ或ハ第二期ニ發病セルヤ不明デアル。然ルニ第一期ヨリ追跡シ第二期ニ至ツテ始メテ發病シタルモノニハ第二三例(肺癆)、第三一例(左胸膜炎)、第三三例(乾酪性肺炎?)、第四九例(右滲出性胸膜炎)、水第七例(左滲出性胸膜炎)ノ五例ガアル。故ニ臨牀的發病例ハ以上通計一〇例デアル。即チ六五例中一〇例デアアルカラ一五%ノ發病率ニ當ル。

(三)然シ乍ラ臨牀的ニハ發病スルニ至ラナイガ唯胸部「レントゲン」検査ニヨリ肺ニ浸潤ヲ發見シタルモノガ九例アル。

即チ第五(右中肺野下部浸潤兼右肺門下部浸潤)、第七(右鎖骨下部浸潤)、第二三(右中肺野下部浸潤兼右肺門下部浸潤)、第二四(左鎖骨下部浸潤)、第二六(左鎖骨下部浸潤兼左肺門部浸潤)、第三三(右下肺野浸潤兼右肺門腺腫脹)、第四五(左下肺野上部浸潤)、第四九(右肺門部浸潤)、水第七(左中肺野上部浸潤)ノ諸例デ胸部「レントゲン」的被検査六三例中ノ一四%ニ當ル。夫等ノ多クハ確カニ「ツ」反應陽轉後第一期ニ發見シ得タモノデアリ、又、最初「レントゲン」検査時既ニ發見サレタモノデアアルカラ、夫等肺ノ浸潤ハ「ツ」反應陽轉當時ニ於テ「ツ」存在シタモノデアアルカモ知ン無イノデアアル。(四)其他發熱又ハ赤沈反應ヲ呈スルノミデアツタ例モ九例アル。

(五) 然ルニ檢、痰、ハ毎例結核菌陰性デア。唯、第二三例ハ七ヶ月後ニ陽性ト成ツタノミデア。體重、肺活量ハ特別ノ場合ノ外ハ減少ヲ示セル者ガ少イ。體重減少例ハ三六例中八例即チ二二%、肺活量減少例ハ四六例中六例即チ一三%ニ當ル。

要之、「ツ」反應陽轉後早期ニ於テハ、五%ハ無症狀、一五%ハ臨牀的發病、一四%ハ「レントゲン」的發病、二〇%ハ不定症狀ヲ呈スルモノト謂ヘル。

第一〇表 「ツ」反應陽轉發見後早期ノ體況

| 陽轉番號 | 人 名 | 陽轉發見マデノ最大日數 | 最高體溫 | 「ツ」反應陽轉後早期ノ體況(在京期間) |            | 陽轉ヨリ一年一〇月マテノ發病有無及日數 |       |              |      |       |        |  |
|------|-----|-------------|------|---------------------|------------|---------------------|-------|--------------|------|-------|--------|--|
|      |     |             |      | 最高赤沈速度              | 最高「ツ」反應時   |                     | 胸部變臨牀 | 胸部「レントゲン」的變化 | 體重減少 | 肺活量減少 | 喀痰中結核菌 |  |
| 一    | 〇   | 二六二         | 三七〇  | 〇                   | 一八 胸部常肛圍膿瘍 | 〇                   |       |              |      |       |        |  |
| 二    | 一   | 四三三         | 三七〇  | 〇                   | 二一 左胸痛     |                     |       |              |      |       |        |  |
| 三    | 二   | 四三三         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 四    | 三   | 三九八         | 三八〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 五    | 四   | 三〇九         | 三六・九 | 七                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 六    | 五   | 三九八         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 七    | 六   | 四三三         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 八    | 七   | 四三三         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 九    | 八   | 二六二         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 一〇   | 九   | 二六二         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 一一   | 一〇  | 二六二         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 一二   | 一一  | 二六二         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 一三   | 一二  | 二六二         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 一四   | 一三  | 二六二         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |
| 一五   | 一四  | 二六二         | 三七〇  | 〇                   |            |                     |       |              |      |       |        |  |

綜 說 小林II「ツ」バレルクリンアレルギート肋膜炎



三。「ツ」反應陽轉後早期ノ體溫

(二)體溫測定ノ方法ハツ反應陰性時ニハ毎月一回夕食前之ヲ檢シ、「ツ」反應陽轉後ハ約一ヶ月間朝夕之ヲ檢シタ。原因

備考 九月陽轉第六六例ヲ發見セルモ調査未濟ニツキ本表ニハ七月マテノ六五例ヲ掲グ。

| 合計   | 六五 | 四三 | 二一 | 一五 | 三三 | 二二 | 一八 | 六 | 二 | 八 | 六 | 〇 | 一 | 〇 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|
| (二二) | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■  | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| (一一) | 七  | 〃  | 〃  | 五  | 〃  | 〃  | 〃  | 九 | 九 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (一〇) | 〃  | 〃  | 〃  | 六  | 〃  | 〃  | 〃  | 八 | 三 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (九)  | 〃  | 〃  | 〃  | 八  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (八)  | 〃  | 〃  | 〃  | 九  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (七)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (六)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (五)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (四)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (三)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (二)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (一)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〇)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (二二) | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (一一) | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (一〇) | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (九)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (八)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (七)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (六)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (五)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (四)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (三)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (二)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (一)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〇)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (二二) | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (一一) | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (一〇) | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (九)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (八)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (七)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (六)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (五)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (四)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (三)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (二)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (一)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〇)  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

不明ノ發熱ハ「ツ」反應陰性者ニ於テモ屢々見ラル、處ナルヲ以テ假令カカル發熱ガ「ツ」反應陽轉後早期ニ現レタレバトテ夫レヲ直チニ結核性發熱ナリト認ムル事ハ出來ナイ。唯、推定ニ止マル。

(二)「ツ」反應陽轉ヲ極メテ早期ニ發見シタル場合ノ發見直後即チ第一期ニ於テ體溫ヲ精檢セルニ胸部ニ「レントゲン」的變化在ル者ノ外ハ發熱ヲ示セルモノ極メテ少數例ニ過ギ無イ。第一〇表中、二七例、阿部ハ一九二九年十二月十一日「ツ」反應三耗陰性ニシ

テ體溫三七度以下ナリシガ、三〇年一月二十日一八耗ト成リ中陽性ニ轉化シ體溫ハ稍々上昇シテ二十一日三七度四分トナリシモ一日ニテ解熱ス。其後三月十一日三八度ニ上リ一日ニテ解熱ス。本例ハ胸部臨牀的竝ニ「レントゲン」的著變ヲ認メ無イガ、此發熱ハ或ハ「ツ」反應陽轉ノ結果カモ知レ無イ。又陽轉三四例荒木ハ一九三〇年三月十二日「ツ」反應〇耗陰性ニシテ體溫三七度以下ナリシガ四月十日一一耗陽性ニ轉化シ、四月十二日ヨリ十八日マテ一週間最高三八度乃至三九度三分ノ發熱ガアツタ。本例モ胸部臨牀的竝ニ「レントゲン」的著變ガ無ク又赤沈反應ニ異常ガ無カツタガ、其ノ發熱ハ「ツ」反應陽轉ノ結果ラシイ。

陽轉第四例梶井ニ於テハ一九三〇年十二月二十四日「ツ」反應〇〇體溫常度ナリシガ一月十日16.25ニ陽轉ス。十二日體溫ヲ檢スルニ三七度五分アリシモ僅カ一日テ下熱シ十三日以後平熱。然ルニ同月二十日再ビ發熱シ以來約十日間最高三七度一分乃至二分ノ微熱アリ。胸部常ナルモ血沈速度一時間三八耗ナルヲ以テ「ツ」反應陽轉ニ關係アル微熱カモ知レ無イ。第四例長谷川ニ於テモ一九三一年二月十日「ツ」反應〇〇ニシテ體溫常ナリシガ三月十二日12.12ニ著明陽轉ス。三月二十三日ヨリ四日間最高三七度六分乃至八分ノ發熱有リ。胸部著變無キモ赤沈速度ハ一時間三三耗ニ達ス。依ツテ此ノ發熱モ「ツ」反應陽轉ニ關係アルヤモ知レ無イ。陽轉第四例阿尚ニ於テモ一九三一年四月十六日0.0、「ツ」反應ニテ體溫常ナリシガ五月四日20.27ニ強陽性轉化ヲ營ム。體溫ヲ檢スルニ五月六日ヨリ最高三七度二分乃至四分ノ微熱七日間持續ス。其後六月十四日マテ毎朝夕體溫ヲ檢スルモ其後ハカカル發熱無シ。本例ハ胸部著變無キモ赤沈反應ハ最高一時間三八耗ニ達ス。故ニ此ノ發熱ハ「ツ」反應陽轉ト關係アルモノト思ハレル。水第一例周子ニ於テモ一九三一年二月二十四日「ツ」反應0.0、體溫常ナリシモ四月二十日20.25ニ陽轉ズ。依ツテ體溫ヲ檢スルニ四月二十八日ヨリ五月五日ニ互リ最高三七度二分乃至九分ノ發熱ヲ來ス。爾來平體溫本例ハ胸部著變無シ。右六例ニ於テハ恐ラク此ノ發熱ハ「ツ」反應陽轉後第一期ニ關係ヲ有スルモノト思ハレル。其他二三ノ例ニ於テハ一日又ハ二日ノ一過性發熱ガアツタガ其ノ意義不明デアアル。ナホ夫レガ第一期ナルヤ第二期ナルヤ不明デアアルガ陽轉第四例下原ハ一九二七年十一月十八日「ツ」反應〇耗體溫常ナリシガ一九二八年四月九日二一耗ノ強陽性ニ轉化シ、同日診スルニ感冒ノ氣味ニテ左胸痛ヲ訴ヘ同日ヨリ五日間三七度二分乃至三八度ノ發熱アリ。休業五日ニ及ブ。本例ハ胸部臨牀的竝ニ「レントゲン」的著變ヲ認メ無イガ此ノ發熱ハ「ツ」反應陽轉ノ結果ト解シ得ル。其他陽轉第八例末宗、第九例伊家ノ兩例ハ「ツ」反應陽轉ノ發見ガ四三日以内ニシテ、發見直後ニ於テハ無熱ナリシモ其ノ四三三日ノ期間内ニ於テハ發熱ヲ呈シタ事ガアル。此ノ發熱ヲ以テ「ツ」反應陽轉第一期ト關係アリヤ否ヤ速断ヲ許サ無イガ或ハ「ツ」反應陽轉直後即チ第一期ノ發熱デアツタカモ知レナイ。

(二)「ツ」反應陽轉後第二期ニ於テハ「レントゲン」的又ハ臨牀的發病ヲ來セル例ハ特別ナレドモ其他ニ於テ發熱ヲ來スモハ、更ラニ少數例デアアル。又、假令第二期ニ於テ一過性ノ發熱有リタリトテ、其ノ際、胸部其他身體各部ニ異狀無ク、何等結核性疾患ノ徵ヲ呈セナイ場合ハ夫レヲ以テ直チニ結核性發熱ナリトハ速斷シ難イ。勿論第一期ニ於テモ其ノ判斷ハ困難デアアルガ數ケ月ノ長キニ互ル第二期ノ期間ニ於テハ尙更困難デアアル。

(三)然シ乍ラ第一期又ハ第二期ニ於テ明カニ結核性疾患ヲ藏シ、或ハスデニ臨牀的ニモ結核性疾患ヲ發病セル場合ニ於テハ斯カル發熱ヲ以テ結核性發熱ト斷定シテ差支ナイ。又事實「レントゲン」的或ハ臨牀的ニ何等カ結核病變ヲ證明シ得タル場合ニ於テハ多クハ相當ノ發熱ヲ伴ツタ。即チ陽轉第一例長才(肛圍膿瘍)、第五例下井(右中肺野下部浸潤兼右肺門下部浸潤)、第一六例川邊(左滲出性胸膜炎)、第二三例内提(右中肺野下部浸潤兼右肺門下部浸潤)、第二四例安西(左鎖骨下部浸潤)、第二六例小西(左鎖骨下部浸潤兼左肺門部浸潤)、第三三例設樂(右下肺野浸潤兼右肺門腺腫脹)、第四五例土田(左下肺門部浸潤)、第四九例林(右肺門部浸潤)、第五二例渡邊(肛圍膿瘍)、第五三例神山(左滲出性胸膜炎)、水第五例十貞(急性全身性粟粒結核)、水第七例山英(左中肺野上部浸潤兼左滲出性胸膜炎)ノ一三例ニ於テハ何レモ相當著明ノ發熱ヲ伴ツタ。唯、第七例長常(右鎖骨下部浸潤)ニ於テハ其ノ「ツ」反應陽轉發見ガ遅レタル爲メカモ知レ無イガ發熱ヲ呈セン徵ガ無イ。

(四)之ヲ要スルニ「ツ」反應陽轉後早期ニ於テハ「レントゲン」的或ハ臨牀的ニ結核病徵ノ明カナル時期又ハ程度ニ於テハ發熱ヲ來スヲ例トスルモ、其ノ明カナラザル時期又ハ程度ニ於テハ發熱ヲ來ス事稀レデアリ又、輕度デアアル。從來行ハル、體溫測定ヲ以テ結核ノ早期診斷ニ資セントスル企テハ、既ニ「レントゲン」的又ハ臨牀的ニ發病セル結核ニ對シテハ其ノ早期診斷ニ有效ナルベキモ其他ノ無症狀ナル「ツ」反應陽轉後第一期ノ多數及ビ第二期ノ殆ンド全部ニ對シテハ何等早期診斷ノ端緒トハ成ラ無イ。是レ吾人ガ、「ツ」反應陽性轉化ノ早期發見ヲ以テ唯一ナル結核超早期診斷法ナリトスル所以デアアル。然シ乍ラ「ツ」反應陽轉後早期ノ體況ノ豫後ヲ判定スルニハ體溫測定モ亦極メテ必要ナル検査デアアル。

#### 四。「ツ」反應陽轉後早期ノ赤血球沈降速度

(一)赤血球沈降速度ノ測定方法ハウエステルグレン氏法ニ從ヒ、又其ノ採血時刻ハ午後一時乃至三時ニ於テ行ツタ。「ツ」反應陽轉六五例中本法ヲ施行シタノハ三六例デアアルガ、其ノ中「ツ」反應陰性時ノ對照ヲ有スルハ僅カニ第四四例向克、第四三例西本、第四四例梶井、第四五例土田、第四六例長谷川、第四七例早乙女、第四九例林、第五二例渡邊、第

五三例神山ノ九例ノ少數ニ過ギザルヲ遺憾トスル。併シ乍ラ「ツ」反應陰性健康兵ハ余ノ先キニ報告セル如ク一般ニ赤血球沈降速度正常範圍ニ在ルガ故ニ必ズシモ「ツ」反應陰性時對照ヲ必要トシ無イ。即チ余ノ「ツ」反應陰性健康兵五三例ニ就テノ検査ニヨレバ赤血球沈降速度一時間五耗以下ニ在ルモノハ三二例(六〇%)六乃至八耗ノモノ一六例(三〇%)ニシテ九乃至一〇耗ノモノモ僅カ約一〇%ニ過ギ無イ<sup>(24)</sup>。

(二)「ツ」反應陽性轉化後早期ノ赤沈反應ハ成績ハ最高一時間一耗以上ナルハ三六例中一四例デアアル。即チ第一〇表ニ於ケル第二三例内堤、第三三例設樂、第三九例富坂、第四〇例新宅、第四四例梶井、第四五例土田、第四六例長谷川、第四八例阿尙、第四八例林、第五三例神山、水第六例宮正、水第七例山英、水第九例積博、水第一二例土稔ノ一四例デ總検査例三六例中ノ三九%ニ當リ、彼ノ「ツ」反應陰性健康者ニ於ケルト著シク異ル。

二三赤血球沈降速度異常ト其他ノ體況トノ關係ヲ調査スルニ其ノ一四例中臨牀的又ハ「レントゲン」的結核發病者ハ第二三、第三三、第四五、第四九、第五三、水第七ノ六例デアアル。其他結核性疾患デハ無イガ第三九例ハ「ツ」反應陰性時カラ中等度ノ蛋白尿(チフロゼ?)ヲ有シ、第四〇例ハ慢性淋疾ヲ有スルモノデアッタ。故ニ全然病變ヲ示サズシテ而モ赤沈反應ノ異狀ヲ示シタモノハ六例ニ過ギ無イ。而モ夫等六例中第四四、第四六、第四八ノ三例ハ發熱ヲ有シタモノデアアル。故ニ「ツ」反應陽轉後早期ニ於テ赤沈反應異狀ノミヲ示シ、他ニ何等病變又ハ病狀ヲ示サナカッタモノハ僅カ三例デ三六例中ノ九%ト謂フ事ニ成ル。

(四)「ツ」反應陽轉後早期ニ於ケル發熱ト赤沈反應トノ關係ヲ見ルニ赤沈反應亢進例ノ殆ンド全テガ發熱又ハ臨牀的病變ヲ呈スルモノデアツテ單ニ赤血球沈降速度其ノモノノミノ異常ヲ來スコトハ稀レナリト考ヘチバナラナイ。從ツテ赤血球沈降速度測定ハ「ツ」反應陽性轉化後早期ノ體況トシテ必發ノ症狀デハ無イガ、是レガ現レタ場合ハ發熱ト場合ト同様ニ相當重大ノ病變ヲ藏スル事ヲ暗示スル事ニナル。然ラバ赤沈反應ノ異常ト發熱トハ常ニ共存スルノカト言フニ第一〇表ノ如ク發熱ヲ有スル場合殊ニ「レントゲン」的乃至臨牀的發病セル場合ニ於テハ殆ンド每常赤沈反應異常ヲ伴フガ、又逆ニ赤沈反應ノ有スル場合モ亦發熱ヲ伴フ場合ガ多イノデアアル。然シ「レントゲン」的乃至臨牀的ニ何等症狀無ク且無熱

ニシテ而モ赤沈反應ノ異常ヲ呈スル場合モ三例アツタノデアル。  
 五「ツ」反應陽轉後ノ赤血球沈降速度ノ消長ヲ觀ルニ其ノ最高ハ「ツ」反應陽轉後第一期ニ在ル場合ガ多イ。陽轉第四例、第四五例、第四六例、第四八例、水第六例、水第九例等ハ「ツ」反應陽轉發見後一乃至二ヶ月ニテ最高トナリ「ツ」反應陽轉後第二期以後ハ次第ニ減退シ、數ヶ月後ニハ正常ニ復シタルモノガ多イ。然ルニ第二三例、第三三例、第四九例、水第七例ノ如キハ「ツ」反應陽轉後第二期ニ入りテ却ツテ益々赤沈速度ノ亢進ヲ示シタガ、夫等ノ症例ハ何レモ胸部「レントゲン」的變化ガ著明デアリ而モヤガテ臨牀的ニモ發病スルニ至ツタモノデアアル。是レニ由テ見レバ「ツ」反應陽轉後第一期ニ於テ赤血球沈降速度ヲ測定シ、其ノ正常ナルカ或ハ次第ニ減退ノ傾向アルモノハ豫後良好ナルベキモ、其ノ後次第ニ増加ノ傾向アリ、第二期ニ入ルモ減退ノ傾向ヲ示サ無イモノハ豫後不良ニシテ、結核發病ノ傾向アルモノト解スル事ガ出來ルノデアアル。ナホ「ツ」反應陽轉後早期ニ於テ赤沈反應ノ連續検査ヲ行ヒタル三一例中、最モ定型ナル四例ヲ選ンデ次ノ第十一表ニ掲ゲル(第十一表)。

五「ツ」之ヲ要スルニ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ於テハ其ノ三九%ニ於テ赤血球沈降速度ノ亢進ヲ認メルモ其ノ多クハ臨牀的又ハ「レントゲン」的ニ結核發病ヲ認ムル場合カ、然ラズンバ少クトモ發熱ヲ呈スル場合デアアル。然シ乍ラ赤沈反應異狀ハ發熱ノ存セザル場合ニモ亦稀レニ存スル事ガアリ、又發熱ニ先チテ起リ發熱ニ後レテ消失スル傾向ガアル(第十一表)。而シテ其ノ程度ハ大凡結核病變ノ程度ニ比例スルガ如クデアアルカラ赤沈反應ハ「ツ」反應陽轉後早期ノ體況ノ診斷竝ニ豫後判定上必要ナル検査ト認ムベキデアアル。

第十一表、「ツ」反應陽轉後早期ノ體況追跡四例。

| 人 | 「ツ」皮内反應 |        | 體溫(攝氏) |      | 赤血球沈降速度(耗) |    | 胸部レントゲン |      | 體重、肺活量及咯痰 |      |        |
|---|---------|--------|--------|------|------------|----|---------|------|-----------|------|--------|
|   | 年月日     | 成績(mm) | 年月日    | 度    | 年月日        | 時間 | 年月日     | 所見   | 年月日       | 肺活量  | 結核菌    |
| 陽 | 五、一、六   | 〇〇     | 一、六    | 三六・七 |            |    | 五、一、二   | 九透視常 | 五、一、六     | 五八・五 | 三・七(一) |
|   | 一、八     | 〇四     |        |      |            |    |         |      |           |      |        |

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

| 二、田 土 號 五 四 第 轉 陽    |                     |                      |                      |                       |                                   |                                   |                                   |                                   |                                   | 歲 二 二 井 樞 號 四 四 第 轉    |                              |                        |                        |                         |                         |                         |                         |                         |                         |                         |                         |
|----------------------|---------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------|------------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 五、<br>四<br>15水<br>20 | 四、<br>七<br>18<br>20 | 三、<br>三一<br>15<br>17 | 三、<br>一七<br>17<br>17 | 二、<br>一〇<br>17水<br>17 | 六、<br>一、二六<br>23<br>35            | 一、<br>二八<br>12<br>16              | 一、<br>二四<br>0<br>0                | 一、<br>二九<br>0<br>0                | 一、<br>二四<br>0<br>0                | 一〇、<br>九<br>0<br>0     | 五、<br>九、<br>四<br>二<br>0<br>0 | 四、<br>二一<br>20<br>50   | 四、<br>七<br>18<br>30    | 四、<br>一<br>20<br>20     | 三、<br>一二<br>25<br>25    | 三、<br>四<br>15<br>15     | 二、<br>一〇<br>25<br>25    | 六、<br>一、<br>一〇<br>20    | 一、<br>一九<br>16<br>25    | 一、<br>二四<br>0<br>0      | 一、<br>二六<br>0<br>0      |
| 五、<br>四<br>三七・二      | 四、<br>七<br>三七・三     | 三、<br>三一<br>三七・二     | 三、<br>一七<br>三六・七     | 二、<br>一〇<br>三六・八      | 一、<br>二六<br>三七・二                  | 一、<br>二六<br>三六・二六、                | 一、<br>九<br>三六・三                   | 一〇、<br>九<br>三六・六                  | 九、<br>四<br>三六・五                   | 九、<br>四<br>三五・五        | 四、<br>二一<br>三六・四             | 四、<br>七<br>三六・四        | 三、<br>三一<br>三六・七       | 三、<br>一二<br>三六・六        | 三、<br>四<br>三七・四         | 二、<br>一〇<br>三六・五        | 一、<br>一九<br>三七・五        | 一、<br>二二<br>三七・五        | 一、<br>二四<br>三六・六        | 一、<br>二六<br>三六・六        | 一、<br>二八<br>三六・六        |
| 四、<br>二八             | 四、<br>七             | 三、<br>二六             | 三、<br>一七             | 二、<br>一三              | 一、<br>二八                          | 一、<br>二八                          | 一、<br>九                           | 一、<br>九                           | 九、<br>一                           | 九、<br>一                | 四、<br>七                      | 四、<br>七                | 三、<br>三一               | 三、<br>二六                | 三、<br>一七                | 二、<br>一〇                | 一、<br>一九                | 一、<br>二二                | 一、<br>二二                | 一、<br>二二                | 一、<br>二二                |
| 一五                   | 一二                  | 一五                   | 一一                   | 一四                    | 一四                                | 一四                                | 一四                                | 一四                                | 七                                 | 七                      | 一六                           | 一五                     | 三八                     | 一六                      | 一六                      | 一二                      | 五三                      | 五三                      | 五三                      | 五三                      | 五三                      |
| 三五                   | 二八                  | 二六                   | 二七                   | 四〇                    | 三一                                | 三一                                | 三一                                | 三一                                | 二〇                                | 二〇                     | 三七                           | 三七                     | 四〇                     | 五八                      | 三五                      | 二七                      | 二五                      | 七二                      | 七二                      | 七二                      | 七二                      |
| 八三                   | 七八                  | 九一                   | 八六                   | 九九                    | 九五                                | 九五                                | 九五                                | 九五                                | 五二                                | 五二                     | 八九                           | 八九                     | 一〇〇                    | 一一二                     | 八五                      | 八二                      | 八八                      | 一一五                     | 一一五                     | 一一五                     | 一一五                     |
| 五、<br>二<br>同<br>右    | 四、<br>七<br>同<br>右   | 三、<br>一〇<br>同<br>右   | 三、<br>一七<br>同<br>右   | 二、<br>一六<br>同<br>右    | 一、<br>三〇<br>野<br>上<br>部<br>浸<br>潤 | 一、<br>三〇<br>野<br>上<br>部<br>浸<br>潤 | 一、<br>三〇<br>野<br>上<br>部<br>浸<br>潤 | 一、<br>三〇<br>野<br>上<br>部<br>浸<br>潤 | 一、<br>三〇<br>野<br>上<br>部<br>浸<br>潤 | 九、<br>一<br>寫<br>眞<br>常 | 九、<br>一<br>寫<br>眞<br>常       | 四、<br>七<br>寫<br>眞<br>常 | 四、<br>七<br>寫<br>眞<br>常 | 三、<br>一〇<br>寫<br>眞<br>常 | 三、<br>一〇<br>寫<br>眞<br>常 | 二、<br>一六<br>寫<br>眞<br>常 | 一、<br>一三<br>寫<br>眞<br>常 | 一、<br>一三<br>寫<br>眞<br>常 | 一、<br>一三<br>寫<br>眞<br>常 | 一、<br>一三<br>寫<br>眞<br>常 | 一、<br>一三<br>寫<br>眞<br>常 |
| 五、<br>四<br>五六・〇      | 四、<br>七<br>五四・五     | 三、<br>三一<br>五五・〇     | 三、<br>一七<br>五五・五     | 二、<br>一〇<br>五五・〇      | 一、<br>二六<br>五四・五                  | 一、<br>二六<br>五四・五                  | 一、<br>九<br>五六・九                   | 一〇、<br>九<br>五六・九                  | 九、<br>四<br>五四・八                   | 九、<br>四<br>五四・八        | 四、<br>二一<br>六一・六             | 四、<br>七<br>六一・〇        | 三、<br>三一<br>六〇・九       | 三、<br>一二<br>六〇・五        | 三、<br>四<br>六一・二         | 二、<br>一〇<br>六〇・七        | 一、<br>二〇<br>六〇・〇        | 一、<br>一〇<br>六〇・八        | 一、<br>一〇<br>六〇・八        | 一、<br>一〇<br>六〇・八        | 一、<br>一〇<br>六〇・八        |
| 四、<br>二<br>四・二       | 四、<br>一<br>四・一      | 四、<br>〇<br>四・〇       | 四、<br>一<br>四・一       | 四、<br>五<br>四・五        | 四、<br>〇<br>四・〇                    | 四、<br>〇<br>四・〇                    | 四、<br>一<br>四・一                    | 四、<br>一<br>四・一                    | 四、<br>一<br>四・一                    | 四、<br>一<br>四・一         | 三、<br>八<br>三・八               | 三、<br>八<br>三・八         | 三、<br>九<br>三・九         | 三、<br>九<br>三・九          | 三、<br>七<br>三・七          | 四、<br>〇<br>四・〇          | 三、<br>七<br>三・七          | 三、<br>九<br>三・九          | 三、<br>九<br>三・九          | 三、<br>九<br>三・九          | 三、<br>九<br>三・九          |



| 25   |         | 30   |       | 35  |     | 40  |     | 45  |     | 50  |     | 55  |     | 60  |     | 65  |     | 70  |     |
|------|---------|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 五、四  | 水       | 五、六  | 三、七   | 五、一 | 二、四 | 三、八 | 五、五 | 五、一 | 二、二 | 五、一 | 三、七 |
| 四、二〇 | (10 35) | 四、二一 | 三、六、八 | 五、八 | 二、二 | 四、二 | 九、一 | 四、二 | 六、二 | 四、〇 |
| 四、一四 | 〇、五     | 四、一四 | 三、五、九 | 五、八 | 二、二 | 四、二 | 九、一 | 四、二 | 六、二 | 四、〇 |
| 三、一三 | 〇、〇     | 三、一三 | 三、六、七 | 五、八 | 二、二 | 四、二 | 九、一 | 四、二 | 六、二 | 四、〇 |
| 二、一〇 | 〇、〇     | 二、一〇 | 三、六、二 | 五、八 | 二、二 | 四、二 | 九、一 | 四、二 | 六、二 | 四、〇 |
| 一、二七 | 〇、〇     | 一、二七 | 三、六、七 | 五、八 | 二、二 | 四、二 | 九、一 | 四、二 | 六、二 | 四、〇 |
| 二、六  | 〇、〇     | 一、二七 | 三、六、七 | 五、八 | 二、二 | 四、二 | 九、一 | 四、二 | 六、二 | 四、〇 |

五。「ツ」反應陽轉後早期ニ於ケル「ツベルクリンアレルギー」

(一)「ツベルクリンアレルギー」ノ發現ハ急激ナル場合ガ多イ。余ハ「ツ」反應陽轉發見後ハ毎月一回以上同反應検査ヲ反復シタノデアアル。例ヘバ前月マデ毎月「ツ」皮内反應成績全然陰性ニテ四八時間ニ於テ紅斑モ浸潤モ形成シナイモノガ、

一ヶ月後ノ現在デハ立派ニ陽性ト成ツテ直徑一〇又ハ一五耗以上ノ浸潤ヲ形成スル事ガ多イ。而シテ最初ノ陽性反應ハ一〇乃至一四耗ノ事ガ(弱陽轉化)ガ多ク一五乃至一九耗ノ場合(中陽轉化)是レニ次ギ、五乃至九耗ノ場合(疑陽轉化)ハ稀レデアアル(第二及第三圖)。

(二)「ツベルクリンアレルギー」ノ發育モ亦比較的急劇デ陽轉後第一期ニ其ノ最高ニ上ル。茲ニハ詳述ヲ略スルガ陽轉後一ヶ月以上三ヶ月以内ニ其ノ最高ニ達スルモノガ多イ。即チ最初陽性反應(陽性ヨリ一ヶ月以内)ハ一〇乃至一四耗程度デアアルガ其ノ翌月又ハ翌々月ノ検査(陽轉ヨリ二又ハ三ヶ月以内)ニハ一五乃至一九、又ハ二〇耗以上ト成ル。然シ、

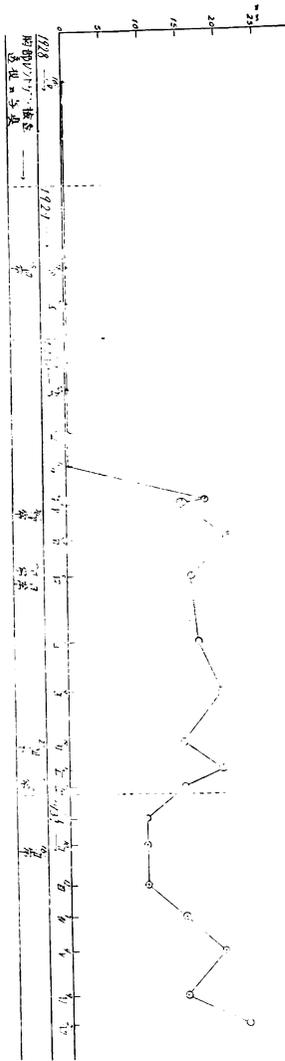
最初陽性反應後發育シナイ例モアル。

(三)「ツ」反應陽轉後最高「アレルギー」ハ斯ク多クハ第二又ハ第三月ニ認めラレルガ、其高度ハ非常ニ高イ。多クハ一五乃至二五耗デ在ツテ恐ラク其ノ個體ガ一生涯中將來再ビ持ツ事能ハザル程ノ高度デアアル(第一〇表参照)。

(四)「ツベルクリンアレルギー」ノ運命ヲ長ク追跡觀察スル事ハ必要ナ事デアアルガ余ノ最モ長ク見タ例デモ未ダ數年シカ成ラナイ。今夫等ノ例ヲ觀ルニ、「ツ」反應發見後二乃至三ヶ月ニシテ最高ニ達シタル「アレルギー」ハ其ノ後一乃至二ヶ

第二圖 陽轉 第37號 23歳

—●— 浸潤、發赤  
—○— 浸潤、水泡、發赤  
千倍「ツベルクリン」0.1 皮下注射後4時間浸潤直徑

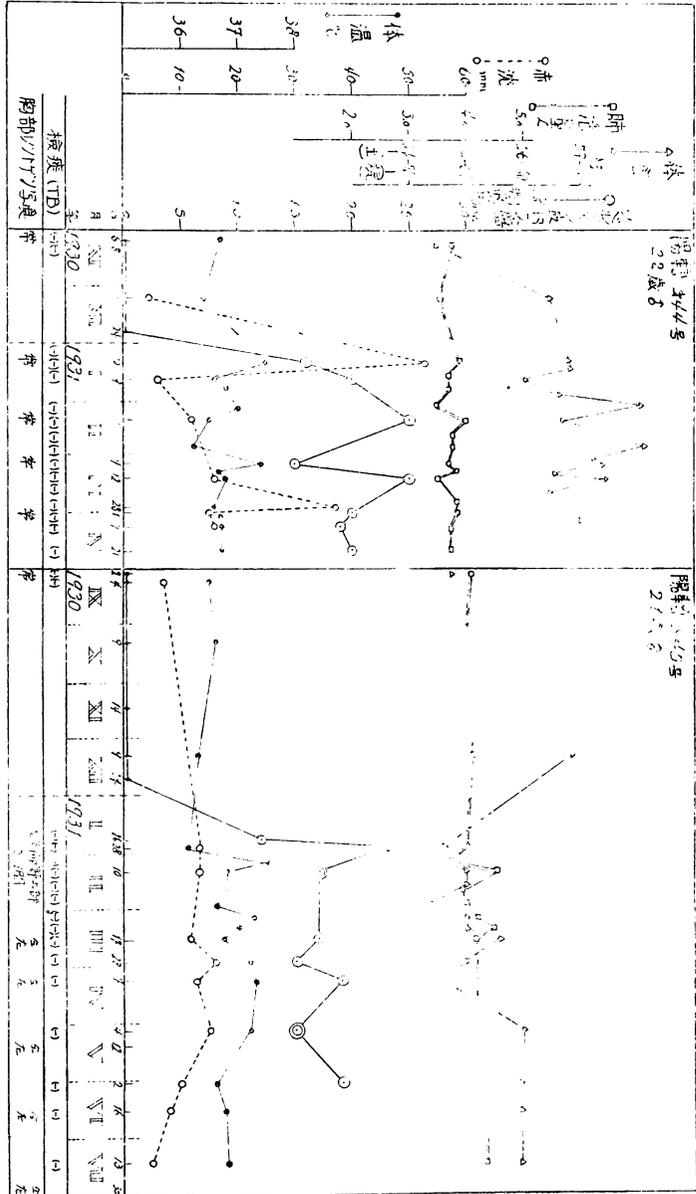


月ノ内ニハ一時一寸反動的ニ下ル例が多い。併シ直キニ又、戻スガ其ノ戻シハソウ高クハ無ク、到底始メノ最高ヲ超ヘル事ハ無イ。其後ハ或ル程度ノ波動的ニ上下ハアルガ大シタ事ハ無ク、大體ハ下リ氣味デ、一乃至二年ノ後ニ至レバ夫レモ殆ンド安定シ永久不變ト

成ルラシイ。蓋シ余ノ陽轉例ノ追跡ニ於テハ未ダ一例モ「ツ」反應ノ陰性轉化即チ「アレルギー」ノ消失ヲ來セシ例ガ無イ。故ニ「ツベルクリン」アレルギー」ハ其ノ發現直後ニ於テ最高ニ達シ、其後其ノ高度ニ多少ノ動搖アルモ遂ニ消失スル事無クシテ其ノ生涯ニ及ブモノト考フベキデアル。ナホ余ガ數百例ノ「ツ」反應陽性者ニ對シ「ツ」反應ヲ數年間反復セシ結果ニ於テモ「ツ」反應陰性轉化例無ク又、甚シキ動搖無キ事實也。又、尼子富士郎博士ガ浴風會養老院ノ高齢者ニ對シ「ツ」反應ヲ行ヒシ結果、其ノ殆ンド一〇〇%ニ於テ著明陽性ナル事實(同會研究記録印刷中)モ亦、「ツベルクリン」アレルギー」ノ運命ヲ物語ルモノデア

(五)「ツ、バルクリン、アレルギー」ト其他ノ體況トノ關係ヲ見ルニ、必ズシモ一定ノ關係ハ無イ。第一〇表ニヨリ窺ヒ得ルガ如ク體溫高キ場合必ズシモ「アレルギー」高カラズ、「アレルギー」高キ場合必ズシモ發熱ヲ伴ハナイ。赤沈反應トノ關係モ亦同様デア

併シ乍ラ「レントゲン」的又ハ臨牀的ニ胸部病變著明ナル場合ニ於テハ發熱及ビ赤沈反應充進ヲ伴フコト多キト共ニ、「ツベルクリン」アレルギー」ノ高イコトモ多イ。第一〇表ニ於テ第五例、第二三例、第四五例、第四九



例、第五三例、水第七例等ハ其ノ適例デ高イ「アレルギー」ヲ示シタガ多クハ豫後不良デアッタ。  
 然シ乍ラ「ツベルクリンアレルギー」ノ高度ハ必ズシモ其ノ豫後不良ナルヲ示スモノデハ無イ。此ノ關係ハ赤沈反應トハ  
 全然其ノ趣ヲ異ニスル。寧ロ「ツベルクリンアレルギー」高ク而モ赤沈反應正常ナル症例ハ其ノ豫後却ツテ良好ナル傾向  
 ガアル。例ヘバ第六例、第七例、第二四例、第二五例、第二九例、第三四例、第三六例、第三七例等ノ八例ハ「ツ」反應

強陽性デ而モ赤沈反應正常ナル陽轉例デアツタガ其後一ケ年餘ニ互ツテ立派ニ健康ヲ保チ結核性疾患發病ノ兆ガ無イ。殊ニ第七、第二四例等胸部「レントゲン」的病變著明ナル場合ニ於テモナホ且ツ然リデアル。是ニ由テ觀レバ「ツ」反應陽轉後第一期ノ強キ「ツ」ベルクリンアレルギーハ、發熱又ハ赤沈反應ト異ナリ、決シテ其ノ豫後ノ不良ナルヲ豫告スルモノデハ無イ。「ツ」ベルクリン「反應強陽性ナル事」ハ夫レト結核免疫トノ關係ハイザ知ラズ、少クモ其ノ生體ニ對シ著シキ障礙ヲ與ヘルモノデハ無イト言フ事ハ充分考ヘラレル。

(一)之ヲ要スルニ「ツ」ベルクリンアレルギーノ發現即チ「ツ」反應陽性轉化ハ恐ラク結核感染早期ニ必發スル唯一ノ病徵デアツテ發熱モ、赤沈反應異狀モ、胸部「レントゲン」的變化モ決シテ斯ク必發ノ症狀デハ無イ。然カノミナラズ、「ツ」ベルクリンアレルギーノ消長ハ「ツ」反應陽轉後ノ經過ニヨツテ略ボ定型的ノ曲線ヲ畫ク。故ニ「ツ」ベルクリンアレルギーハ「ツ」反應陽轉後早期ノ體況中最モ特異ナルモノト稱スベキデアル。ナホ此ノ「ツ」反應陽轉後早期ノ「アレルギー」ニ就テハ稿ヲ改メテ詳述スル事トスル。

六、「ツ」反應陽性轉化後早期ニ於ケル胸部「レントゲン」的所見。

(一)胸部「レントゲン」的検査ノ方法ハ先ヅ「ツ」反應陰性時ニ一回以上胸部「レントゲン」寫眞検査ヲシテ置イテ、夫レヲ健康時對照トシ、其ノ後「ツ」反應陽轉ヲ發見セバ直チニ同検査ヲ施行シ、其後モ毎月一回以上連續反復検査ヲスル事ニシタノデアアル。但シ一部ニ於テハ遺憾乍ラカカル「ツ」反應陰性時對照ヲ缺クモ、「ツ」反應陰性健康上ニハ一般ニ胸部ニ「レントゲン」寫眞所見ニ異狀無ク、余ノ九四例ノ検査中僅カニ二例ニ於テ陳舊性初期變化群ノ灰化竈ヲ疑ハシムル陰影ガ認めラレタニ過ギ無イ<sup>(10)(23)</sup>。故ニ夫等「ツ」反應陰性時對照ヲ缺ク諸例ニ於テモ其ノ陰性時ハ胸部「レントゲン」所見ノ正常ナリシモノト檢定シテ差支無イ。

(二)胸部「レントゲン」寫眞検査ノ成績ハ第一〇及第一二表ニ示ス通りデアル。即チ「ツ」反應陽轉後早期六三例中肺野又ハ肺門ニ病變ヲ認めタルモノハ次ノ第二二表中第一乃至第九ノ九例デアル。即チ被檢者六三例中九例デアアルカラ約一四%ニ相當スル。ナホ「ツ」反應陽轉後第二期又ハ第二期ヲ推定スベキ時期ニ於テ胸部「レントゲン」検査ニヨリテ滲出性

胸膜炎ノ像ヲ認メタルモノハ五例デアル。但シ其ノ内二例ハ前記九例中ニ屬セシモノニテ「ツ」反應陽轉後滲出性胸膜炎發病前ニ於テスベテ肺野浸潤(山英)又ハ肺門部浸潤(林)ヲ呈セシモノデアル。其他一例ハ「ツ」反應陽對後發病前ニ胸部「レントゲン」所見ニ異狀ヲ呈セザリシモノ(鎌田)、二例ハ「ツ」反應陽轉後發病前ノ胸部「レントゲン」検査ヲ缺イタモノ(川邊、神山)デアル。其他一例ニ於テハ「ツ」反應陽轉後第二期ノ始メト推定スベキ時期ニ於テ急性粟粒結核症ヲ發シ、著明ノ腦膜炎症狀ヲ呈シタルガ、其ノ胸部「レントゲン」寫眞ニ於テハ多數ノ播種竈ヲ認メタ。以上二三例ノ外ノ五〇例ニ於テハ「ツ」反應陽轉發見直後ハ勿論、其後數ヶ月乃至一ケ年餘ノ後チニ及ブ反應検査ニ於テモ何等病變ヲ現ハスニ至ラ無カツタ。ナホ茲ニ注意スベキハ「ツ」反應陽轉發見直後ニ於ケル胸部「レントゲン」寫眞ニ全然變化無クシテ、毎月検査ノ結果途中ニテ病變ノ始メテ現レタル例ハ一例モ無イコトデアル。是ニ由テ觀レバ「ツ」反應陽轉後早期ニ於ケル肺ノ「レントゲン」的病變ハ現レルモノナラバ其ノ第一期カラ現レルモノデアルガ、胸膜炎ハ第二期ニ現レルモノダト謂フ事ガ考ヘラレルノデアル。

(三)「ツ」反應陽轉後早期ニ於ケル胸部「レントゲン」的變化像ニハ次ノ三型ガアル。即チ第一型ハ鎖骨下部(第七、第二四例)、其他肺野(第四五例、水第七例)ニ孤立性肺浸潤ヲ生ズルモノデアリ、第二型ハ肺門部淋巴腺腫大又ハ肺門部浸潤ヲ呈スルモノ(第四九例)デアリ、第三例ハ以上兩者ヲ兼スルモノ(第二六、第五、第二三、第三三例)デアル。夫等各例ノ「レントゲン」像ヲ次ノ第一二表ニ詳述スル(第十二表)。ナホ此ノ「ツ」反應陽性轉化後早期ノ胸部「レントゲン」所見ニ就テハ別ニ稿ヲ改メテ詳述スルコト、スル。

第十二表 「ツ」反應陽轉後早期ノ胸部「レントゲン」所見

| 番 號   | 症 例 | 「レントゲン」的所見 |   | 「ツ」皮内反應 |      | 臨牀的所見 |          |
|-------|-----|------------|---|---------|------|-------|----------|
|       |     | 検査年月日      | 寫眞所見                                      | 検査年月日   | 浸潤直徑 | 發熱反應  | 胸部所見     |
| 陽轉第五例 |     | 三、一、七      | 寫眞(一)乃至(三)ニハ右肺門影下半部著シニキ廣汎ナル陰影トナリ。心臟影ニ移行ス。 | 二、一〇、一八 | 二    | +     | 常 右背下部輕濁 |
|       |     | 二、九        |   | 三、一、一八  |      |       |          |





| 一〇   | 九   | 八  | 七  |
|--|---|--|--|
| 炎性左胸膜出<br>男子二十五歳<br>陽轉第三例  | 膜性左野野左<br>炎性滲潤上中<br>胸出部肺<br>男子二十二歳<br>第七例   | 浸潤性右胸<br>男子二十五歳<br>陽轉第四例   | 野上野下<br>男子二十五歳<br>陽轉第二例  |
| 五、四、二、一<br>五、二、一<br>五、一、四<br>五、一、六<br>五、一、九<br>七、二、五   | 六、二、二、六<br>三、三、三<br>三、二、五<br>四、四、八<br>四、一、五<br>四、一、六<br>五、二、三<br>六、一、三<br>九、一、五   | 五、九、一、一<br>一〇、一、六<br>一、一、一<br>一、一、一<br>七、一、〇   | 二、一、六<br>三、一、〇<br>四、一、七<br>五、一、二<br>六、一、三<br>七、一、〇   |
| 一<br>二<br>三<br>四<br>五<br>六<br>七<br>八<br>九<br>一〇  | 一<br>二<br>三<br>四<br>五<br>六<br>七<br>八<br>九<br>一〇   | 一<br>二<br>三<br>四<br>五  | 一<br>二<br>三<br>四<br>五<br>六<br>七<br>八   |
| <p>(一)常態。(二)ヨリ胸液左胸ニ急劇ニ瀰留シ來リ(五)ニ至ル迄ニ其陰影ノ上界第四肋骨ヲ超エ、左肺ハ内上方ニ壓迫セラル。六月七日ニハ著シク減退シ(二)ニ於テハ胸壁ニ沿ヒ一五耗幅負ノ陰影ヲ殘シ横隔膜水平位トナリ、左右同高。但、左横隔膜肋骨竇消失セリ。</p> | <p>(一)及ビ(二)左肺中野ノ大部分ヲ占ムル境界不明、稍濃キ瀰漫性陰影アリ。(三)ニ於テ吸收著シク、第二肋間ニ密集セル多數ノ小積雲狀影ヲ現出ス。肺門影上部ニ連レリ。(四)以後胸液ノ爲メニ左肺下半部不明トナレルモ、上記ノ陰影ハ明カニ見ラレ、之ニ連レル肺門影部モ膨大シ濃度ヲ増シ兩極性ナルヲ知レリ。(七)以後(九)迄胸水ヲ増シ、其間、肺陰影ヲ視ヒ得ズ。(一〇)ニ至リテ胸水減退シテ(四)ノ程度トナレリ。即(四)ニ比スルニ肺野當該部著シク明ルク、肺門影限局シ、以前ノ如キ帶狀ノ連絡影及ビ滲出性陰影ヲ見ザルニ至レリ。</p> | <p>(一)、(二)、(三)共ニ異常ナカリシ右肺門影ハ(四)ニ於テ廣汎ナル層雲狀、境界不明ノ大陰影ニ化シ、此陰影中ニ更ニ濃キ徑大約四・五糎ノ積雲狀影ヲ心臟ノ右方ニ見ル。(五)ニ於テハ右肺野第二肋骨以下ハ均等ニシテ強度ナル胸液ノ陰影ニ覆ハル。</p> | <p>寫眞動キタル爲メ單ニ陰影ナコトヲ知ルノミニシテ性状ヲ明カニシ得ズ。(五)ニテハ稍、吸收セラレテ筒狀造構ヲ現ハシ(六)、(七)ニ於テ吸收益々著明ナリシガ、(八)ニ至リテ再ビ濃度ヲ増セリ。肺門影ハ透射方向適セズ。不明ナリ。</p> |
| 五、五、四、二、一<br>五、二、一<br>五、一、四<br>五、一、六<br>五、一、九<br>七、二、五   | 六、一、九、二、五<br>二、二、四、水<br>三、一、七、水<br>三、一、七、水<br>三、一、七、水<br>四、一、七、水<br>四、一、七、水<br>四、一、七、水<br>四、一、七、水<br>四、一、七、水  | 五、九、一、一<br>一〇、一、六<br>一、一、一<br>一、一、一<br>七、一、〇   | 二、一、〇、水<br>三、一、七、水<br>四、一、七、水<br>五、一、二、水<br>六、一、三、水<br>七、一、〇、水   |
| 一<br>二<br>三<br>四<br>五<br>六<br>七<br>八<br>九<br>一〇  | 一<br>二<br>三<br>四<br>五<br>六<br>七<br>八<br>九<br>一〇   | 一<br>二<br>三<br>四<br>五  | 一<br>二<br>三<br>四<br>五<br>六<br>七<br>八   |
| 常<br>左後下濁音<br>濁音増加<br>濁音減退   | 常<br>左胸液<br>胸液増加<br>胸液増加<br>胸液減少<br>胸液減少<br>胸液消失  | 常<br>右胸液大量   | 常<br>" " " " " " " " " " " "   |

(四)「ツ」反應陽轉後早期ノ胸部「レントゲン」像ハ結核初期變化群ノ「レントゲン」像デアルカ、若シ「ツ」反應陽性轉化ヲ結核初感染ノ結果ト解スルナラバ、此ノ胸部「レントゲン」像ハ結核初感染竈ニ由來スルモノト解スベキデアアルマイカ。果シテ然ラバ斯カル變化ハ「ツ」反應陰性者又ハ陳キ「ツ」反應陽性者ニ於テハ發見シ得無イ筈デアアル。

余ハ前述ノ如ク「ツ」反應陰性健康六九四例ノ胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ行ツタガ一例モ斯カル變化ヲ發見シ無カッタ<sup>(23)</sup>。

然ラバ次ニ陳キ「ツ」反應陽性者ニハ斯カル「レントゲン」像ヲ見出サ無イカト言フニ、一九二七年六月以來「ツ」反應陽性ナル第一期經生一〇名及ビ一九二八年五月以來「ツ」反應陽性ナル第二期經生六名合計一六名ニ對シ一九二九年七月胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ行ツタガ、内第二〇期生中ノ一例清秋ニ於テ右鎖骨下部ノ孤立性浸潤像ヲ認メタノミデアアル。然シ、此ノ例デモ他ニ陳キ初期變化群ト解スベキ灰化竈ハ認メラレ無カツタカラ、恐ラク餘リ古クカラ陽性デアツタモノデハ無カラウ<sup>(24)</sup>。又余ハ一九二九年十一月「ツ」反應ヲ検査シテ其ノ陽性ナリシ第二期高經練生四名ニ對シ、翌年六月胸部「レントゲン」透視検査ヲ行ツタガ、一例モ前記ノ如キ胸部所見ヲ見出サ無カツタ。然シ夫等ハ「ツ」反應陽性反應後一乃至二年以内ノ短期間ノ觀察例デアリ、又少數例デアリ、且ツ一部ハ透視検査ニ過ギ無イカラ、夫等ノ事實ヲ以テ直チニ陳キ「ツ」反應陽性者ニ於テハ余等ノ陽轉例ノ如キ胸部變化無シト斷定スル根據トハ成ラ無イ。「ツ」反應陽性者ニモ長期ニ互ツテ胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ反復シテ見テバ此ノ問題ハ解決シ無イ。

ナホ「ツ」反應初回検査ト同時ニ胸部「レントゲン」検査ヲ行ツタ例ハ澤山アル。一九二九年七月「ツ」反應陽性ナリシ第二期經生一名ニ對シ同月胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ行ヒシニ一例中千ニ於テ左鎖骨下部ニ孤立性浸潤ヲ認メタガ他ニ灰化竈ハ無カツタ<sup>(25)</sup>。又、一九三〇年四月「ツ」反應陽性ナリシ第二期經生七名ニ對シ同月胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ行ツタガ内一例モ余ノ「ツ」反應陽轉早期「レントゲン」像ニ相當スルモノガ無カツタ。又、一九三一年三月「ツ」反應陽性ナリシ第二三期經生六名ニ對シ同月行ツタ胸部「レントゲン」寫眞検査ノ成績モ亦同様デアツタ。其他一九三一年一月「ツ」反應陽性ナル健康者七名ニ對シテ同月行ツタ胸部「レントゲン」寫眞検査ノ成績モ亦同様デアツタ<sup>(26)</sup>。以上三一例ノ胸部「レントゲン」寫眞検査中鎖骨下部肺野ニ孤立性浸潤ヲ發見シタノハ前記一例ニ過ギ無イノデアアル。夫等「ツ」反應陽性ハ其ノ「レントゲン」検査時、ナホ「ツ」反應陽轉後早期ニ在ルヲ保シ

難イノテアルカラ、斯カル浸潤モ或ハ余ノ陽轉後早期「レントゲン」像ト同一ノモノカモ知レ無イ。余ハ又一九三〇年六月第四期普經生五八名、一九三〇年十二月第二期高經生五八名及ビ第四七期普經生五八名合計一七四名ニ對シ「ツ」反應ト同時ニ胸部「レントゲン」透視検査ヲ行ツタガ、其ノ「ツ」反應陰性者ニモ陽性者ニモ前記余ノ陽轉早期「レントゲン」像ト類似ノ陰影ヲ發見シタ事ガ無イ。

是ニ由テ見レバ右九例ニ見タル第一乃至第三型ノ「ツ」反應、陽轉後早期胸部「レントゲン」像ハ大凡「ツ」反應陽轉後早期ニ特有ナル所見ト認ムベキデアラウ。而シテ恐ラク結核初期變化群ニ特有ノ像ナリト考フベキデアラウ。

七、「ツ」反應陽轉後早期ニ於ケル臨牀の所見殊ニ胸部理學的の所見、肺活量、喀痰及ビ體重。

(一)胸部理學的の所見。「ツ」反應陽轉後早期殊ニ其ノ第一期ニ於テハ何等自他覺的症狀ヲ示サ無イモノガ多イ。余ノ六五例中三三例即チ五一%ハ第一期ト認ムベキモノデアルガ、夫等ハ勿論胸部理學的的症狀ヲ缺ク。其他確實ニ胸部「レントゲン」的症狀ヲ有スル前記ノ肺野又ハ肺門部浸潤九例ニ於テモ、多クハ胸部理學的的症狀ヲ缺ク。唯其ノ内第四例及ビ第二三例ノ二例(共ニ右中肺野下部浸潤兼右肺門下部浸潤ニ於テハ「ツ」反應陽性轉後第一期ニ於テ「レントゲン」的肺病電ヲ認メタガ、其後病勢ノ進行ニ伴ヒ大凡其ノ第二期ニ至リテ臨牀的ニモ右背下部ノ輕濁音ト其ノ部ノ笛聲乃至氣管枝狹窄音トヲ呈スルニ至ツタ。併シ、第四例ニ於テハ輕度デアアル。但シ、滲出性胸膜炎ヲ發病セル五例ニ於テハ何レモ著明ノ臨牀的症狀ヲ呈シ、又、急性粟粒結核症ノ一例ニテハ腦膜炎症狀其他相當ノ胸部症狀ヲ呈シタ。肛圍膿瘍二例ニ就テハ臨牀的ニモ「レントゲン」的ニモ胸部症狀ヲ呈シ無イ。右ヲ通計スルニ「ツ」反應陽轉後早期ニ於テ早晚胸部臨牀的的症狀ヲ呈シ、臨牀的ニモ發病ヲ來シタモノハ僅カ八例ニシテ六五例中ノ一二%ヲ占メルニ過ギ無イ。而モ内五例ハ滲出性胸膜炎デアアル。之ヲ要スルニ「ツ」反應陽轉後早期ノ胸部臨牀所見ハ其ノ第一期ニ「レントゲン」的所見ノ有無ニ拘ラズ無症狀ナルヲ例トシ、第二期ニ至リテ始メテ稀ニ肺浸潤又ハ滲出性胸膜炎ノ症狀ヲ呈スルニ至ル者モアルト謂フベキデアアル。

(二)肺活量。「ツ」反應陽轉後早期ニ於テハ肺活量ノ減少ヲ來ス例ハ少イ。減少ヲ來セル例ガアツテモ夫レハ第二期ニ於テデアアル。而モ肺活量ノ減少ヲ來セルハ第五例及ビ第二三例ノ如ク肺浸潤相當高度ニシテ胸部「レントゲン」的又ハ臨

牀の症狀著明ナル場合ニ限ルノデアアル。第二期ニ入りテ滲出性胸膜炎ヲ發病セザル場合ニ於テハ勿論或ル程度ノ減量ヲ示ス。猶第二四例ニ於テ一時約四〇〇〇蚝ノ減少ヲ來セルモ或ハ左鎖骨下部浸潤ノ結果カモ知レ無イ。斯ルガ故ニ「ツ」反應陽轉後早期ニ於テ早晚多少ノ肺活量減量ヲ示セルハ合計僅カ八例ニ過ギ無イ。之ヲ要スルニ、肺活量ノ減少ハ「ツ」反應陽轉後早期ノ體況トシテ特有ノ症狀ニハ非ズ。又、頻發ノ症狀デモ無イ。從ツテ肺活量ノ繼續檢査ハ「ツ」反應陽轉後早期ノ體況トシテ餘リ重要ナモノデハナイ。

(二) 咯痰。「ツ」反應陽轉後早期ノ檢痰ハ遂ニ一例ニ於テモ結核菌ヲ發見スル事ガ出來無カツタ。唯、第二三例ニ於テ「ツ」反應陽轉後七ヶ月ニシテ胸部「レントゲン」的竝ニ臨牀の症狀著明ト成リ、遂ニ臨牀的ニモ肺結核ノ發病ヲ認メテ後チ、橫病入院後ニ於テ結核菌ヲ證明セラレタル一例アルノミデアアル。是ニ由テ觀レバ「ツ」反應陽轉後早期ニ於テハ全然無症狀ナル例ハ勿論胸部「レントゲン」的變化アル例ニ於テモ、咯痰ニ結核菌ヲ染出スル事極メテ稀ナルヲ知ル事ガ出來ル。

ナホ余ハ一九三一年二月以來、熊谷レヴエンスタイン氏血液結核菌培養法ニヨリ、第四四例、第四五例、第四六例、第四七例、第四八例、第五〇例、第五一例、第五二例、第五三例、水第七例、水第八例、合計一例ニ對シ一回乃至三回血液結核菌培養ヲ試ミタガ未ダ一例ニ於テモ陽性成績ヲ得ルニ至ラ無イ。

(四) 體重。「ツ」反應陽轉後早期ニ於テハ體重ノ減少ヲ來スコトモ稀デアアル。其ノ減少ヲ示スハ肺活量ニ於ケルガ如ク特殊ノ症例ニ限ル。即チ第一〇表中ニ第五例、第二三例、第三三例、第四五例等「レントゲン」的乃至臨牀的ニ肺結核ノ發病ヲ來セル症例カ然ラズンバ、胸膜炎ヲ發病スルニ至ツタ場合デアアル。之ヲ要スルニ體重減少ハ「ツ」反應陽轉後早期ノ體況トシテ著明ナモノデハ無イ。從ツテ體重ノ連續的秤量モ亦肺活量測定ト同様ニ「ツ」反應陽轉後早期ノ體況トシテ著明ナモノデハ無イ。

助ケトハ成ラ無イノデアアル。之レヲ要スルニ「ツ」反應早期ノ體況ヲ確證スルニ「ツ」反應陽轉其物ヲ發見スルヨリ外ハ無イ。但シ胸部「レントゲン」所見ニ特異ノ變化ヲ發見シ得タル場合ニ限リ之ヲ診斷シ得ル。然シ夫レモ約一五%ニ過ギ無イハデアアル。(第二部終リ)

### 第三部 滲出性胸膜炎ハ「ツベルクリン」反應陽性轉化後早期ニ發病ス

#### 一。緒論

胸膜炎ハ「ツベルクリン」反應陽性轉化後如何ナル時期ニ發病スルヤ。

若シ「ツベルクリン」反應陽性轉化ガ結核傳染後一定期間即チ所謂生物學的結核潛伏期ノ後チニ發現スルモノトスレバ、此ノ「ツベルクリン」反應陽性轉化ト胸膜炎發病トノ時間的關係ヨリシテ間接ニ結核感染ト胸膜炎發病トノ時間的關係ヲ推定スル事ガ出來ル譯デアアル。吾人ハ從來、軍隊胸膜炎乃至所謂特發性滲出性胸膜炎ヲ以テ結核感染早期ニ發病スル一種ノ結核性胸膜炎ナルベシト主張シテ來タハデアアルガ、事實ハ果シテ然ルヤ否ヤ<sup>4)</sup>又、若シ夫等胸膜炎ガ結核感染後早期ニ發病スルモノトシタナラバ、其ノ早期トハ抑モ如何ナル期間ナリヤ。是レ胸膜炎ノ發生病理ヲ闡明スル上ニ於テ必要ナルノミナラズ、胸膜炎ノ發病豫防上甚ダ重要ナル問題デアアル。但シ本研究ニ於テ胸膜炎ト稱スルハ普通型滲出性胸膜炎ノミヲ指ス。

余ハ次ニ多數胸膜炎症例ニ就テ此ノ「ツベルクリン」反應ト胸膜炎發病トノ關係ヲ吟味シテ見度イト思フ。本研究ニ於ケル研究資料ハ余ノ東京海軍部隊ニ於ケル調査成績ヲ主トシ、ナホ昭和二年度徵兵及ビ昭和一乃至五年度免役死亡兵ノ還納身體歴ニヨル調査成績ヲ參考トシタノデアアル。

#### 二。胸膜炎發病前ニ「ツ」反應陽性轉化ヲ發見セル症例

「ツ」反應陽性轉化ト胸膜炎發病トノ時間的關係ヲ知ルニ最モ確實ナル方法ハ先ヅ「ツ」反應陽性轉化ヲ發見シ、次デ其後胸膜炎發病マデノ期間ヲ測定スル事デアアル。而シテ其ノ目的ヲ達スル爲メニハ先ヅ「ツ」反應陰性健康者ノ多數ニ對シ、少クトモ毎月一回以上同反應ヲ反復シ、其ノ陽性ニ轉化セルヲ早期ニ發見セテバ成ラナイ。斯クシテ「ツ」反應陽性轉化ヲ發見シタナラバ其ノ後ヨク其ノ體況ヲ觀察シ、胸膜炎ノ發病ヲ早期ニ診斷セテバナラナイノデアアル。然シ乍ラ「ツ」反應性轉化後必ズシモ胸膜炎ヲ發病スルモノデナイ。

余ハ一九二七年六月末ヨリ三一年七月マデ滿四ケ年ニ互リ、東京海軍各廳軍人軍屬一三八九名ニ對シ「ツ」反應ヲ行ヒ、

内二四一名ノ陰性者ヲ得、夫等陰性者ニ對シテハ更ラニ同反應ヲ反復検査シ軍人五三例、軍屬一二例合計六五例ノ「ツ」反應陽轉者ヲ得タガ、内余ノ觀察期間内ニ於テ胸膜炎ヲ發病シタモノハ僅カ三例ニ過ギナイ。

其他ナホ我ガ海軍デハ右ト無關係ニ一九二八年一月ヨリ三月マデノ間ニ前年十二月入籍ノ徵兵三千數百名ニ對シ、「ツベルクリン」皮内反應ヲ試ミ其ノ一部ニ於テハ一九二九年九月同反應ヲ再檢シタ。其ノ際發見セラレタ「ツ」反應陽性轉化者中、後チニ胸膜炎ヲ發病シタ者ガ二例アル。右五例ハ甚ダ少數例デハアルガ明カニ「ツ」反應陽性轉化後一定期間ニ胸膜炎ヲ發病シタモノデアル。次ニ各症例ヲ詳述シテ、其ノ陽性轉化ト胸膜炎ヲ發病トノ時間的關係ヲ檢討スル。

一。東京海軍部隊ニ於ケル症例。

一九二七年六月以來三一年六月ニ至ル四ケ年間ニ於テ余ノ自ラ調査セル東京部隊ニ於ケル「ツベルクリン」反應陽性轉化後發病ノ胸膜炎ハ次ノ三例(第一例、第二例、第三例)デアアル。次ニ其ノ症歴ヨリ、「ツベルクリン」反應ト胸膜炎發病トノ關係ニ關スル部分ヲ抄録スル。

第一例。陽轉第三〇例、二八歳 男子。左滲出性胸膜炎。

明治三十六年十二月千葉縣某農村ニ於テ出生。父母健、同胞六名内一兄十一歳ノ時亦痢ニテ死亡、一姉十四歳ノ時「レウマチス」ニテ死亡、其他健存ス。遺傳的疾患無シ。本人ハ生來健康ニシテ著患ヲ知ラズ、麻疹ヲ經過シ種痘痕アリ。郷里ニ於テ小學校卒業後農業ニ従事セシガ大正十三年一月海軍水兵ヲ志願兵シ甲種合格シ同年六月一日精團ニ入籍ス。當時身長一四九・六糎、體重五九・九疋、肺活量三八〇〇珉、胸圍八三・九糎、其他身體各部異常無シ。爾來、海軍勤務中著患無シ。

昭和四年十一月四日高經練生トシテ入校、余ノ身體検査ヲ受ク。當時身體各部異常無ク體溫常。同月六日以來、翌年十一月二十日マデ「ツベルクリン」皮内反應毎回、全然陰性ニシテ身體各部異常無シ。胸部「レントゲン」所見亦異常。

然ルニ二月十日「ツベルクリン」皮内反應中等度陽性ト成リ、其後七十日ヲ經テ四月二十一日左滲出性胸膜炎ヲ發病スルニ至ツタ(第一三表)。

第一三表 鎌〇五〇、二八歳、男子、左滲出性胸膜炎

| 年月日    | 千倍、ツ<br>液内、一<br>皮膚、四<br>八時間、耗 | 攝體<br>氏溫 | 結喀<br>核菌 | 咳嗽  | 胸痛  | 胸部打聽診所見    | 肺活量耗 | 胸部レントゲン<br>所見 | 其<br>他            |
|--------|-------------------------------|----------|----------|-----|-----|------------|------|---------------|-------------------|
| 四、一、一六 | 〇〇                            | 三六・三     | —        | (—) | (—) | 常          | 三八〇〇 | 透視及寫真常        | 十二月一日同居者血痰患者一例(遠) |
| 四、一、一三 | 〇〇                            | 三六・二     | —        | (—) | (—) | 常          | —    | —             | —                 |
| 五、一、二〇 | 〇                             | 三六・五     | (—)      | (—) | (—) | 常          | —    | —             | —                 |
| 二、二〇   | 一五                            | —        | (—)      | (—) | (—) | 常          | —    | —             | —                 |
| 三、二二   | 水泡一七                          | —        | (—)      | (—) | (—) | 常          | —    | —             | 三月一日同居者ニ喀血患者一例(馬) |
| 四、一〇   | 一四                            | —        | (—)      | (—) | (—) | 常          | —    | —             | —                 |
| 四、二一   | —                             | —        | (—)      | (—) | (—) | —          | —    | —             | —                 |
| 五、三    | —                             | —        | (—)      | (—) | (—) | —          | —    | —             | —                 |
| 五、七    | 一三                            | 三六・七     | (—)      | (—) | (—) | 常          | 三〇〇〇 | —             | 初需診               |
| 五、一一   | —                             | 三七・五     | (—)      | (—) | (—) | 常          | —    | —             | 吃逆ヲ發ス             |
| 五、二二   | —                             | 三七・五     | (—)      | (—) | (—) | 常          | —    | 透視及寫真殆ンド常     | 吃逆、胸液試穿(十)        |
| 五、一三   | 一四                            | 三八・三     | (—)      | (—) | (—) | 左胸濁音増大     | 二五〇〇 | 透視及寫真左胸滲出液    | 吃逆                |
| 五、一四   | —                             | 三八・六     | (—)      | (—) | (—) | 左胸濁音著明     | —    | 透視及寫真左胸滲出液    | 吃逆                |
| 五、一五   | —                             | 三八・六     | (—)      | (—) | (—) | 同右         | —    | 透視及寫真滲出液大量    | 吃逆                |
| 五、一六   | —                             | 三八・〇     | (—)      | (—) | (—) | 同右         | —    | 透視及寫真滲出液著明    | 吃逆止ム              |
| 五、一七   | —                             | 三八・四     | (—)      | (—) | (—) | 左胸滲出液稍減退   | —    | 透視及寫真滲出液著明    | 胸液試穿(十)           |
| 五、一九   | —                             | 三七・〇     | (—)      | (—) | (—) | 摩擦音ヲ生ズ     | —    | —             | —                 |
| 五、二〇   | —                             | 三七・四     | (—)      | (—) | (—) | 同右         | 二五〇〇 | —             | —                 |
| 五、二二   | 九                             | 三六・六     | (—)      | (—) | (—) | 同右         | —    | —             | —                 |
| 五、二四   | —                             | —        | (—)      | (—) | (—) | 輕濁音アルモ摩擦音消 | —    | —             | —                 |
| 五、二六   | —                             | —        | (—)      | (—) | (—) | 失          | —    | —             | —                 |
| 六、二    | 一                             | —        | (—)      | (—) | (—) | 摩擦音再發      | 二五〇〇 | —             | 赤沈反應五一耗           |
| 六、六    | —                             | —        | (—)      | (—) | (—) | 摩擦音再消失     | 二六〇〇 | —             | 赤沈反應四七耗           |
| 六、七    | —                             | —        | (—)      | (—) | (—) | 左胸後下部濁音    | —    | 寫真左胸下部陰影      | 胸液試穿(一)           |

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

|      |    |     |     |     |     |    |      |         |         |
|------|----|-----|-----|-----|-----|----|------|---------|---------|
| 九、二七 | 常  | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 |      |         | 水校ニ於テ調査 |
| 七、二五 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 卒業退校ス   |         |
| 七、二四 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 赤沈反應一耗  |         |
| 七、一九 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 赤沈反應一四耗 |         |
| 七、一六 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |
| 七、一四 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |
| 七、一一 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |
| 七、一〇 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |
| 七、八  | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |
| 七、一  | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |
| 六、二四 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |
| 六、二三 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |
| 六、一八 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |
| 六、一七 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |
| 六、一〇 | 同右 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | 同右 | 寫眞同前 | 胸液試穿(一) |         |

本例ハ「ツベルクリン」皮内反應一月二十日ニ陰性ニシテ二月十日ニ陽性ニナリシモノナレバ「ツ」反應ノ陽性轉化ハ其ノ間ニ行ハレシモノデアアル。而シテ胸膜炎ハ四月二十一日ニ發病シテ居ルカラ陽性轉化カラ夫レマデ七〇以上九〇日以下ハ間隔ガ有ツタ譯デアアル。即チ此ノ胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化後約八日ニシテ發病セルヲ示ス。若シ胸膜炎潜伏期ト言フモノヲ設ケレバ本例ハ「ツ」反應陽轉後約八〇日ノ潜伏期ヲ以テ發病シタ事ニナル。又、結核傳染ヨリ「ツ」反應陽性ニナルマデノ期間即チ「ツベルクリンアレルギー」前期或ハ所謂生物學的結核潜伏期ヲ約一ヶ月ト假定スレバ、此ノ場合ハ結核傳染後約四ヶ月ノ潜伏期ヲ經テ胸膜炎ヲ發病シタト謂ヘル。故ニ本例ニ於テ逆算スレバ正月ニ結核傳染ガアツタモノト推定サレル<sup>(13)</sup>。

第二例。陽轉水第七例、二十二歲、男子。左中肺野上部浸潤兼左滲出性胸膜炎

明治三十三年十二月二十八日鳥取縣某農村農家ニ於テ出生、父母及同胞四名皆ナ健存ス、遺傳的疾患無シ。生來健全ニシテ郷里ニ於テ小學校及ビ中學校卒業

後、昭和四年五月上京、水路部雇員ト成リ製圖工ニ從事ス。其後脚氣ニ罹リシモ數月ニシテ治癒ス。其他時々感冒ニ罹リシ外著患ヲ知ラズ。

昭和五年九月二十五日、余ノ身體検査ニヨリ身體各部異常無シ。體溫三十六度八分、肺活量二八〇〇耗、「ツベルクリン」皮内反應全然陰性(千倍「ツベルクリン」)。  
○一耗上膊前面ニ皮内注射後四十八時間目ニ浸潤又ハ發赤無シ、即チ(0-0耗)。同年十一月二十一日、定期身體検査ヲ行フニ何等異狀無ク、「ツベルクリン」皮内反應成績前面同様全然陰性(0-0耗)テアル。

然ルニ昭和六年二月十日頃ヨリ日嘔潮熱及ビ疼痛ヲ來スニ至ル。依ツテ同月十七日海醫校診療部ニ於テ霑診、體溫三七度四分、胸部著變無シ。同月二十日體溫三七度四分、同月二十二日體溫三十八度ニ達セルモ身體各部著變無シ。欠テ同月二十四日餘ノ身體検査ヲ受ケシニ體溫三八度一分ニ達スルモ身體各部ニ異常ヲ認メズ。唯、「ツベルクリン」皮内反應ヲ檢スルニ千倍「ツ」液〇。一耗上膊前面ニ皮内注射後四十八時間目ニ直徑二四耗ノ發赤ト二〇耗ノ浸潤トヲ生ジ、七二時間目ニ於テハ其ノ浸潤ノ中央ニ直徑七耗ノ水泡ヲ生ズルニ至ツタ。即チ「ツベルクリン」反應ノ強陽性ニ轉化セルヲ認メタノテアル。

二月二十六日診スルニ體格營養中等、體溫三七度六分、脈搏正調、呼吸常、輕度ノ頭痛、咳嗽及喀痰アルヲ訴フ。「ツベルクリン」皮内反應強陽性。頭部頸部常。頸腺腫脹ヲ認メズ。舌咽頭常。皮膚發疹又ハ黃疸ヲ認メズ。腋窩、肘部等淋巴腺腫脹無シ。左前胸上部打音稍；短調ニシテ呼吸音稍；粗烈ノ感アル外肺部打聽診上著變無シ。心臟濁音界及心音異常無シ。其他、眼、肛門、腹部等身體各部ニ著變ヲ認メズ。同日胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ行フニ左中肺野ノ大部分ヲ占ムル境界不明ノ稍；濃キ瀰漫性ノ浸潤アリ、左肺門上部陰影濃厚ニ擴大シ之ニ連ル。左胸膜ニ異常ヲ認メズ。右肺常。二月二十七日左右腋窩線第八肋骨ニ於テ試験穿刺ヲ試ムルニ滲出液ヲ認メズ。三月二日體溫三七度二分、脈搏九〇至、呼吸三四、胸圍八二浬、擴張五浬、肺活量三一〇〇耗ニシテ前年九月ヨリ増加ス。更ニ三月三日胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ行フニ其ノ所見前同同様ニシテ左肺野中央部ニ大理石樣陰影アリ左肺門陰影濃厚ニシテ擴大シ、左胸膜常。右肺常。

爾來、經過依然タリ。三月六日診スルニ體溫三七度八分胸部打聽診上著變無シ、眼、肛門其他各部異常無シ。三月七日診スルニ體溫三八度、脈搏九四、血液一〇耗ヲ採取シ、熊谷、レウヴェンスタイン氏法ニヨリ結核菌培養ヲ試ムルニ陰性ニ終ル。此日ヨリ「アスピリン」二分三包毎日三回分服セシム。三月八日體溫上昇シ三九度八分ニ達セシガ、三月十日體溫三七度六分ニ下降ス(此ノ頃市中ニ流行性感冒流行ス)。三月十七日體溫殆んど常度ニ下ルモノハ三七度二分内外ノ微熱持續ス。診スルニ體溫三七度二分、脈搏九〇、體重五七・八斤、肺活量三一〇〇耗、「ツベルクリン」皮内反應強陽性(注射後四八時間目ニ發赤三〇耗、浸潤二〇耗ニシテ紫斑ヲ生ジ、一週間目ニテ發赤三〇耗、浸潤二五耗ニシテ水泡ヲ生ズ)、咽頭常、胸部ニ著變ヲ來サズ、唯、心窩部ニ疼痛ヲ訴フルニ至ル。此ノ日再度血液一〇耗ヲ採取シ熊谷、レウヴェンスタイン氏法ニヨリテ結核菌培養ヲ試シシモ陰性ニ終ル。ナホ微熱アルヲ以テ三月十九日「ピラミドン」。

○三瓦ヲ一日三回分服ニ改ム(四日間)。  
然ルニ三月二十四日赤血球沈降速度(ヴェステルグレン氏法)ヲ檢スルニ一時間四四耗、二時間六五耗、二四時間一〇七耗ニシテ著シク亢進セルヲ認ム。但

シ體温ハ三七度乃至三七度五分、脈搏七六至、呼吸常。肺活量三三〇〇耗ニシテ稍、増加ヲ來セルモ體重ハ減少シテ五五・七疋ト成ル。胸圍七九・五種、擴張七・五種ニシテ著變無シ。胸部打聽診上著變無ク、淋巴腺腫脹ヲ認メズ。三月二十五日胸部レントゲン「寫眞検査ヲ行フニ左肺浸潤ハ著シク吸收セラレ第二肋間ニ密集セル多數ノ小積雲狀影ヲ現出シ肺門影上部ニ連ルニ至レリ。三月三十一日診スルニ體温三七度三分、脈搏八〇、呼吸常。體重五七・一〇疋、肺活量三三〇〇耗。左季肋部ニ於テ時々刺痛アリ。左側胸第八肋間以下及トラウベ氏半月狀部呼吸音及ビ聲動減弱セルヲ以テ左後腋窩線第八肋間ニ於テ試驗、穿刺ヲ行フニ、淡黄色漿液五〇耗ヲ容易ニ抽出スル事ヲ得、ナホ大量ノ胸液ヲ瀦留スルガ如クテアル。リヴァルタ氏反應陽性、赤血球沈降速度一時間二二耗、二時間四九時間、二四時間九八耗。「ツベルクリン」皮内反應強陽性ニシテ直徑二〇耗ノ發赤及浸潤ヲ生ジ、其ノ中央ニ紫斑アリテ搔痒感アリ。此日ヨリ「アスピリン」一・二瓦分三包一日三回分服。四月一日診スルニナホ三七度五分ノ微熱アリ、時々軽度ノ咳嗽アリ、軽度ノ左側胸刺痛アリ、左肩胛下部及左側胸下部「トラウベ」氏半月狀部ニ互リ輕濁音ヲ放チ呼吸音聲動減弱ス。左後腋窩線第九肋間ニ於テ試驗、穿刺ヲ行ヒ淡黄色漿液一五〇耗ヲ抽出ス。四月四日胸部レントゲン「寫眞検査ヲ行フニ左胸下部胸液ニテ覆ハルモ左中肺野ノ浸潤著明ナリ、四月七日「ツ」反應發赤二〇耗、浸潤一五耗、前面ニ比シ減弱ノ傾向アリ。赤血球沈降速度ハ一時間一五耗、二時間四九耗、二四時間一〇四耗ニシテ前回ヨリ減少ス。肺活量及三〇〇〇耗ニシテ胸液増加ノ微無シ。四月八日胸部レントゲン「寫眞検査ヲ行フニ所見同前、左胸下部胸液影ニテ覆ハレ左肋骨橫膈膜竅不明瞭ナルモ左中肺野ノ浸潤ハ明カニ見ラレ肺門上部ノ陰影ハ擴大濃厚ト成リ兩極性像益々著明ト成ル。四月十日左肩胛下部及左側胸下部「トラウベ」氏半月狀部ニ互リ輕濁音ヲ放チ呼吸音聲動減弱、後腋窩線第八肋間ニ試驗、穿刺ヲ行ヒ黄色漿液一七〇耗抽出。體温上昇ノ傾向アリ。四月十四日ハ診スルニ胸液増加ノ傾向アリ。體温午前三七度四分、夕刻三八度五分脈搏呼吸常。體重五七・四疋。肺活量ハ二五〇〇耗ニシテ一週間前ニ比シ五〇〇耗ノ減少ヲ示ス。胸圍八〇・〇種、擴張六・〇種ニシテ三月二十四日ニ比シ著明ニ減少ス。左肩胛骨線第七肋間以下左腋窩線第六肋間以下濁音ヲ放チ呼吸音及聲動消失。輕度ノ咳嗽、胸痛アルモ略痰無シ。「ツベルクリン」皮内反應直徑二〇耗ノ發赤ト二〇耗ノ著明浸潤ヲ生ジ搔痒アルモ水泡無シ。赤血球沈降速度ハ一時間七四耗、二時間一〇〇耗、二四時間一一八耗ニ達ス。四月十五日診スルニ體温三八度二分、脈搏八〇、呼吸三二、時々咳嗽アルモ略痰少シ。左季肋部及左肩胛下部ニ著明ノ疼痛アリ。左胸滲出液ハ益々増加シ左胸前面水線上第三肋間以下、左側胸腋窩線第五肋間以下、左胸背面肩胛骨下角以下濁音ヲ放チ呼吸音聲動著シク減弱シ、心臟第二肺動脈音尤進分裂ス。ナホ右胸ニ於テモ右側胸下部第七肋間以下輕濁音ヲ放チ呼吸音、聲動稍、減弱スルニ至ル。腹部其他身體各部異常無シ。胸部レントゲン「寫眞検査ヲ行フニ左中肺野ニ於ケル前記兩極性浸潤ノ外ニ左胸下部ニ著明ノ胸液瀦留ヲ認ムルニ至ル。此ノ日血液一〇耗採取能谷「レ」ツエン「フ」タイン氏法ニヨリテ結核菌培養ヲ試ミシモ陰性ニ終ル。前記ノ症狀ハ定型ノ普通型滲出性胸膜炎ト認ムベキモノアリ。且ツ發熱、赤血球沈降速度尤進著明ナルヲ以テ安靜加療ノ必要ヲ認メ、四月十六日東大醫學部附屬醫院

稻田内科ニ入院セシム。

入院中、滲出液ハ數回ノ排液ニヨリ減少セシモ體温ハ三八度内外ヲ持續シ、赤血球沈降速度ハ益々増加シ、左肺浸潤モ亦進行ノ傾向アリ。六月十一日診スル

ニ體溫三八度、左前胸第五肋骨以下、左腋窩線第五肋間以下、右肩胛間下三分之一以下濁音ヲ放チ、呼吸音聲動消失セルモ左腋窩線第八肋間ニ於テ試驗穿刺ヲ行フニ輕度ニ赤色ヲ帶ブル黃色輕度酒濁漿液〇・二耗ヲ抽出シ得ルニ過ギズ。即チ左滲出液胸膜炎ハ殆ンド消失セルモナホ左肺浸潤ヲ胎スモノト認ム。六月十四日退院、鐵路歸リ鳥取縣ニ歸郷セリ。歸宅後三七度五分内外ノ發熱アリト言フ。九月一日病氣輕快セルニヨリ上京受診。體溫常度ヲ保チ赤沈反應一時間五〇耗二時間八六耗、二四時間一一七耗。胸部打診上左胸下部ニ濁音アリ呼吸音聲動減弱、レントゲン「寫眞ニ於テ左中肺野及左肺門上部ニ陰影兩極性アリ。檢痰結核菌陰性アリ(第一二表參照)。

第一四表

二十二歲、男子。左中肺野上部浸潤兼左滲出性胸膜炎

| 年月日    | 子倍液〇・一<br>八耗皮内四<br>時間耗 | 體溫(C) | 體重(斤) | 肺活量(耗) | 胸(種) | 擴(種) | 咯 | 咳 | 胸痛 | 赤降血<br>沈速時<br>度(耗時) | 血液培養(TB) | 胸液液胸<br>穿試液胸 | 胸部(レン<br>グレン)寫<br>眞所見 | 胸部臨牀所見 | 記事                |
|--------|------------------------|-------|-------|--------|------|------|---|---|----|---------------------|----------|--------------|-----------------------|--------|-------------------|
| 五年九、二五 | 〇〇                     | 三六・八  |       | 二八〇〇   |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 常      | 健康                |
| 一、二、二一 | 〇〇                     | 常     |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 常      |                   |
| 六年二、一〇 | ?                      | 三七・四  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 常      | 頭痛、熱感             |
| 一七     |                        | 三七・四  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 著變ヲ認メズ |                   |
| 二〇     |                        | 七・四   |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 二二     |                        | 三八・〇  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 二四     | 泡水<br>20<br>24         | 三八・一  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      | 「ツ」反應陽性轉化<br>左肺浸潤 |
| 二六     |                        | 三七・六  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 二七     |                        | 三七・二  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 三、二    |                        | 三七・二  |       | 三一〇〇   | 八二   |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 三三     |                        | 三七・四  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 三六     |                        | 三七・八  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 三七     |                        | 三八・〇  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 三八     |                        | 三九・八  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 一〇     |                        | 三七・六  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 一七     | 泡水<br>20<br>30         | 三七・二  |       | 三一〇〇   |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      | 心窩部疼痛             |
| 一九     |                        | 三七・四  |       |        |      |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |
| 二四     |                        | 三七・五  |       | 三三〇〇   | 八〇   |      |   |   |    |                     |          |              |                       | 同      |                   |

綜 說 小林II「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

|      |    |      |      |      |      |    |   |   |   |   |   |   |   |                         |   |
|------|----|------|------|------|------|----|---|---|---|---|---|---|---|-------------------------|---|
| 二五   | 一  | 三七・四 | 一    | 一    | 一    | 一  | 一 | 一 | 一 | 同 | 右 | 同 | 右 | 左胸下部濁音、左滲出性胸膜炎併呼吸音聲動減弱發 |   |
| 三一紫  | 20 | 三七・三 | 三七・五 | 五七・一 | 三二〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 四、一  | 一  | 三七・三 | 三八・三 | 五八・三 | 三〇〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 七    | 15 | 三七・三 | 三七・二 | 五八・三 | 三〇〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 八    | 一  | 三七・二 | 三七・四 | 五七・四 | 二五〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 一〇   | 一  | 三七・四 | 三八・五 | 五七・四 | 二五〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 一四   | 20 | 三八・五 | 三八・二 | 五七・四 | 二五〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 一五   | 一  | 三八・二 | 三八・五 | 五七・四 | 二五〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 一六   | 一  | 三八・〇 | 三八・〇 | 五七・四 | 二五〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 五、二三 | 一  | 三八・〇 | 三八・〇 | 五七・四 | 二五〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 六、一一 | 一  | 三八・〇 | 三八・〇 | 五七・四 | 二五〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 六、二一 | 一  | 三八・〇 | 三八・〇 | 五七・四 | 二五〇〇 | 一  | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一                       | 一 |
| 九、一  | 10 | 三六・七 | 三六・七 | 五四・五 | 二二〇〇 | 七九 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六                       | 六 |
| 九、五  | 10 | 三七・〇 | 三七・〇 | 五四・五 | 二二〇〇 | 七九 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六                       | 六 |
| 九、一一 | 10 | 三七・〇 | 三七・〇 | 五四・五 | 二二〇〇 | 七九 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六                       | 六 |

右第一四表ニ示セルガ如ク第二例ニ於テハ「ツ」反應最強陰性ト最初陽性トノ間ニ九五日ノ間隔アルヲ以テ、「ツ」反應陽性轉化ガ、其ノ間ノ何時起コソタカハ明カデ無イ。併シ、一月二月ハ「ツ」反應陽性轉化ノ多イ季節デアルカラ其ノ頃カモ知レ無イ。兎モアレ本例ノ胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化後三五日以上、三〇日以内ニ發病シタモハト言ヘヤウ。若シ假リニ其ノ中間ヲ取レバ八二日目ニ發病シタト言ヘヤウ。第一例ハ八〇日ト一致スル處ガ面白イ。

第三例、陽轉第四九例、二五歲、男子、右滲出性胸膜炎

明治四十二年五月一日千葉縣某農村ニ於テ出生。父母及同胞五名皆健存ス。遺傳的疾患無シ。本人ハ同地ニ於テ生長シ、長ジテ農業ニ従事ス。生來健康ニシテ著患ヲ知ラズ。幼時麻疹ヲ經過シ、種痘痕アリ。大正十五年三月十八日滿十六歲十一月ニシテ海軍機關兵ヲ志願シ海軍出身志願者身體検査ヲ受ケ合格。當時ノ體況ハ身長一六四・三釐、體重五六・二斤、肺活量二二〇〇珉、胸圍七八・二釐、胸廓擴張八・五釐、咽喉、頭部頸部、長髮、視力、義色力、視器、

鼻、聴力、耳、四肢、胸部、腹部、鼠蹊部、生殖器、會陰、脊梁、皮膚、言語音聲其何レモ常。六月一日横園入籍時身長一六五〇、腕、體重五一・七五、肺活量二九〇〇、託テアル。

入籍後健康ニシテ海陸各部ニ勤務ス。其ノ間大正十五年六月横園ニテ急性腸炎、昭和四年一月金剛ニテ左右急性副腎丸(結核性ニ非ズ)ニテ治療セル外著患ナシ。體重ハ入籍後次第ニ増加シ、其ノ九月體重ハ最近三年間毎同六〇・〇、妊内外ヲ占ム。昭和五年五月二十六日金剛ヨリ東電所ニ轉勤。同年七月來、余ノ月例身體検査ヲ受ク。

昭和五年九月二日月例身體検査ニ際シ初メテ千倍「ツベルクリン」〇・一、託皮内注射ニヨリ「ツ」反應ヲ檢スルニ全然陰性ニシテ何等發赤又ハ浸潤ヲ生ズ。依テ直チニ同月四日、同反應ヲ再檢セシモ成績全然同様ナリ。身體各部ヲ檢スルニ異常ヲ發見セズ、檢痰結核菌陰性、赤血球沈降速度一時間八耗、二時間二〇耗、二四時間六五耗(同月十一日)ニシテ正常ナリ。十月九日「ツ」反應ヲ檢スルニ直徑八耗ノ發赤及ビ輕度ノ浸潤ヲ生セシヲ以テ疑陽性ト認メ同月十六日再檢スルニ直徑九耗ノ發赤ト八耗ノ輕度ノ浸潤ヲ生ズ。依ツテ身體各部ヲ精檢セルモ異常ヲ認メズ、檢痰結核菌陰性、赤血球沈降速度一時間六耗、二時間一八耗、二四時間七三耗(十月十四日)ニシテ正常。胸部「レントゲン」寫眞検査(十月十六日)ヲ行フニ異常無シ。然ルニ十一月十二日「ツ」反應ヲ檢スルニ〇・五ナルヲ以テ疑陰性ト認メ同月十三日再檢スルニ直徑一三耗ノ發赤ヲ生ズルモ浸潤鮮明ナラズ(?)身體各部異常無ク檢痰結核菌陰性、赤血球沈降速度一時間三耗、二時間八耗、二四時間五九耗(十一月十日)ニシテ正常ナル。胸部「レントゲン」寫眞検査(十一月十一日)ヲ行フニ異常ヲ認メ無イ。

斯ク「ツ」反應ハ暫ク疑陽性又ハ疑陰性ノ狀態ニ在リシガ十二月以後ハ全然陰性ニ復シタ。喀痰及ビ赤血球沈降速度検査成績正常ナル。故ニ十月九日ニ於ケル「ツ」反應疑陽性轉化ハ眞性ノ「ツ」反應疑陽性轉化テハ無カツタ事ガワカル。但シ、夫レガ、全然結核感染ニ關係ノ無イ非特異性ノモノカ、又ハ輕度ノ結核感染ニヨル不全「アレルギー」乃至ハ「アレルギー」前期ノ狀態ニ在ツタモノカ知ル術ガ無イ。勿論、身體各部ニ結核病徴ヲ呈セザルノ故ヲ以テ直チニ結核感染ヲ除外スル事ハ出來無イノチアル。

然ルニ昭和六年四月十四日始メテ百倍「ツ」液〇・一、託ヲ右上膊前面ニ皮内注射セシニ、普通ノ成績検査時期即チ四八時間目ニ於テハ直徑五耗ノ發赤ヲ呈セシモ浸潤ヲ生ジナカツタ(〇・五)ノチアルガ、其後更ラニ四日ヲ經テ六日目ニ其ノ注射部ヲ檢スルニ直徑二五耗ノ發赤ト一〇耗ノ浸潤(10・25)ヲ生ズルニ至ツタ。是レハ即チ一種ノ遲滯反應ノ様ニ見ヘル。其後五月五日ニ至リ新ニ千倍「ツ」液〇・一、託ニテ皮内反應ヲ檢セシニ四八時間目ニ直徑七〇耗ノ發赤ト二五耗ノ浸潤トヲ生ジ(25・70)中央ニ著明ナル水泡ヲ生シ、四日目ニ至ルモノハ強キ反應ヲ胎ス(15・20)ノヲ認メタ。故ニ五月十四日ノ「ツ」液注射部ニ於テ同月二十日ニ至リ遲滯反應ノ現ハレタノハ、丁度其ノ頃其ノ個體ニ「アレルギー」ノ發現シテ來タ時デアツタカモ知レ無イ。若シソウタトスルト四月二十日頃ニ直ノ陽性轉化ガ在ツタモノトモヘラレル。

兎モアル、斯クシテ五月五日ニ「ツ」反應ノ陽性轉化ヲ發見シタカラ、嚴格ナ身體検査ヲ行ツテ見タ。四月二十一日診スルニ體溫三六度八分、體重六二・〇、妊、

肺活量四〇〇〇耗、檢痰結核菌陰性、檢尿蛋白、ウロビリノーゲン共ニ陰性ニシテ胸腹部著變無キモ唯右肺前後稍、呼吸音粗烈ニシテ呼氣延長セル感アルノミテアル。五月五日診スルニ體溫朝三七度六分、夕、三七度六分ニ上ルモ體重六〇・〇〇疋、肺活量四〇〇〇耗、檢痰結核菌陰性。五月八日右肩胛下部打音稍、短調ニシテ呼吸音稍、減弱ノ感アリ。右後腋窩線第八肋間ヲ試驗穿刺スルモ胸液陰性。赤血球沈降速度ハ一時間二二耗、二時間四二耗、二四時間九一耗ニシテ陰性時ヨリ著シキ増加ヲ示ス。五月十二日診スルニ右肩胛下部ニ輕度ノ抵抗アリ呼吸音稍、減弱シ、胸部レントゲン寫眞檢査ヲ行フニ右肺門下部ニ瀰漫性ノ陰影(第一二表参照)アリ。同夜體溫三七度八分ニ上ル。五月十四日診スルニ右肩胛下部打音稍、短調ニシテ呼吸音稍、減弱ノ感アリ、右胸呼吸運動一般ニ遲滯ス。體溫ハ五月六日來三七度乃至三七度以下ヲ上下スル微熱ヲ有スルヲ以テ五月十三日「アスピリン」一・五五分三包一日三回分服セシム。體溫ハ五月五日以來三七度三分、乃至八分ヲ上下シ此ノ時ニ至ル。未治ノマ、五月十六日横須賀、工校へ轉ズ。

五月十六日工校入校後健康ニシテ學業ニ服セシガ、其後約一ヶ月半ヲ經テ七月四日ニ至リ驅足後呼吸困難、右胸痛ヲ發シタルモ咳嗽喀痰無シ。次テ七月七日朝來頭痛、惡寒甚シキヲ以テ需診ス。當時ノ現症(原田福象軍醫中佐ハ舌清潔、咽頭輕度ニ發赤、右前胸第四肋間以下、同側胸肩胛下角以下濁音ヲ放チ、呼吸音減弱シ、聲動殆ンド消失ス。右後腋窩線第六肋間ニ於テ試驗穿刺ヲ行ヒ黃白色輕度ニ潤濁セル胸液一〇〇耗ヲ得、リウアルタ氏反應陽性、腹部著變無シ。七月八日右胸前面第三肋間以下、背面肩胛間部下三分一以下濁音ヲ放チ呼吸音聲動消失シ、一部ニ於テハ摩擦音ヲ聽ク。横病ニ送院。同日横病ニ於ケル現症(大竹眞軍醫大尉)。主訴、右前中央部及ビ肩胛間部ノ疼痛。體格榮養中等、體溫三十六度七分、脈搏七四、右胸呼吸運動中等度ニ減弱ス。心臟濁音右界不明、上界第三肋骨、左界左乳腺第五肋間ニ在リ肺動脈第二音亢進ス。右胸前面第二肋骨以上及ビ同背間肩胛時上三分一以上打音短調ニシテ呼氣延長シ、右胸前面鎖骨下窩ヨリ第二肋間マテ握雪音アリ。右胸前面第三肋間以下及ビ背面肩胛間中三分一以下濁音ヲ放チ呼吸音及ビ聲動減弱ス。殊ニ右前面乳房以下及ビ背肩胛下角以下ハ呼吸音及ビ聲動殆ンド消失ス。ナホ右肩胛間部ニハ水泡音樣摩擦音ヲ聽取ス。腹部其他身體各部異常無シ。七月十日胸部「レントゲン」寫眞檢査ヲ行フニ右肺野第二肋骨以下、均等ニシテ強度ナル胸液ノ陰影ヲ以テ覆ハル。其外約一ヶ月ニシテ胸液著シク減少シ九月十六日診スルニ體溫常度ヲ保チ、肺活量常ニ復シ、自覺症狀無キモナホ右胸下部ノ濁音及ビ呼吸音聲動ノ減弱ヲ胎ス。

第一五表 二五歳、男子。右滲出性胸膜炎。

| 年月日      | 千倍液〇・〇八時間耗 | 體溫(C) | 體重(疋) | 肺活量(耗) | 胸(梗)園 | 擴(梗)張(梗)檢(TB) | 赤血球沈降速度(時間(耗)) | 胸液試穿 | 胸部レントゲン寫眞所見 | 胸部臨牀所見 | 記事 |
|----------|------------|-------|-------|--------|-------|---------------|----------------|------|-------------|--------|----|
| 大十五、三、一八 | 常          | 常     | 五六・二  | 二二〇〇   | 七八    | 九             | 九              |      |             | 常      |    |
| 六、九、一    | 常          | 常     | 五一・八  | 二九〇〇   | 七八    | 九             | 九              |      |             | 常      |    |
| 五、九、四    | 〇〇         | 三六・六  | 六〇・五  | 三六〇〇   | 七八    | 九             | 九              |      |             | 常      |    |



七、二〇 10 12  
八、一八 7 10 (一)  
(二)

本例ハ「ツ」反應陽性轉化時日ノ比較的明確ナル例デアアル。三月十二日ニ千倍「ツベルクリン」〇・一坵ニテ〇〇ナリシガ其後約一ヶ月ヲ經テ四月十四日百倍「ツベルクリン」〇・一坵ニテ四八時間目ニ〇・五ニ反應シタ。其時ステニ「ツベルクリン」アレルギーハ發現シカケテ居タカモ知レナイ。然ルニ其ノ部位ヲ連日觀察シテ行クト遅レテ發赤浸潤次第ニ著明ト成リ、注射後六日目即チ四月二十日ニハ1025ト成ツタ。依ツテ「ツ」反應ノ陽性轉化ヲ來セルモノト認メ五月五日ハ千倍「ツ」液〇・一坵ヲ以テ再檢セシニ四八時間目ニ於テ最強陽性ニ反應シ2570水泡ト成ツタ。故此ノ場合「ツ」反應陽轉點ハ四月十四日ト五月五日トノ中間點タル四月二十四日或ハ實際始メテ著明陽性ニ反應セル四月二十日ヲ取ルベキデアアル。今假リニ四月二十日ヲ以テ起點トスルナラバ、夫レヨリ肋膜炎ノ發病日タル七月四日マデ七、五、日ト言フ、計算ニ成ル。第一例ノ八〇日、第二例ノ八二日ト大差無キ事ハ甚ダ興味深キ事實デアアル。

二、海軍昭和二年度徵兵ニ於ケル症例

一九二八年一月ヨリ三月ニ互リ我が海軍ニ於テハ前年十二月入籍ノ海兵團新徵兵三千數百名ニ對シ「ツベルクリン」皮内反應ヲ檢査シ、其後其ノ一部ニ對シテハ一九二九年九月同反應ヲ再檢査シタ(上田春治郎博士)。其ノ際「ツ」反應ノ陽性轉化ヲ發見シタル者ヨリ、其後ニ至リ一九三〇年十一月迄ニ肋膜炎ヲ發病シタル者ハ二例アル。夫レ等ハ勿論「ツ」反應反復ノ間隔一ケ年半以上ニ及ブヲ以テ「ツ」反應陽性轉化ガ、其ノ間何時起コリシヤ、從ツテ其ノ「ツ」反應陽性轉化後肋膜炎ノ發病スルマデノ如何ナル期間ヲ經過セシヤ不明デアアルガ、「ツ」反應陽性轉化後餘リ長イ期間ノ後デハ無イカラ「ツ」反應陽性轉化後早期ト稱シテ差支無イト思フ。ナホ夫等肋膜炎ノ發病後ニ於テ一例ハ胸液培養ニヨリ結核菌陽性デアツタ。他ノ一例ハ結核性ニ就テ調べラレテハ無ナイガ、從來ノ肋膜炎研究ノ結果カラ推定スレバ夫等モ恐ラク結核性ノ肋膜炎ナリシモノト認定シテ差支ハアルマイ。次ニ其ノ諸例ヲ第一六表示スル。

第一六表 「ツ」反應陽性轉化後ニ發病セシ胸膜炎二例

| 番 | 號    | 人 | 出生  | 籍入 | 籍入 | 籍入 | 兵種 | 入籍時 | 入籍後 | 發病 | 病名   | 入院 | 入院 | 在院 | 轉歸 | 轉歸 | 轉歸 | 轉歸 | 備  |  |
|---|------|---|-----|----|----|----|----|-----|-----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 名 | 年    | 生 | 地   | 業  | 日  | 別  | 別  | 日   | 日   | 日  | 名    | 日  | 名  | 數  | 日  | 類  | 所  | 陰  | 考  |  |
| 名 | 年    | 生 | 住   | 職  | 月  | 志  | 種  | 月   | 月   | 月  | 名    | 日  | 院  | 日  | 年  | 種  | 場  | 應  | 核  |  |
| 一 | 花月〇〇 | 明 | 鹿兒島 | 農  | 三  | 佐  | 機  | 三   | 三   | 三  | 右胸膜炎 | 〇  | 佐  | 〇  | 〇  | 死亡 | 佐病 | 陽  | 結核 |  |
| 二 | 森久〇〇 | 明 | 熊本  | 工  | 三  | 佐  | 機  | 三   | 三   | 三  | 左胸膜炎 | 七  | 佐  | 二  | 五  | 全治 | 佐病 | 陰  | 核  |  |
|   |      |   |     |    |    |    |    |     |     |    |      |    |    |    |    |    |    |    |    |  |

右ノ第一例ハ「ツ」反應陽性轉化後二二日以上二二ヶ月以下ニ於テ發病シタモノデアリ、他ノ第二例ハ「ツ」反應陽性轉化後一ヶ月以上三二ヶ月以下ニ發病シタモノデアル。第一例ハ前記三例ト同様「ツ」反應陽轉後二三ヶ月日ニ發病シタモノト解スル事ガ出來ルガ第二例ハ約一ヶ年後ニ發病シタ事ニ成ル。事實果シテ然ルヤ否ヤ本例ハ其ノ病歴ノ詳細ヲ知り得ナイカラ速斷ヲ許サ無イ。或ハ胸膜炎ハ其ノ症例ニヨリテハ斯ク潜伏期ノ長イモノモアルカモ知レナイ。

要之、「ツ」反應陽性轉化後胸膜炎ノ發病セシ五例ニ就テ考察スルニ其ノ轉化ヨリ發病マデノ期間ハ多クハ約二乃至三ヶ月デアルト推定サレル。故ニ夫等ノ胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化後極メテ早期ニ發病シタモノト稱シテ差支無イ。而シテ若シ、結核傳染ヨリ「ツ」反應陽性轉化マデノ潜伏期約一ヶ月ナリト假定スレバ、夫等ノ胸膜炎ハ結核傳染後約三四ヶ月ノ潜伏期ヲ以テ發病シタト謂ヘル。從ツテ夫等ノ胸膜炎ヲ結核感染後早期ニ發病セル結核性胸膜炎ナリト稱シテ差支無イト思フ。

此ノ胸膜炎潜伏期ノ問題ハ胸膜炎發生季節ノ問題ト重大ナ關係ガアル。今若シ假リニ結核傳染ガ一月在ツタモノトスレバ胸膜炎ハ三四月ノ候ニ發病スベキ道理デアル。從來胸膜炎ヲ陸軍ニ於テモ海軍ニ於テモ、亦民間ニ於テモ晚春初夏ノ候ニ多發スル事ガ知ラレテ居ル。勿論、其ノ發病ニハ誘因ノ有無モ關係スベキデアルガ其ノ主因ハ結核傳染ガ冬期ニ多キニ因ルノデハアルマイカ。又、海軍ニ於テハ新兵ノ海兵團在勤中ヨリモ艦船配乗後ニ多發スル事ガ知ラレテ居ル。其ノ原因モ亦一ツハ發病誘因ノ大小ニ依ルベキモ、一ツハ海兵團入籍頭初ニ於テ結核傳染ヲ受クル者ガ多イノデハアル

マイカ、右ハナホ將來充分研究ヲ要スル問題デアルガ、茲ニ其ノ一考察ヲ加ヘテ置ク。

三、胸膜炎發病前「ツ」反應陽性ニシテ罹患中ニ其ノ陽性ナルヲ發見セシ症例

入籍時「ツベルクリン」反應陰性ナリシ者ニ屢々胸膜炎ヲ發病スル事ハ明カナル事實デアアル。而シテ夫等胸膜炎ハ從來ノ研究ニヨリ多クハ結核性ナリトサレテ居ル。我が海軍ニ於ケル勝正吉博士、江口有軍醫中佐等ノ胸膜炎胸液培養成績ニヨレバ其ノ約九五%ニ於テ結核菌ガ證明サレテ居ル。又、一九二八年、横須賀及吳海軍病院入院中ノ胸膜炎患者ニ對シ「ツベルクリン」皮内反應ヲ行ツタ成績ニヨレバ其ノ約一〇〇%ニ於テ陽性デアツタ。是等ノ事實ヨリ推定スレバ夫等入籍時「ツベルクリン」反應陰性ナリシ者ニ發病セシ胸膜炎モ亦結核性ナルベキヲ以テ若シ夫等ニ「ツベルクリン」反應ヲ檢シタランニハ恐ラク其ノ全部ガ「ツベルクリン」反應陽性ナリシナラント想像サレル。然シ夫レハ實際ヤツテ見テ判ラナイ事デアアル。此ノ問題ヲ確實ニセテ直チニ是ヲ以テ胸膜炎ノ非結核性發病說ニ對抗スル事ガ出來ナイ。

一、東京海軍部隊ニ於ケル症例。余ノ一九二七年六月來、三一年六月迄ニ在京海軍部隊ニ就テ調べタ處デハ始め、陰性ナリシ者ニ胸膜炎ヲ發シ、發病直後「ツ」反應陽性ナリシ三例ガアル。其後九月中旬前記陽轉水第一三例ニ於テモ陽轉ト共ニ左滲出性胸膜炎ノ發病ヲ發見セシモ調査未了ニツキ茲ニハ省略スル。

第一例 陽轉第一六例。二〇歳、男子。左滲出性胸膜炎

本例ハ余ノ胸膜炎ノ成因及豫防ニ關スル研究<sup>(12)</sup> 第四報告ニ記載セル症例ナレバ單ニ表示スルニ止メル。

第一七表、二〇歳男子、左滲出性胸膜炎

| 年月日       | 千倍ツベルクリン液内八時間耗 | 體溫 (C) | 體重 (妊) | 肺活量 (耗) | 檢痰 (T B) | 胸痛  | 胸液試驗 | 胸部レントゲン所見 | 胸部臨牀所見 | 記事 |
|-----------|----------------|--------|--------|---------|----------|-----|------|-----------|--------|----|
| 昭和三年、六月、一 | —              | 常      | 四七・五   | 三六〇〇    | —        | (—) | —    | —         | —      | 常  |
| 四年、四月、三〇  | —              | 常      | —      | —       | —        | (—) | —    | —         | —      | 常  |
| 七、一七      | 0.4            | 常      | —      | —       | —        | (—) | —    | —         | —      | 常  |
| 九、三二      | —              | ?      | —      | —       | —        | (+) | —    | —         | —      | 常  |

左側胸痛(胸膜炎發病)



査所見前回と同様ナリ。同月二十九日右胸背下部胸液試穿陰性ト成ル。六月九日赤血球沈降速度一時間一〇耗、二時間二二耗、二四時間八七耗ニシテ前回同様ナリ。六月二十三日胸部レントゲン「寫眞検査所見前回ト大差無キモ打聽診上著變無キニ至ル。七月七日赤血球沈降速度一時間一〇耗、二時間二二耗、二四時間九二耗ニシテ殆ド正常。検査毎同結核菌陰性ニシテ體温常度ヲ保ツ。

第一八表 二〇歳、男子、右滲出性胸膜炎

| 年月日     | 千倍ツ液〇一 | 體温   | 體重   | 肺活量  | 檢査(TB) | 胸痛  | 胸液試穿         | 赤血球沈降速度 | 胸部レントゲン寫眞所見   | 胸部臨牀所見                   | 記事   |
|---------|--------|------|------|------|--------|-----|--------------|---------|---------------|--------------------------|------|
| 五年、六、一  | 常      | 37.3 | 56.1 | 3800 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | (-)           | 常                        | 右胸違和 |
| 五年、四、一〇 | (-)    | 37.3 | 59.0 | 3200 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | (-)           | (-)                      |      |
| 五年、二、二〇 | 20.23  | 36.7 | 61.5 | 3200 | (-)    | (+) | 右血性(+) 九三九   | (-)     | 右胸一般ニ暗右肺門陰影増強 | 右胸背下部輕濁音、摩擦音呼吸音聲動減弱。摩擦消失 |      |
| 五年、二、一  | (-)    | 36.2 | 61.5 | 3400 | (-)    | (+) | 血性(+) 二九日(-) | (-)     | 二八日同右         | 同右                       |      |
| 五年、二、九  | (-)    | 36.6 | 62.5 | 3400 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、一六 | (-)    | 36.4 | 61.5 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、二二 | 16.30  | 36.5 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 打聽診上著變無シ                 |      |
| 五年、二、二七 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3700 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、三〇 | (-)    | 36.5 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、三三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、三六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、三九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、四二 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、四五 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、四八 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、五一 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、五三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、五六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、五九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、六一 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、六三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、六六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、六九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、七二 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、七五 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、七八 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、八一 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、八四 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、八七 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、九〇 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、九三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、九六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、二、九九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、二  | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、五  | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、八  | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、一一 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、一四 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、一七 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、二〇 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、二三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、二六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、二九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、三二 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、三五 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、三八 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、四一 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、四四 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、四七 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、五〇 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、五三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、五六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、五九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、六二 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、六五 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、六八 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、七一 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、七四 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、七七 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、八〇 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、八三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、八六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、八九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、九二 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、九五 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、三、九八 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、一  | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、四  | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、七  | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、一〇 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、一三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、一六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、一九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、二二 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、二五 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、二八 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、三一 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、三四 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、三七 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、四〇 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、四三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、四六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、四九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、五二 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、五五 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、五八 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、六一 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、六四 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、六七 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、七〇 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、七三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、七六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、七九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、八二 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、八五 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、八八 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、九一 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、九四 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、四、九七 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、一  | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、四  | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、七  | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、一〇 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、一三 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、一六 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、一九 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、二二 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、二五 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、二八 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、三一 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、三四 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、三七 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     | 同右            | 同右                       |      |
| 五年、五、四〇 | (-)    | 36.3 | 61.0 | 3600 | (-)    | (+) | (-)          | (-)     |               |                          |      |

ス。當時身長一六一・二釐、體重五四・七斤、肺活量三〇〇〇珄、胸圍八二・〇釐、胸廓擴張八・〇釐、口咽齒牙常、頭部頸部常、毛髮黑直密。眼左右共常、視力左右共一・二、識色力常。鼻左右共常、耳左右共常、聽力左右共常。四肢常、懸垂常。胸部左右季肋部僅カニ膨隆セル外打聽診上常。腹部常。鼠蹊部常、生殖器常、會陰常。皮膚顔面輕度ノ濕疹アル外常。言語音聲常。同年六月一日横國ニ入籍ス。當時身體檢査ノ成績肺活量三九〇〇珄ニ増加セル外右ト著變無シ。

海軍入籍後健康ニシテ二年九月一日水校ニ轉シ、三年十二月三十日神ニ轉シ、五年十一月二十二日東也所ニ來ル。其ノ間體重ハ二年九月五四・〇斤、三年三月六四・四斤、爾來最高六五・二斤、最低六〇・〇斤ヲ保チテ發病前ニ到ル。入籍後二年九月二十日左大腿部癩ヲ以テ受療セル外著患無シ。

東電所へ轉勤後ノ體況ハ余自ラ毎月頭健康檢査ニヨリテ詳カニス。五年十二月九日體溫三六度一分、體重五八・九斤、肺活量四五〇〇珄胸部其他身體各部ニ異常無シ。六年一月二十七日冬休暇後檢スルニ「ツベルクリン」皮内反應00(千倍液)〇一珄皮内注射後四八時間内浸潤及ビ發赤皆無。體重三六度五分、體重六二・〇斤、肺活量四五〇〇珄、檢痰結核菌陰性。胸部其他臨牀の常。一月三十日胸部「レントゲン」寫眞檢査ヲ行フニ常。二月一〇日檢スルニ身體各部異常無ク「ツ」反應前月同様00、赤血球沈降速度W氏法ニヨリ一時間六珄、二時間一四珄、二四時間六八珄テアル。三月十七日檢スルニ身體各部異常無ク「ツ」反應00同様に橋村受信所へ轉勤ノ爲メ追跡中止。

然ルニ最終「ツ」反應陰性時ヨリ一二〇日ヲ經テ七月十六日ニ至リ所内ニ於テ荷物運搬作業後頭痛及ビ發熱ヲ感シ輕度ノ咳嗽ヲ發ス。同夕體溫ヲ檢スルニ三八度一分ニ昇ル。依ツテ安靜休養、同月十九日同地伊藤某醫ノ來診ヲ受ケ、次テ二十七日左滲出性胸膜炎ト診定セララル、ニ至ツタモノテアル。二十九日東京ニ來リ、余ニ受診ス。

診スルニ體格中等、榮養稍衰ヘ體溫三八度、脈搏一二八至整調ナルモ淺表。時々咳嗽アリ、左胸背部ニ疼痛ヲ訴フ。舌常、皮膚背部ニ座瘡癬痕アル外發疹又ハ浮腫ヲ認メズ。皮下脂肪組織及ビ四肢筋肉減退ス。下肢倦怠ノ感アリ。頭部其他淋巴腺腫脹ヲ認メズ。右肺肝界第六肋骨、心濁音右界胸骨ノ右緣、上界第四肋骨、左界不明、心音異常無シ。左胸前面第二肋間以下、同腋窩以下、同肩胛骨部下三分ノ二以下トラウベ氏半月狀部ニ互リ輕濁乃至重濁音ヲ放チ呼吸音及ビ聲動減弱ス。體重五六・〇斤ニシテ約四斤ノ減少ヲ示ス。肺活量ハ二八〇〇珄ニシテ一六〇〇珄ノ減量ヲ示ス。胸圍八七釐、胸廓擴張七釐。左腋窩線第八肋間ニ於テ試穿淡黃褐色漿液四五珄ヲ得リ「グアルタ氏反應陽性」。右胸一般ニ著變無キモ其ノ側胸第六肋間以下輕濁音ヲ放チ呼吸音聲動稍減弱ノ感アルヲ以テ試驗穿刺ヲ行フモ陰性。腹部ハ右上腹部ニ於テ稍膨隆シ壓迫ニヨリ苦痛ヲ感ズル外著變ヲ見出サズ。便通常。意識明瞭ニシテ目下頭痛無シ。項部強直又ハケルニヒ症狀ヲ認メズ。唯、膝蓋腱反應稍亢進ス。肛門部常。眼常。檢痰結核菌陰性。赤血球沈降速度一時間五六珄二時間九一珄、二四時間一二四珄ニシテ著シク亢進ス。「ツベルクリン」皮内反應ハ千倍液左上膊前面ニ於テ〇一珄注射シ四八時間内ニ於テ2222ナルモ浸潤強カラズ。翌朝胸部「レントゲン」寫眞檢査ヲ行フニ左胸前第三肋骨以下強度ノ胸液陰影ヲ見ル。右肺異常ヲ認メズ。胸液及ビ血液ヨリ熊谷レーウエンズクイン

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

一三五六

氏法ニヨリ結核菌ヲ培養スルニ胸液ノ成績陽性、血液ノ成績陰性。入院後脚氣ヲ併發、九月十一日死亡。九月十三日剖檢ス。剖檢記事ハ別ニ報告スル事トスル。

第一九表 二一歳、男子。左滲出性胸膜炎

| 年月日     | 千倍ツベルクリン液内(四八)時間(耗) | 體溫(午後)(C) | 體重(斤) | 肺活量(耗) | 胸圍(厘米) | 擴張(厘米) | 痰檢(TB) | 赤沈時(氏間)(耗) | 胸部レントゲン所見       | 胸部臨牀所見        | 記事                    |
|---------|---------------------|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|------------|-----------------|---------------|-----------------------|
| 昭二、三、二九 |                     | 常         | 五四・七  | 三〇〇〇   | 八二     | 八      |        |            |                 | 左右季肋部僅ニ膨隆スル外常 |                       |
| 六、一     |                     | 常         | "     | 三九〇〇   | "      | "      |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭三、九、九  |                     | 常         | 五四・〇  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭三、三、九  |                     | 常         | 六四・四  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭四、三、九  |                     | 常         | 六一・二  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭四、三、九  |                     | 常         | 六五・二  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭五、三、九  |                     | 常         | 六〇・七  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭五、三、九  |                     | 常         | 六〇・〇  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭五、三、九  |                     | 常         | 六二・五  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭五、三、九  |                     | 常         | 六二・〇  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭五、三、九  |                     | 常         | 六三・〇  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭五、三、九  |                     | 常         | 六二・〇  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭五、三、九  |                     | 常         | 六〇・〇  |        |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭五、三、九  |                     | 常         | 五八・九  | 四五〇〇   |        |        |        |            |                 | 常             |                       |
| 昭六、一、二七 | 0                   | 三六・五      | 六二・〇  | 四五〇〇   |        |        | (一)    | 六          | 一、三〇胸部レントゲン「寫眞常 | 胸部打聽診上著變無シ    | 五、一、二、二東電所へ轉勤         |
| 昭六、一、二七 | 0                   | 三六・五      | 六二・三  | 四五〇〇   |        |        |        |            |                 | 常             | 身長一六三・六厘米・一〇赤沈六一・四六八耗 |
| 三、一七    | 0/0                 | 六〇・〇      | 六〇・〇  |        |        |        |        |            |                 | 常             | 四、九、橋村受信所へ轉勤          |
| 五、二六    |                     | 三六・六      |       |        | 八七     | 一二     |        |            |                 | 常             | 四月一日同居者ニ嗜血一例(高)       |
| 六、二五    |                     | 三六・六      |       | 四四〇〇   |        |        |        |            |                 | 胸部打聽診上著變ナシ    | 檢尿蛋白(一)三混注射           |
| 七、一六    |                     | 三八・一      |       |        |        |        |        |            |                 | 運動後左胸痛、發熱ヲ發ス  |                       |



カルガ夫レ以上ハ不明デアル。

第三例神山ハ「ツ」反應陽轉後一、二〇日以内ニ左滲出性胸膜炎ヲ發病シタ症例デ發病直後「ツ」反應陽性ナル症例デアル。ナホ陽轉水第一三例小波ハナホ調査未濟ニツキ其ノ病歴詳記ヲ省略シタガ昭和六年七月二十二日「ツ」反應陰性ニテ九月十四日發病シ、其日「ツ」反應陽性ナルヲ發見シタモノデアルカラ「ツ」反應陽轉後八、四日以内ニ發病シタ事ニ成ル。

二。横須賀海軍病院ニ於ケル症例

一九三〇年一月横須賀海軍病院入院中ノ胸膜炎患者ニ就テ身體歴記載ニヨリ發病前「ツベルクリン」皮内反應成績ヲ知リ是レト發病後罹患中ノ「ツベルクリン」皮内反應成績トヲ比較シテ見タガ發病前陰性ナリシ八例ノ胸膜炎ハ何レモ其ノ發病後ニ陽性デアツタ(第二〇表)。斯ク夫等胸膜炎患者發病後ノ「ツ」反應ノ陽性ナルハ一九二七年ニ調査シタ横須賀海軍病院胸膜炎患者一一五例中一一二例、即チ九四%ニ於テ「ツベルクリン」皮内反應陽性(四八時間浸潤直徑一〇耗以上)ナリシ事實カラ推シテ當然ナ事デアル。

ナホ其ノ胸膜炎發病ト「ツ」反應陽性轉化トノ時間的關係ヲ次表中ノ計算結果ヨリ察スルニ、胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化後二ヶ月乃至二十七ヶ月以内ニ發病シタモノト謂ヘル。

第二〇表 「ツ」反應陰性者ニ發病セシ胸膜炎ノ罹患中「ツ」反應成績

| 番 | 號 | 人 | 等  | 年  | 籍入 | 前住地 | 前職業 | 籍入 | 年 | 月 | 日 | 入籍時「ツ」反應 | 胸膜炎        | 發病後「ツ」反應 | 陰性發病 | 陽性發病 | 陰性發病 | 陽性發病 |     |
|---|---|---|----|----|----|-----|-----|----|---|---|---|----------|------------|----------|------|------|------|------|-----|
|   |   |   |    |    |    |     |     |    |   |   |   |          |            |          |      |      |      |      | ケル液 |
| 一 |   |   | 二水 | 二四 | 宮城 | 農   |     | 三三 | 一 | 三 | 一 | 三        | 五、五右滲出性胸膜炎 | 一五       | 九    | 一    | 一    | 九    | 一   |
| 二 |   |   | 二機 | 二五 | 廣島 | 事務員 |     | 三六 | 一 | 三 | 一 | 三        | 四、六右胸腹膜結核  | 一〇       | 七    | 一    | 一    | 七    | 一   |
| 三 |   |   | 三水 | 二四 | 新瀉 | 農   |     | 三三 | 一 | 三 | 一 | 三        | 五、五右胸膜炎    | 一〇       | 四    | 一    | 一    | 四    | 一   |
| 四 |   |   | 三水 | 一九 | 青森 | 無職  |     | 三三 | 一 | 三 | 一 | 三        | 四、二右胸腹膜結核  | 一〇       | 二    | 一    | 一    | 二    | 一   |
| 五 |   |   | 三水 | 二四 | 廣島 | 農   |     | 三六 | 一 | 三 | 一 | 三        | 五、一、三右胸膜炎  | 一一       | 四    | 一    | 一    | 二    | 一   |



反應陰性健康者ヨリ發病セシ胸膜炎ニ於テモ然ルヤ否ヤ。  
 江口有軍醫中佐ハ佐世保海軍病院ニ於テ「ツ」反應陰性者ヨリ發病セル胸膜炎患者ノ胸液ヲ培養シ、其七例中五例ニ結核菌陽性ノ成績ヲ得テ居ル。但シ「ツ」皮内反應ハ丘疹直徑九耗以下ヲ陰性トシタモノデアアル。吾人ハ從來、胸膜炎ノ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病スル事ナキヲ主張スルモノナレドモ直接其ノ胸膜炎ノ結核性ヲ的確ニ證明シテハ居ナカツタガ、此ノ結核菌證明ハ確カニ其ノ胸膜炎ノ結核性ナルヲ表示スル。若シ夫等「ツベルクリン」反應陰性健康海兵ノ體內ニ生活結核菌ノ存在セザルヲ前提トスレバ、此ノ事實ハ余等ノ所謂海軍胸膜炎ノ結核感染早期ニ發病セル結核性胸膜炎ナル事ヲ確證スル事ニ成ル。

第二二表 「ツ」反應陰性健康者ヨリ發病セル胸膜炎ノ胸液ヨリ結核菌ノ證明(佐世保海軍病院江口有軍醫中佐)

| 番<br>號 | 人<br>名 | 等<br>級 | 年<br>齡 | 檢 査        |         | 病 發           | 病 名 | 胸 液   |       | 結 核 菌 培 養 | 培 養 過 程 | 備 考             |
|--------|--------|--------|--------|------------|---------|---------------|-----|-------|-------|-----------|---------|-----------------|
|        |        |        |        | 「ツベルクリン」反應 | 「ツ」皮内反應 |               |     | 結核菌培養 | 結核菌培養 |           |         |                 |
| 一      | 平林     | 二水     | 二二     | 三、八        | —       | 四、七、八左胸膜炎     | 一七  | 七、三   | 二、三   | —         | —       | 二、四月            |
| 二      | 黒瀨     | 三機     | 二三     | 三、七        | —       | 四、一、六兩胸膜炎     | 一〇八 | 七、三   | 二、三   | —         | —       | 一、三月            |
| 三      | 馬場     | 二機     | 二三     | 三、七        | —       | 四、六、四右胸膜炎     | 二七  | 八、七   | 二、三   | —         | —       | 一、八月            |
| 四      | 古賀     | 三水     | 二〇     | 三、九        | —       | 四、八、九右胸膜炎     | 一一  | 八、四   | 二、六   | —         | —       | 二、四月            |
| 五      | 竹重     | 二水     | 二二     | 三、九        | —       | 四、三、四兩胸膜炎     | —   | —     | —     | —         | —       | 六月 動物接種成績       |
| 六      | 山岡     | 三機     | 二三     | 三、七        | —       | 五、五、五右胸膜炎     | 九   | 五、三   | —     | —         | —       | 二、九月            |
| 七      | 花月     | 二機     | 二三     | 三、八        | —       | 四、〇、九右胸膜炎次肺結核 | 二二〇 | 五、五、六 | —     | —         | —       | 二、二月 發病前陽轉(第三表) |

五. 胸膜炎發病前「ツ」反應陽性ニシテ治癒後其ノ陽性ナルヲ發見セシ症例

我が海軍ニ於テハ一九二八年一月乃至三月ニ於テ前年十二月入籍徴兵三千數百名ニ「ツベルクリン」皮内反應ヲ行ツタガ、其後其ノ陰性者ヨリ胸膜炎ヲ發シタ多數例ガアル。但シ、其ノ陰性トハ「ツ」皮内反應丘疹直徑九耗以下ヲ陰性トシタノデアアル。夫等胸膜炎患者中治癒シタモノハ現役三ケ年ヲ勤メアゲテ一九三〇年十一月滿期退團シタ。宮川隆吉横團

軍醫長及ビ中本鶴一吳團軍醫長ハ其ノ滿期退團前ニ終末「ツ」反應檢査ヲ實施シ多數ノ陽性轉化者ヲ發見シタ 而シテ其ノ内、入籍時「ツ」反應陰性ナリシ者ヨリ發病シタ胸膜炎患者ガ十四名アツタガ、夫等ハ何レモ退團時陽性ニ成ツテ居タ。然シ夫等モ亦「ツ」反應陽性轉化後ニ發病シタ胸膜炎デアラウ。其ノ各例ヲ次ニ第二二表ニ掲ゲル。

「ツ」反應ト腦膜炎發病トノ時間的關係ハ區々デアツテ陰性ヨリ發病マデ短イモノデモ五ヶ月デ多クハ一〇ヶ月以上デ長イモノハ二九ヶ月デアル。夫等ノ症例ハ單ニ身體歴記事ニヨルモノデ其ノ病歴ノ詳細ヲ調査セナイカラ發病時期ノ認定ニ多少ノ相違ガ無イトハ云ハレナイ。要之、是レヲ以テ其等胸膜炎「ツ」反應陽性轉化數ヶ月後ニ早發スル事アル事實ヲ肯定シ得ルガ、數年後ニ早發スル可能性モ亦否定スル事ガ出來ナイ。

第二二表 入籍時「ツ」反應陰性健康兵ヨリ發生セシ胸膜炎患者ノ滿期退團時「ツ」反應成績

| 番 | 人     | 出生 | 籍入 | 前籍  | 前職  | 籍入 | 志種 | 別種 | 反入籍時「ツ」應 | 發病 | 發病   | 病名   | 入院 | 入院 | 在院 | 轉歸 | 轉歸 | 滿期時「ツ」應 | 發病 | 陰性ヨリ發病 |   |
|---|-------|----|----|-----|-----|----|----|----|----------|----|------|------|----|----|----|----|----|---------|----|--------|---|
| 號 | 名     | 年  | 地  | 業   | 職   | 日  | 別  | 日  | 液原       | 日  | 所    | 名    | 名  | 數  | 日  | 類  | 所  | 日       | 月  | 數      |   |
| 一 | 京都農   | 〇  | 京都 | 農   | 農   | 〇  | 吳水 | 〇  | 〇        | 〇  | 淺間   | 左胸膜炎 | 〇  | 吳  | 八  | 全  | 吳  | 〇       | 〇  | 〇      | 〇 |
| 二 | 滋賀農   | 〇  | 滋賀 | 農   | 農   | 〇  | 吳機 | 〇  | 〇        | 〇  | 扶桑   | 左胸膜炎 | 〇  | 吳  | 七  | 全  | 龜  | 〇       | 〇  | 〇      | 〇 |
| 三 | 富山料理  | 〇  | 富山 | 料理  | 料理  | 〇  | 吳水 | 〇  | 〇        | 〇  | 淺間   | 右胸膜炎 | 〇  | 吳  | 七  | 全  | 龜  | 〇       | 〇  | 〇      | 〇 |
| 四 | 富山賣藥  | 〇  | 富山 | 賣藥  | 賣藥  | 〇  | 吳水 | 〇  | 〇        | 〇  | 十九驅  | 右胸膜炎 | 〇  | 吳  | 七  | 全  | 龜  | 〇       | 〇  | 〇      | 〇 |
| 五 | 鳥取農   | 〇  | 鳥取 | 農   | 農   | 〇  | 吳水 | 〇  | 〇        | 〇  | 日向   | 左胸膜炎 | 〇  | 龜  | 七  | 全  | 龜  | 〇       | 〇  | 〇      | 〇 |
| 六 | 岡山表具  | 〇  | 岡山 | 表具  | 表具  | 〇  | 吳水 | 〇  | 〇        | 〇  | 阿武隈  | 右胸膜炎 | 〇  | 龜  | 七  | 全  | 龜  | 〇       | 〇  | 〇      | 〇 |
| 七 | 山口鐵道員 | 〇  | 山口 | 鐵道員 | 鐵道員 | 〇  | 吳水 | 〇  | 〇        | 〇  | 扶桑   | 右胸膜炎 | 〇  | 橫  | 六  | 全  | 龜  | 〇       | 〇  | 〇      | 〇 |
| 八 | 愛媛農   | 〇  | 愛媛 | 農   | 農   | 〇  | 吳水 | 〇  | 〇        | 〇  | 右胸膜炎 | 右胸膜炎 | 〇  | 吳  | 八  | 全  | 龜  | 〇       | 〇  | 〇      | 〇 |

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎



| 番<br>號 | 人<br>名 | 兵<br>種 | 年<br>齡 | 經<br>校<br>學<br>級 | 千倍「ツ」皮内<br>反應四八時間<br>後浸潤直徑耗 | 病<br>名 | 發<br>病      |        | 在<br>院 |             | 轉<br>歸      |        | 歸<br>場<br>所 | 「ツ」反<br>應性<br>陰性<br>ヨリ<br>發病<br>マデ<br>月數 |
|--------|--------|--------|--------|------------------|-----------------------------|--------|-------------|--------|--------|-------------|-------------|--------|-------------|--|
|        |        |        |        |                  |                             |        | 年<br>月<br>日 | 場<br>所 | 日<br>數 | 年<br>月<br>日 | 年<br>月<br>日 | 種<br>類 |             |  |
| 一      | ■      | 二主     | 二四     | 四二               | 三、五、一〇〇                     | 左胸膜炎   | 三、一一、一七     | 榛名     | 一、二七、五 | 四、五、三〇      | 全治          | 湊病     | 七           |  |
| 二      | ■      | 〃      | 〃      | 四三               | 三、一一、五〇                     | 左胸膜炎   | 五、七、二三      | 卯月     | 一、二七、七 | 五、一一、五      | 在院          | 佐病     | 二一          |  |
| 三      | ■      | 二主     | 〃      | 四三               | 三、一一、五〇                     | 胸腹膜結核  | 四、九、二       | 十四驅    | 吳      | 一、八二、五、三、四  | 死           | 吳病     | 一一          |  |

其他ノ次ノ七一例ニ於テモ陰性健康兵ニヨリ胸膜炎ヲ發病シタ。但シ其ノ「ツ」反應竝ニ其ノ胸膜炎診定ニ就テハ余ノ自  
ラ直接關與セシモノニ非ズシテ昭和二年度徵兵及ビ一乃至五年ノ免役死亡兵ノ還納身體歴ノ記載ニ從ツタモノデアル。  
而シテ其ノ「ツ」反應成績陰性ト稱スルハ「ツベルクリン」千倍又ハ百倍液〇・一坵皮内注射後四八時間ニ於ケル丘疹直接  
九耗以下ノ場合デアル。其ノ症例ヲ次ノ第二四表ニ示ス。

第二四表 「ツ」反應陰性健康兵ヨリ發生セル滲出性胸膜炎例

| 番<br>號 | 人<br>名 | 兵<br>種 | 年<br>齡 | 入<br>籍<br>日<br>年<br>月 | 「ツ」皮内反應<br>年<br>月<br>日 | 病<br>名 | 發<br>病      |        | 在<br>院 |        | 轉<br>歸      |        | 「ツ」反<br>應性<br>陰性<br>ヨリ<br>發病<br>マデ<br>月數 | 備<br>考     |
|--------|--------|--------|--------|-----------------------|------------------------|--------|-------------|--------|--------|--------|-------------|--------|--|------------|
|        |        |        |        |                       |                        |        | 年<br>月<br>日 | 場<br>所 | 日<br>數 | 場<br>所 | 年<br>月<br>日 | 成<br>績 |  |            |
| 一      | ■      | 水      | 二三     | 二、二、一                 | 三、二、〇                  | 左胸膜炎   | 四、一〇        | 吳園     | 八二     | 吳      | 七、三         | 輕      | 一  | 急性肺炎ニ兼發    |
| 二      | ■      | 水      | 二二     | 六、一                   | 八、一                    | 右      | 一一、一        | 伊勢     | 一三七    | 龜吳     | 四、一八        | 治      | 四  |            |
| 三      | ■      | 水      | 二〇     | 〃                     | 二、七                    | 右      | 一一、二三       | 日向     | 一五四    | 吳龜     | 三、五、二四      | 死      | 五  | 結核性腦膜炎併發   |
| 四      | ■      | 水      | 二三     | 〃                     | 二、九                    | 右      | 一一、二五       | 三驅     | 一八〇    | 佐      | 三、七、二三      | 免      | 五  |            |
| 五      | ■      | 水      | 二三     | 六、一                   | 四、〇                    | 右      | 二、一七        | 橫      | 一九〇    | 橫      | 五、九、五       | 死      | 五  | 結核性腦膜炎併發   |
| 六      | ■      | 水      | 二三     | 二、一                   | 三、二四                   | 兩      | 七、一〇        | 扶桑     | 三四     | 吳龜     | 二、一一        | 死      | 五  | 結核性腦膜炎併發   |
| 七      | ■      | 水      | 二三     | 六、一                   | 八、一                    | 胸腹膜結核  | 三、一、二五      | 球磨     | 一六     | 佐      | 二、一〇        | 死      | 六  | 「クルブ」性肺炎併發 |

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

|        |        |        |        |        |        |       |     |      |      |          |        |       |        |      |       |        |      |       |   |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|------|------|----------|--------|-------|--------|------|-------|--------|------|-------|---|
| 二六     | 二五     | 二四     | 二三     | 二二     | 二一     | 二〇    | 一九  | 一八   | 一七   | 一六       | 一五     | 一四    | 一三     | 一二   | 一一    | 一〇     | 九    | 八     |   |
| 機      | 水      | 機      | 機      | 機      | 水      | 機     | 水   | 主    | 水    | 水        | 水      | 水     | 水      | 機    | 水     | 水      | 水    | 水     |   |
| 二二     | 二二     | 二三     | 二三     | 二三     | 二三     | 二三    | 一九  | 二二   | 二四   | 二二       | 二三     | 二三    | 二三     | 二三   | 二三    | 二二     | 二三   | 二三    |   |
| ”      | 六、一    | ”      | ”      | ”      | ”      | 三、一   | 六、一 | ”    | 六、一  | ”        | 二、一    | ”     | ”      | ”    | 六、一   | ”      | ”    |       |   |
| 三、九    | 三、八    | 三、一七   | 三、二六   | 三、一三   | 三、二二   | 三、一七  | 三、八 | 三、七  | 三、八  | 三、三      | 三、二〇   | 三、一三  | 三、二〇   | 三、一七 | 三、三〇  | 三、九    | ”    | 三、一三  |   |
| 一右     | 一右     | 一左     | 一左     | 一右     | 一右     | 一左    | 一右  | 一右   | 一右   | 一右       | 一右     | 一右    | 一兩     | 一右   | 一左    | 一兩     | 一兩   | 一左    |   |
| 三、七、二三 | 三、五、三〇 | 一〇、二五  | 一二、三一  | 一〇、一六  | 一〇、八   | 九、二二  | 四、三 | 三、二五 | 三、一五 | 一〇、一     | 九、二四   | 七、二三  | 九、一三   | 七、一九 | 八、一七  | 三、二、二四 | 六、七  | 六、二二  |   |
| 佐多     | 日向     | 佐      | 一四驅    | 敷島     | 利根     | 利根    | 一八驅 | 淀    | 日向   | 吳園       | 平戸     | 横     | 日向     | 二四驅  | 扶桑    | 二七驅    | 榛名   | 由良    |   |
| 五七     | 一〇四    | 九三     | 一四二    | 一三七    | 二七七    | 二三九   | 一三六 | 一六九  | 一七六  | 三二三      | 二七七    | 一五一   | 二四七    | 三三   | 二三九   | 二一四    | 八九   | 一七一   |   |
| 佐      | 吳      | 佐      | 吳      | 佐      | 佐      | 漢口    | 漢口  | 吳    | 龜吳   | 吳        | 龜吳     | 横     | 吳佐     | 漢口   | 吳舞    | 佐      | 佐    | 横     | 左 |
| 九、一八   | 三、九、一六 | 五、一、二七 | 四、五、二八 | 四、八、一七 | 四、七、二四 | 四、六、三 | 九、四 | 八、一六 | 九、八  | 九、一七     | 四、六、二八 | 一、二、三 | 四、五、二八 | 八、二五 | 四、五、七 | 四、八、八  | 九、一七 | 一、二、一 |   |
| 治      | 治      | 免      | 免      | 治      | 治      | 治     | 免   | 治    | 治    | 免        | 免      | 治     | 免      | 治    | 免     | 治      | 輕    | 治     |   |
| 一一     | 一〇     | 一〇     | 一〇     | 一〇     | 一〇     | 九     | 九   | 八    | 八    | 八        | 八      | 七     | 七      | 七    | 六     | 六      | 六    | 六     |   |
|        |        |        |        | 肺炎炎兼發  |        |       |     |      |      | 結核性腹膜炎併發 |        |       |        |      |       |        |      |       |   |

綜 說 小林II「ツバルクリンアレルギー」ト肋膜炎

|       |       |        |       |        |        |        |       |        |       |        |        |       |       |        |       |                              |        |        |
|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|------------------------------|--------|--------|
| 四四    | 四四    | 四三     | 四二    | 四一     | 四〇     | 三九     | 三八    | 三七     | 三六    | 三五     | 三四     | 三三    | 三二    | 三一     | 三〇    | 二九                           | 二八     | 二七     |
| 機     | 水     | 水      | 機     | 水      | 水      | 水      | 水     | 主      | 機     | 水      | 水      | 水     | 水     | 機      | 機     | 水                            | 水      | 水      |
| 一九    | 二三    | 二三     | 二三    | 二三     | 二三     | 二三     | 二三    | 二〇     | 二三    | 二三     | 二三     | 二三    | 二〇    | 二一     | 二二    | 二二                           | 二三     | 一九     |
| 六、二、九 | 一、一七  | 一、一七   | 一、一七  | 三、一五   | 一、二三   | 八、     | 八、    | 六、一    | 一、    | 三、三    | 六、一    | 一、    | 八、    | 七、     | 七、    | 六、一                          | 一、     | 九、     |
| 一     | 一     | 一      | 一     | 一      | 一      | 一      | 一     | 一      | 一     | 一      | 一      | 一     | 一     | 一      | 一     | 一                            | 一      | 一      |
| 左     | 右     | 右      | 兩     | 胸腹腹結核  | 左      | 左      | 胸腹腹結核 | 右      | 右     | 左      | 右      | 兩     | 兩     | 左      | 左     | 右                            | 兩      | 左      |
| 四、三、三 | 四、六、三 | 四、五、一三 | 四、六、三 | 四、五、二一 | 四、三、二〇 | 三、九、二九 | 三、九、三 | 三、七、二五 | 四、一、五 | 四、二、一六 | 四、八、二八 | 四、二、一 | 三、七、四 | 三、五、一六 | 三、五、五 | 三、六、二八                       | 一、一、二五 | 三、七、一七 |
| 常磐    | 二三驅   | 比叡     | 十一驅   | 妙高     | 佐防     | 一二驅    | 日向    | 韓崎     | 利根    | 一遣     | 加賀     | 日向    | 矢矧    | 伊勢     | 日向    | 長鯨                           | 山城     | 迅鯨     |
| 七四    | 七四    | 一四七    | 七二    | 九六     | 七八     | 二一五    | 一四八   | 二九五    | 五四    | 四六二    | 二三〇    | 九六    | 二六九   | 一〇五    | 五六    | 一〇五                          | 一〇四    | 一三三    |
| 佐     | 佐吳    | 佐      | 吳     | 横      | 佐      | 龜吳佐    | 舞     | 龜吳     | 漢口    | 吳上海    | 佐横     | 吳     | 吳     | 吳      | 吳     | 吳                            | 横      | 佐      |
| 六、七   | 九、一四  | 一〇、九   |       | 八、二五   | 一、二、二八 | 四、五、四  | 四、二、二 | 四、五、二三 | 三、二、七 | 六、三    | 四、二、〇  | 七、三〇  | 五、一〇  | 九、四    | 六、三〇  | 一〇、一三                        | 三、一三   | 一、二、七  |
| 治     | 治     | 治      |       | 免      | 免      | 治      | 免     | 治      | 輕     | 免      | 免      | 免     | 死     |        | 治     | 治                            | 免      | 治      |
| 一九    | 一八    | 一七     | 一六    | 一五     | 一五     | 一四     | 一四    | 一三     | 一三    | 一二     | 一二     | 一二    | 一一    | 一一     | 一一    | 一一                           | 一一     | 一一     |
|       |       |        |       | 肺結核併發  |        |        |       |        |       |        |        |       | 肺結核併發 |        |       | 四、三、右結核<br>性股關節炎後發<br>五、四、云死 |        |        |

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

|                |               |               |                     |                |                |                     |                |                     |                |               |                     |                     |                     |                     |                     |                           |                |               |                     |   |
|----------------|---------------|---------------|---------------------|----------------|----------------|---------------------|----------------|---------------------|----------------|---------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------------|----------------|---------------|---------------------|---|
| 六五             | 六四            | 六三            | 六二                  | 六一             | 六〇             | 五九                  | 五八             | 五七                  | 五六             | 五五            | 五四                  | 五三                  | 五二                  | 五一                  | 五〇                  | 四九                        | 四八             | 四七            | 四六                  |   |
| 水              | 水             | 水             | 機                   | 水              | 水              | 水                   | 水              | 水                   | 機              | 水             | 水                   | 機                   | 機                   | 水                   | 機                   | 水                         | 機              | 水             | 水                   |   |
| 二二             | 二〇            | 二〇            | 二三                  | 二三             | 二三             | 二二                  | 二三             | 二三                  | 二三             | 二三            | 二三                  | 二三                  | 二四                  | 二〇                  | 二三                  | 二三                        | 二三             | 二〇            | 二三                  |   |
| ”              | 六、<br>一       | 六、<br>一       | 一、<br>二、<br>三、      | 六、<br>一        | 一、<br>二、<br>三、 | ”                   | 六、<br>一        | ”                   | ”              | ”             | ”                   | ”                   | ”                   | ”                   | ”                   | ”                         | 一、<br>二、<br>三、 | 六、<br>一       | 一、<br>二、<br>三、      |   |
| 八、             | 二、<br>七、      | 二、<br>九、      | 一、<br>二、<br>三、      | 一、<br>二、<br>三、 | 一、<br>二、<br>三、 | 二、<br>八、            | 一、<br>二、<br>三、 | 一、<br>二、<br>三、      | 一、<br>二、<br>三、 | 三、<br>二、<br>〇 | 一、<br>二、<br>七       | 一、<br>二、<br>三       | 三、<br>三、<br>〇       | 一、<br>一、<br>七       | 一、<br>一、<br>七       | 一、<br>一、<br>七             | 一、<br>一、<br>七  | 八、            | 三、<br>一、<br>七       |   |
| 右              | 兩             | 右             | 兩                   | 左              | 右              | 右                   | 右              | 右                   | 右              | 右             | 右                   | 右                   | 兩                   | 左                   | 胸腹膜結核               | 左                         | 左              | 左             | 右                   | 左 |
| 四、<br>八、<br>三〇 | 四、<br>六、<br>八 | 四、<br>八、<br>九 | 四、<br>一、<br>二、<br>三 | 四、<br>五、<br>九  | 四、<br>〇、<br>九  | 四、<br>五、<br>一、<br>九 | 四、<br>五、<br>一  | 四、<br>九、<br>二、<br>五 | 四、<br>九、<br>五  | 四、<br>九、<br>六 | 四、<br>一、<br>八       | 四、<br>九、<br>二、<br>〇 | 四、<br>九、<br>二       | 四、<br>〇、<br>一、<br>五 | 四、<br>八、<br>一       | 四、<br>八、<br>三、<br>一       | 四、<br>八、<br>三  | 四、<br>三、<br>一 | 四、<br>九、<br>一、<br>一 |   |
| 神通             | 日向            | 二驅            | 出雲                  | 淺間             | 橫              | 一四驅                 | 伊勢             | 橫                   | 橫              | 橫             | 淺間                  | 足柄                  | 團                   | 淺間                  | 佐                   | 佐                         | 足柄             | 水校            | 一七驅                 |   |
|                | 一五六           |               | 三四七                 | 一〇一            | 一四八            | 一〇二                 | 一一〇            | 八四                  | 一七四            | 七五            | 四三                  | 三六四                 | 一三一                 |                     | 二三七                 | 四一六                       | 七五             | 一七九           | 一七六                 |   |
| 橫              | 吳橫            | 佐             | 佐                   | 吳橫             | 吳橫             | 吳                   | 吳              | 湊橫                  | 湊橫             | 橫             | 吳                   | 佐                   | 橫                   |                     | 佐                   | 佐                         | 佐              | 湊橫            | 吳                   |   |
|                |               |               | 一、<br>一、<br>一       |                | 五、<br>三、<br>二  |                     |                | 四、<br>二、<br>二、<br>七 | 四、<br>二、<br>五  | 四、<br>二、<br>八 | 五、<br>五、<br>三、<br>一 | 五、<br>九、<br>一、<br>九 | 五、<br>一、<br>一、<br>五 |                     | 五、<br>三、<br>二、<br>六 | 五、<br>一、<br>一、<br>三、<br>〇 | 一、<br>一、<br>四  |               | 五、<br>三、<br>六       |   |
|                |               |               | 輕                   |                | 治              |                     |                | 治                   | 治              | 治             | 死                   | 免                   | 免                   |                     | 免                   | 免                         | 治              |               | 輕                   |   |
| 二五             | 二四            | 二四            | 二三                  | 二三             | 二三             | 二三                  | 二三             | 二二                  | 二二             | 二二            | 二二                  | 二二                  | 二二                  | 二〇                  | 二〇                  | 二〇                        | 二〇             | 二〇            | 一九                  |   |
|                |               |               |                     |                |                |                     |                |                     |                |               | 發                   |                     | 發                   |                     |                     |                           |                |               |                     |   |
|                |               |               |                     |                |                |                     |                |                     |                |               | 結核性腹膜炎併             |                     | 結核性腹膜炎併             |                     |                     |                           |                |               |                     |   |

|    |   |    |   |        |   |       |         |    |     |    |       |    |    |
|----|---|----|---|--------|---|-------|---------|----|-----|----|-------|----|----|
| 六六 | 水 | 二三 | 〃 | 三、七    | 二 | 右     | 四、八、六   | 淺間 |     | 吳  |       | 二六 |    |
| 六七 | 機 | 二三 | 〃 | 三、一、一八 | 一 | 右     | 五、三、七   | 對馬 | 一七二 | 佐  | 八、二六  | 治  | 二七 |
| 六八 | 機 | 二三 | 〃 | 三、一、一八 | 一 | 胸腹膜結核 | 五、五、一、二 | 由良 | 一四九 | 佐  | 一〇、八  | 治  | 二九 |
| 六九 | 水 | 二三 | 〃 | 三、三、二〇 | 一 | 右     | 五、九、一、七 | 吳團 | 五〇  | 吳  | 一、一、八 | 輕  | 三一 |
| 七〇 | 水 | 二三 | 〃 | 三、一、二三 | 一 | 兩     | 五、九、二   | 橫  | 六〇  | 橫  | 一、一、五 | 輕  | 三三 |
| 七一 | 機 | 二三 | 〃 | 三、一、一八 | 一 | 右     | 五、九、八   | 陸奥 | 七一  | 佐橫 | 一〇、二七 | 治  | 三三 |

然ラバ夫等ノ胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化後如何ナル時日ヲ經テ發病シタモノデアルカ。其ノ關係ヲ考察スル爲メニ「ツ」反應最終陰性ヨリ胸膜炎發病マデノ期間ヲ調べテ見ル。若シ其ノ期間ガ二乃至三ヶ月デアレバ、其ノ例ハ「ツ」反應陽轉後ハ二乃至三ヶ月以内ニ發病シタモノト謂ヘル。然シ若シ反對ニ二乃至三年デアツタ場合ニモ「ツ」反應陽轉後二乃至三ヶ月以内ト言フ事ニ成ルカラ、「ツ」反應陽性轉化後早期發病ヲ否定スル材料ニハ成ラ無イ。今此七一例ニ就テ見ルニ一ヶ月ノモノガ一例アルガ是レハ恐ラク急性肺炎ニ伴ツタ胸膜炎デ結核性ノモノデハ無イデアラウカラ除外スル。斯クスルニ二乃至三ヶ月ノモノハ一例モ無ク四乃至六ヶ月ノモノガ一例アル。夫等ノ症例ハ直チニ「ツ」反應陽性轉化後夫等ノ期間以下ニ於テ發病シタル胸膜炎ト稱シ得ル。

要之、夫等七四例ノ胸膜炎ハ一部ハ確カニ「ツ」反應陽轉後數ヶ月以内ニ發病シタモノハデアリ、其他ノ例モソウデ無イトハ謂ハレ無イ。然ルニ三ヶ月以下ノ例ハ無イ處ヲ見ルト胸膜炎ノ潜伏期ハ矢張り「ツ」反應陽性轉化後二乃至三ヶ月デアラウト思ハレル。

### 七。「ツ」反應陽性轉化ト胸膜炎發病トノ時間的關係ニ關スル考察

以上各症例ノ「ツ」反應ト胸膜炎發病トノ時間的關係ヲ總括スレバ次ノ第二五表ノ通りデアアル。確カニ其ノ關係ノ判ツタ三例デハ「ツ」反應陽性轉化ヨリ胸膜炎發病マデノ期間ガ約七〇乃至八〇日デアアル。其他ノ症例モ之レヲ肯定スルモノガ

多イ。

第二五表 「ツ」反應陽性轉化後早期ニ於ケル胸膜炎發病例(自一九二七年六月至一九三一年六月)

| 病                                   | 發病トノ關係                              | 例數  | 陰性ヨリ陽性                    |                   | 陽性ヨリ發病                   |                            | 陰性ヨリ發病            |                   | 「ツ」反應陽性轉化ヨリ發病マテノ潜伏期(d/c) |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-----|---------------------------|-------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------|-------------------|--------------------------|
|                                     |                                     |     | マテノ日數又ハ月數(a)              | マテノ日數又ハ月數(b)      | マテノ日數又ハ月數(b)             | マテノ日數又ハ月數(b)               |                   |                   |                          |
| 「ツ」反應陽性轉化發見後ニ胸膜炎發病                  | 「ツ」反應陽性轉化胸膜炎發病トノ關係調査方法              | 三   | 第一例二〇日<br>第二例九日<br>第三例二一日 | 七〇日<br>三五日<br>六〇日 | 第一例一〇日<br>第二例八日<br>第三例一日 | 二二日<br>二二日<br>二二日          | 二二日<br>二二日<br>二二日 | 八〇日<br>八〇日<br>七五日 |                          |
| 「ツ」反應陰性ナル健康者ニ胸膜炎ヲ發病シ發病後「ツ」反應陽性ナルヲ發見 | 「ツ」反應陰性ナル健康者ニ胸膜炎ヲ發病シ發病後「ツ」反應陽性ナルヲ發見 | 八   | —                         | —                 | —                        | 第一例六七日<br>第二例二〇日<br>第三例二〇日 | 六七日<br>六七日<br>六七日 | ヨリ小               |                          |
| 同右、但シ胸液ヨリ結核菌證明                      | 同右、但シ胸液ヨリ結核菌證明                      | 四   | —                         | —                 | —                        | —                          | —                 | ヨリ小               |                          |
| 「ツ」反應陰性健康者ニ胸膜炎發病                    | 「ツ」反應陰性健康者ニ胸膜炎發病                    | 七   | —                         | —                 | —                        | —                          | —                 | ヨリ小               |                          |
| 合計                                  | 合計                                  | 一〇八 | —                         | —                 | —                        | —                          | —                 | —                 |                          |

最モ晚發ノモノデモ「ツ」反應陽性轉化後三三ヶ月以内ニ發病シタモノデアル。是レヲ從來ノ學說ニ比スレバ非常ニ早期デアルカラ夫レヲ早期發病ト稱シテモ敢テ差支ハ無イ。其ノ意味ニ於テハ夫等胸膜炎ノ全テハ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病シタモノト謂ヘル。

斯ク胸膜炎ノ發病時期ノ明瞭ナル症例ニ於テハ「ツ」反應陽轉後二乃至三ヶ月ニ發病シテ居ルシ、又、其他ノ多數例ニ於テモ或ハ同様デアルカモ知レ無イ。然シ乍ラ總テノ胸膜炎ガ斯クモ極メテ早期ニノミ發病スルモノナリヤ否ヤハ別ニ研究セテバ成ラナイ問題デアル。或ハ、其ノ發病時期ハ症例ニヨリ各々異ナリ「ツ」反應陽轉後晚期ニ至ツテ始メテ發病スル症例モアルカモ知レ無イ。滲出性胸膜炎ノ「ツ」反應陽轉後晚期ニ發病セザルヤノ問題ニ就テハ他日稿ヲ改メテ評論スル

ナホ此ノ問題ハ多數ハ症例ニ就テ調ベテ研究ハ出來ナイガ「ツ」反應陽性轉化後七〇乃至八〇日頃ニ發病スル胸膜炎ノ多イ事ハ事實デア。問題ハ總テガ然ルヤ否ヤ、又ハ大多數ガ然ルヤ否ヤヲ謂フ事デア。然シ乍ラ一〇八例中

コト、スル<sup>(29)</sup>。

余ハ從來、「ツ」反應陽性轉化後早期ト言フ様ナ漠然トシタ言葉ヲ使ツテ來タ。抑モ早期トハ如何ナル期間デアルカ。是レハ胸膜炎豫防ニ重要ナ事デアル。以上ノ成績ヲ總括スレバ次ノ表ヲ得ル。之ニ於テ一目瞭然タルガ如ク海軍ノ胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化後比較的早期ニ發病スルモノガ少ク無イガ如何程ノ期間ニ於テ發病スルモノデアルカ。又若シ此ノ「ツ」反應陽性轉化ヲ結核新感染ノ結果ト解スレバ、夫等ノ胸膜炎ハ結核感染早期ニ發病シタモノト言ヘルガ、其ノ早期トハ結核感染後如何程ノ期間デアルカ。

「ツ」反應陽性轉化後早期トハ如何ナル期間ナルカ。右ノ第一九表ニ就テ「ツ」反應陽性轉化ト胸膜炎發病トノ時間的關係ヲ考察スル。「ツ」反應陰性ヨリ發病マデノ時日ノ最小ハ六七日デアル。「ツ」反應陽性轉化ハ右陰性反應以後ニ於テ起コシタモノナレバ「ツ」反應陽性轉化ヨリ胸膜炎發病マデノ時日ノ最小ハ六七日以内ト謂ヒ得ル。

次ギニ胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化直後ニ發病スルモノナリヤ或ル期間ノ後チニ發病スルモノナリヤ。此ノ問題ノ解決ニハ其ノ資料ニ乏シキヲ遺憾トスル。若シ、幸ニ「ツ」反應ノ最終陰性ト最初陽性トノ間隔ヲ小サクスル事ガ出來レバ「ツ」反應ノ時日モ比較的明瞭トナルカラ夫レト胸膜炎發病トノ關係モ明瞭ト成ルノデアアルガ不幸ニシテ斯カル例ハ唯三例ニ過ギナイ。其ノ第一例デハ二〇日間ニ「ツ」反應陽性轉化ヲ挾ミ得、其ノ最初陽性反應カラ七〇日目ニ胸膜炎ガ發病シテ居ル。即チ本例デハ「ツ」反應陽性轉化後七〇乃至九〇日目ノ後チニ胸膜炎ヲ發病シタ確カナ例デアアル。ナホ第二例ハ三五乃至一三〇日第三例ハ八二乃至一一五日ノ後チニ發病シテ居ル。

是レニ由テ觀ルニ胸膜炎ノ發病ハ其ノ症例ニヨリ各々異ナルベキモ大凡「ツ」反應陽性轉化後約二乃至三ヶ月目ニ發病スルモノガ多イノデハアルマイカ。即チ吾人ノ胸膜炎準備状態ト謂フモノハ「ツ」反應ニ乃至三ヶ月目頃ニ最大デアアルノデハアルマイカ。

然ラバ次ニ結核感染早期トハ如何ナル期間デアルカ。夫レニハ先ヅ、結核感染ト「ツ」反應陽性轉化トノ時間的關係、換言スレバ所謂生物學的結核潜伏期ノ問題ヲ解決セテバナラナイ。吾人ハ結核傳染期日ヲ明カニシタル結核感染ヲ有セザ

ルヲ以テ此ノ所謂生物學的結核潜伏期即チ結核「アレルギー」前期ヲ決定スル資料ヲ有セナイガ、從來先人ノ研究ニ基キ大凡之レヲ一ヶ月ト見做セバ吾人ノ所謂結核感染早期ハ結核感染後三乃至四月頃ト解スル事ガ出來ル。勿論之レハ胸膜炎ノ多ク發スル時期ノ意味デアツテ其ノ最初期、最終期ハ多數ノ例ヲ調査セテバ決定シ得ナイ。

斯ク吾人ハ滲出性胸膜炎ノ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病スル事實ヲ現認シ得タノデアルガ、抑、此ノ「ツ」反應陽性轉化トハ如何ナル意味ノモノデアルカ。此ノ問題ニ就テハ既ニ第二部ニ於テ論及シタ處デアリ又既ニ他ノ論文<sup>(20)</sup><sup>(23)</sup><sup>(24)</sup><sup>(27)</sup><sup>(28)</sup>ニ於テ詳述シタ處デアルガ、其ノ全部或ハ其ノ大多數ハ結核初感染ノ結果ト解スベキモノデアアル。從ツテ前述ノ滲出性胸膜炎ノ諸例ハ結核初感染後早期ニ發病シタ、結核性胸膜炎ト認ムベキデアアル。然シ乍ラ滲出性胸膜炎ノ全テガ斯ク結核感染早期ニ發病スルモノナリヤ否ヤ、是レヲ換言スレバ滲出性胸膜炎ハ結核感染後晚期ニ於テモ發病スルコトナキヤ否ヤハ更ラニ研究ヲ要スル問題デアアル<sup>(29)</sup>。

### 八. 第三部結論

一。「ツベルクリン」皮内反應陽性轉化後七〇日以上九〇日以内ノ間ニ於テ定型的ノ左滲出性胸膜炎ヲ發病シタ一例ガアル。又、同陽性轉化後三五日以上一三〇日以内ノ間ニ於テ肺浸潤ニ續イテ定型的ノ左滲出性胸膜炎ヲ發病シタ一例ガアル。又、同陽性轉化後六〇日以上八一日以内ニ於テ定型的ノ右滲出性胸膜炎ヲ發病シタ一例ガアル。

二。入籍時「ツ」反應陰性ニシテ其後約二〇ヶ月後ニ其ノ陽性ナルヲ發見シ、更ラニ其後二二日乃至一ヶ月目ニ胸膜炎ヲ發病セシニ例ガアル。内一例ハ胸液ヨリ結核菌ガ證明サレタ。

三。「ツ」反應陰性ナリシ後六十七日目ニ及ビ十二ヶ月目ニ定型的ノ滲出性胸膜炎ヲ發病シ、發病直後「ツ」反應陽性ナルヲ證明セシニ三例ガアル。

四。「ツ」反應陰性ナリシ後二ヶ月乃至二十七ヶ月目ニ胸膜炎ヲ發病シ、罹患中同反應陽性ナルヲ證明セシ八例ガアル。

五。「ツ」反應陰性ナリシ者ヨリ發病セシ胸膜炎七例中五例ニ於テ胸液ヨリ結核菌ガ證明サレテ居ル。

六。海軍入籍時「ツ」反應陰性ニシテ現役三ヶ年以内ニ胸膜炎ヲ發病シ、滿期離現役ニ「ツ」反應陽性ナリシ十四例ガアル。

七、「ツ」反應陰性ナリシ者ヨリ胸膜炎ヲ發シ其ノ發病後結核菌検査又ハ「ツ」反應検査ヲ行ハザリシモ結核性ト推定シ得ベキ胸膜炎ノ七四例ガアル。

八。以上通計一〇八例ノ胸膜炎ハ何レモ「ツ」反應陽性轉化後ニ發病シタ者ダト謂ヘル。而シテ、夫等ノ内三例ハ確カニ「ツ」反應陽性轉化後ニ乃至三ヶ月目ニ發病シタモノデアアル。

#### 第四部 滲出性胸膜炎ハ「ツベルクリン」反應陽性轉化後晚期ニ於テモ發病スルヤ

##### 一 緒論

軍隊胸膜炎即チ所謂特發性滲出性胸膜炎ニハ屢々「ツベルクリン」反應陽性轉化後早期ニ發病スルモノガアル。吾人ハ從來、右「ツ」反應陽性轉化ヲ現認スル目的ヲ以テ、「ツ」反應陰性健康者ニ對シ「ツ」反應ヲ反覆シテ行クノデアアルガ、若シ此ノ反覆検査ヲ怠リ、從ツテ「ツ」反應陽性轉化ヲ胸膜炎發病前ニ現認スル事ノ出來ナカツタ場合ニ於テハ胸膜炎ハ「ツ」反應陰性健康者ヨリ發病シタルヤノ觀ヲ呈スル。然シ乍ラ恐ラク斯様ノ場合ニ於テモ、其ノ發病前スデニ「ツ」反應ノ陽性ト成リ居リシヲ推定シ得ル。故ニ恐ラク胸膜炎ハスベテ「ツ」反應陽性者ヨリ發病スルモノデアラウガ、其ノ陽性ト成ツテ後チ、如何程ノ年月ヲ經テ始メテ發病スルニ至ツタモノカト言フ事が問題ナノデアアル。

而シテ初メ「ツ」反應陰性ナリシ健康者ガ、ヤガテ胸膜炎ニ罹ツタ場合ハスベテ其ノ胸膜炎ハ其ノ陰性反應以後ニ起ツタ陽性轉化ニ伴ツタモノト解スベキデアルカラ、發病前其ノ「ツ」反應陽性轉化ヲ現認シタ場合ハ勿論ノ事、夫レガ出來ナカツタ場合デモ「ツ」反應ノ陽性ト成ツテカラ胸膜炎ノ發病スルマデノ年月ヲ大凡推定スル事が出來ルワケデアアル。

反之、最初ノ「ツ」反應検査デ其ノ成績陽性デアツタ場合ハ、其ノ陽性反應ガ何年前カラ續イテ居ルモノカ、夫レハ全然判テ無イノデアアル。從ツテ其ノ後ニ起コツタ胸膜炎モ、「ツ」反應陽性轉化後如何ナル年月ヲ經テ發病シタモノカ即チ早期カ晚期カ想像ガ付カナイコトニ成ル。我等ノ場合ニ於テモ學校入籍時又ハ海兵團入籍時ニ於テ「ツ」反應陽性ナリシ健康者ガ、後日胸膜炎ヲ發病シタ場合、其ノ胸膜炎ガ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發セシモノカ、晚期ニ發病セシモノカ不明ナノデアアル。

抑モ胸膜炎ト言フモノハ結核ノ各病期ニ發病シ得ルモノトサレテ居ル。例ヘバ、ランケ氏ノ結核病期ニ從ヘバ、其ノ第一期ニモ、第二期ニモ、亦其ノ第三期ニモ發シ得ルトサレテ居ル。然シ乍ラ夫等ハ自ラ其ノ病型ヲ異ニスル。而シテ其ノ第三期ニ於テ慢性肺癆ニ續發スル胸膜炎ハキョーニーゲル氏ノ所謂隨伴性胸膜炎デアアル。若シ夫等ノ胸膜炎ニ於テ「ツ」反應陽性轉化ヨリ其ノ發病マデノ期間ヲ測定シ得タランニハ其ノ結核第一期ニ發病スル胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病シ、其ノ結核第三期ニ發病スル胸膜炎例ヘバ所謂隨伴性胸膜炎ハ「ツ」反應陰性轉化後晚期ニ發病スベキデアアル。從ツテ結核第一及第二期ニ於テ發病スル胸膜炎ハ最初「ツ」反應陰性ナリシ後長時日ニシテ發病スル傾向ガ無ケレバ成ラナイ。シ結核第三期ニ於テ發病スル胸膜炎ハ最初「ツ」反應陰性ナリシ後長時日ニシテ發病スル傾向ガ無ケレバ成ラナイ。余ハ一九二七年六月ヨリ一九三一年六月ニ至ル四ケ年間ニ於テ東京海軍部隊ニ於テ健康軍人及軍屬一三八一名ニ對シ千倍「ツベルクリン」液〇・一坵ヲ以テ皮内反應ヲ試ミシガ内、陽性者ハ一一三六デアツタ。夫等「ツ」反應陽性健康者中、余ノ觀察期間中ニ於テ胸膜炎ヲ發病シタノハ五例デアアル。又、夫等陽性者中東京海軍部隊ヨリ轉出後他所轄ニ於テ發病シタモノハ七例アル。ナホ我ガ海軍ニ於テハ一九二七年七月ヨリ翌年三月ニ互リ、前年六月及十二月入籍ノ海軍新兵三千數百名ニ對シ、「ツベルクリン」皮内反應ヲ行ツタガ其ノ約七〇%ハ陽性デアツタ。夫等「ツ」反應陽性健康者ヨリ其ノ現役三年間ニ發病シタ胸膜炎ハ七四例デアアル。然ラバ夫等八六例ノ「ツ」反應陰性健康者ヨリ發病セシ海軍胸膜炎ハ「ツ」反應陽性變化後早期ニ發病セシモノナリヤ、晚期ニ發病セシモノナリヤ。從來、往々、胸膜炎ノ屢々「ツ」反應陽性者ヨリ發病スルノ故ヲ以テ、夫等胸膜炎ノ小兒期感染ニ基ク陳舊潛伏結核ノ青年期發芽ニ由ルモノナリトナス學徒ガアル。果シテ從來、一般ニ信ゼラレタルガ如ク、夫等ノ胸膜炎ハ結核感染後晚期ニ發病セシモノナリヤ否ヤ、是モ新ニ再吟味ヲ要スル問題デアアル。

此ノ問題ヲ解決スル爲メニハ先ヅ夫等「ツ」反應陽性健康者ヨリ發病セル胸膜炎ノ病型ヲ檢討シ、「ツ」反應陰性健康者ヨリ發病セシ夫レト比較的研究セテバナラナイ。次ギニ夫等胸膜炎ノ發病時期ヲ調査シ、「ツ」反應陰性健康者ヨリ發病セシ胸膜炎ヨリモ比較的早期ニ發病スル事無キヤ否ヤヲ研究セテバナラナイ。斯クシテ、若シ夫等胸膜炎ガ其ノ病型ニ於テ

結核感染早期性胸膜炎ト異ナル處無ク、其ノ發病時期ニ於テ「ツ」反應陰性群ヨリモ先ズル傾向ガアルナラバ、夫等「ツ」反應陽性健康者ヨリ發病シタ胸膜炎モ亦恐ラク結核感染後早期ニ發病セシモノト推定スル事ガ出來ル。蓋シ之レハ結局推定デアツテ現認デハナイ。故ニ一步讓ツテ夫等胸膜炎ノ全部ガ結核感染後晚期ニ發病セシモノト假定シテ考ヘルコト、シテ抑モ「ツ」反應陽性群ト陰性群トノ胸膜炎發病率ハ如何デアルカ。若シ、其ノ發病率ガ斷然陰性者ニ高率デアルトシタナラバ、滲出性胸膜炎ト言フモノハ通常結核感染後早期ニ發病スルモノダト言ヘルシ又夫等少數ノ陽性者ヨリ發病シタ胸膜炎モ亦、恐ラク結核感染後早期ニ發病シタ胸膜炎デアラウト解釋シ易ク成ル。

二。「ツ」反應陽性健康兵ヨリ胸膜炎ノ發病スル事實

胸膜炎ハ「ツ」反應陰性健康兵ヨリ發病スル事實ガアル。然シ乍ラ陽性健康兵ヨリモ發病スル事ガアルノデアアル。但シ、茲ニ胸膜炎ト稱スルハ普通型滲出性胸膜炎デアツテ輕症型胸膜炎及ビ乾性胸膜炎ハ論外トスル。

一。東京海軍部隊ニ於ケル胸膜炎發病例

一九二七年六月ヨリ三一年六月ニ至ル滿四年間ニ於テ東京海軍部隊ノ「ツ」反應陽性健康軍人及軍屬一三八一名中ヨリ發病セル胸膜炎ハ次ノ第一及第二表ニ示ス合計一例デアアル。第一表ノ五例ハ東京在勤中、余ノ觀察下ニ發病セシモノナルモ、第二表ノ六例ハ東京ヨリ地方へ轉勤後、一九三一年十二月迄ニ發病セシモノニテ照會調査ノ結果デアアル。

第二六表 「ツ」反應陽性健康兵ヨリ發病セシ胸膜炎例。(東京在勤中)

| 番 | 人  | 名   | 入籍年月日 | 發病前「ツ」應 | 發病年月日 | 病           | 發病後「ツ」應 | 入院場所   | 轉歸年月日        | 最初「ツ」反應 |
|---|----|-----|-------|---------|-------|-------------|---------|--------|--------------|---------|
| 一 | 主兵 | 和歌山 | 農六    | 七、七     | 二、七   | 右胸液大量發熱三九・七 | —       | 無      | 全治、右背下部濁音ヲ胎ス | 四日      |
| 二 | 曹  | 東京  | 農六    | 一、一〇    | 二、二   | 右胸液大量發熱     | —       | 橫病一四三日 | 全治           | 三〇日     |

綜 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

| 五                    | 四                  | 三   |
|----------------------|--------------------|---|
| 三主曹<br>三一歳           | 三主兵<br>二二歳         | 三主曹<br>二七歳                                |
| 事務員<br>長崎            | 農業者<br>田           | 農夫<br>分                                   |
| 五、二、一、七<br>一、一、三、六、六 | 五、五、一、一<br>一、一、六、六 | 四、七、一、一<br>一、一、五、五                        |
| 二經<br>八、一、二、〇        | 四普<br>六、五、二、二      | 二經<br>六、七、二、五                             |
| 赤沈元進<br>發熱三入         | 右胸液中量<br>發熱三七・八    | 右胸液大量<br>發熱輕度<br>一七、三、一卒業入、<br>一七、三、一ニテ受診 |
| 六、一、二、六<br>二、〇、三、〇   | 五、五、一、二<br>一、三、二、二 | —   |
| 無                    | 無                  | 佐病<br>八、一、一、八                             |
| 部濁音及赤沈<br>元進ヲ胎ス      | 全治、右背下<br>部濁音ヲ胎ス   | 全治、右胸下<br>部濁音ヲ胎ス                          |
| 四三月                  | 六日                 | 九月  |

第二七表 「ツ」反應陽性健康兵ヨリ發病セシ胸膜炎例(地方轉出後)

| 六                             | 五                        | 四                      | 三                        | 二                        | 一                    | 號番                     |
|-------------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------|------------------------|
| 主兵<br>明四〇                     | 主兵<br>明四〇                | 三主曹                    | 二主曹                      | 一主曹                      | 二主曹                  | 年等人<br>給級名             |
| 農三、五、六、重                      | 生廣、徒島                    | 農福、島                   | 農熊、本                     | 福岡                       | 農山、口                 | 入籍年月日<br>及入籍前住地<br>職業  |
| 四、二、一、〇<br>一、二、〇、二、三、八        | 四、一、一、三<br>一、一、三、三、六、二、二 | 四、〇、七、三、八<br>一、三、〇、一、四 | 二、四、七、二、五<br>一、二、二、七、一、七 | 二、二、四、七、一、四<br>一、四、四、三、四 | 二、二、四、八、四<br>一、三、四、八 | 發病前「ツ」<br>應<br>(千倍〇・二) |
| 一普<br>一、三、八、一                 | 一普<br>一、三、六、二、二          | 九驅、一、四                 | 佐團                       | 佐工                       | 大井                   | 及發病年月日<br>發病場所         |
| 右胸膜炎<br>瘰癧入、一〇不全外<br>五九、一八肺結核 | 左胸膜炎                     | 右胸膜炎<br>液中中等           | 左胸膜炎                     | 兼微毒第二期<br>左胸膜炎           | 左胸膜炎                 | 病<br>狀                 |
| —                             | —                        | —                      | —                        | —                        | —                    | 發病後「ツ」<br>應<br>(千倍〇・二) |
| 吳病<br>七七日<br>一、二、五、日          | 吳病<br>一七二日               | 陸病<br>二四日              | 佐病<br>九六日                | 佐病<br>一九一日               | 馬病、吳病<br>六六日         | 日入院場所<br>數             |
| 一、〇、二、免後                      | 四、七、免後                   | 五、一、一、免後               | 全治、左背下<br>部濁音ヲ胎ス         | 全治、左胸下<br>部濁音ヲ胎ス         | 全治、左胸呼<br>吸運動減少      | 結轉歸年月日<br>果            |
| 四月                            | 一九月                      | 四〇月                    | 二二月                      | 三三月                      | 一〇月                  | 最初「ツ」<br>反應ヨリ<br>發病マデ  |

右合計十一例ノ胸膜炎中、東京勤務中ニ發病シタ五例症例ニ就テハ、其ノ發病狀況明瞭ナルヲ以テ次ニ詳述スル事ニス

第一例。 ■ 某。 二二歳 男子。

余ノ胸膜炎ノ成因及ビ豫防ニ關スル研究第四報告所載ノ例チアル。一九二七年七月一日四〇期普經練生トシテ入校時千倍〇・一耗ニテ「ツ」皮内反應陽性四八時間目浸潤一五耗ナリシガ其ノ後數日ニシテ右滲出性胸膜炎ヲ發シタモノテ其ノ病型ハ普通型滲出性胸膜炎チアル。

第二例。 ■ 某。 二七歳 男子。

生來健、入籍後著患無シ。一九二七年十一月一日二五期高經練生トシテ入校。當時身體各部常ナルモ同月十日「ツ」反應陽性（一四耗）。然ルニ其後約一ヶ月ヲ經テ十二月九日月例健康検査ノ際右滲出性胸膜炎ヲ發見ス。體溫三七度一分ナルモ脈搏一一八至。呼吸常。右胸前面第四肋骨以下、背面肩胛間下三分一以下濁音ヲ放チ呼吸音聲動消失ス。同月十七日横病ニ送院。在院二五日ニテ全治退院ス。

第三例。 ■ 某。 二七歳 男子。

大分縣生、生來健。入籍前職業農。大正十二年十二月一日海軍徵兵トシテ佐園ニ入團。昭和三年十一月一日海經校學經練生トシテ入校。入校時身體検査健康ニテ合格。同十一月五日「ツ」皮内反應千倍液〇・一耗注射後四八時間ニシテ直徑六耗ノ浸潤ヲ生ズ、疑陽性。次テ翌年七月十五日「ツ」皮内反應ヲ反覆スルニ一二耗ニシテ弱陽性ト成ル。次テ同月二十五日ヨリ右滲出性胸膜炎ヲ發病、體溫三七度二分、右側胸部ニ輕度ノ索引樣疼痛アリ。咳嗽無シ。自覺症少シ。同月二十九日胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ行フニ肺野及ビ肺門ニ浸潤ヲ認メザルモ右胸前第三肋間以下滲出液ノ濃厚陰影アリ。右上中葉間毛樣線右前第一肋骨ノ胸骨附著部ヨリ斜ニ外方ニ走り右前第四肋骨ノ外端ニ至リ、著シク上方ニ轉位シ且ツ斜位ヲ取ルヲ認ム。七月三十一日卒業、佐園ニ轉勤。八月十七日左病ニ入院、在院ハ一日ニテ四年十一月六日全治退院ス。昭和五年十月末現在ニ於ケル健康狀態、常。健康ニ勤務ナリ。

第四例。 ■ 某。 二一歳 男子。

明治四十三年十二月二十七日秋田縣某農村ニ於テ出生。父母健、同胞八名内一弟幼死セル外健存ス。生來健全昭和四年六月横園ニ入團ス。入籍當時ノ身長一六五・〇、胸圍六二・四〇、肺活量三九〇〇耗、胸圍九一・五、擴張八〇、種A種合格ス。海軍入籍後健康ニ勤務シ、約一ヶ年ヲ經テ昭和五年五月一日海經校へ普經練生トシテ入校ス。入校時身體検査ニヨリ各部著變無キヲ以テ合格ス。肺活量三三〇〇耗。同月六日千倍「ツベルクリン」〇・一耗ヲ以テ上膊ニ皮内反應ヲ試ムルニ四八時間目ニシテ直徑一一耗ノ浸潤ヲ生ズ。次テ同月八日再檢スルニ同様一一耗ノ浸潤ヲ生ズ。

然ルニ右「ツ」反應検査後六日ヲ經テ同月十二日短艇撓漕後右背部ニ疼痛ヲ感ズルニ至リ、同月十九日受診ス。診スルニ體格榮養佳良、體溫三七度七分、脈搏六八至、呼吸常。左胸前面第三肋間以下、同背面肩胛間下三分一以下、側胸部ニ互リ濁音ヲ放チ呼吸音及聲動減弱乃至消失ス。心臟濁音右界ハ胸骨右緣ノ二橫指外方ニ在リ。右腋窩線第八肋間ニ於テ試驗穿刺ヲ行フニ淡黃透明ニ漿液ヲ證明ス。リウアルタ氏反應強陽性。體重六五・〇、妊。肺活量八二七〇耗ニシ

テ五月五日ノ入校時身體検査時ニ比シ二週間ノ間ニ六〇〇耗ヲ減セリ。検査結核菌陰性。検尿蛋白及ビ「ウロビリノーゲン」陰性。胸部「レントゲン」寫真検査ヲ行フニ左胸前面第二肋骨以下濃厚陰影アリ、心臟ハ右方ニ轉位スルモ右胸常。肺ニ浸潤ヲ發見スル事ヲ得ズ。

其後、體溫常度保ツモ數日間ニテ胸液ハ劇増シ五月二十六日ニハ殆ド最高ニ達シ、左胸二分後面殆ソド全部濁音ヲ呈スルニ至リ、肺活量ハ二〇〇〇耗ト成リ約三週間ニシテ一三〇〇耗ヲ減少セリ。胸部「レントゲン」寫真所見(二十四日)左胸一般ニ暗黒ニシテ肺紋理ヲ認メズ、心臟ハ依然右方ニ轉位ス。赤血球沈降速度ヲ檢スルニ一時間目二二耗、二時間目五〇耗、二四時間目一〇一耗ナリ。六月二日依然トシテ胸液ノ大量蓄溜ヲ認メ肺活量ハ一八〇〇耗ニ減少シ赤血球沈降速度一時間三〇耗、二時間五九耗、二四時間一〇五耗ニ達ス。依ツテ同月東京市築地病院ニ委託入院セシム。入院後數回排液シ七月二十四日輕快退院ス。退院時肺活量三九〇〇耗ニ復セルモ赤血球沈降速度(七月二十八日)ハ一時間三六耗、二時間五七耗、二四時間目八二耗ニシテナホ速ナリ。八月十二日ヨリ普通ノ勤務ニ服セシム。九月十一日赤血球沈降速度ナホ一時間三七耗、二時間六五耗、二四時間九二耗胸部「レントゲン」透視ニヨリ左胸膜竇陰影ヲ貽スモ其他肺部ニ於テハ浸潤又ハ灰化竇ヲ發見セズ。十月十四日赤血球沈降速度一時間一三耗、二時間三三耗、二四時間八〇耗ト成リ、十二月二十四日一時間一〇耗、二時間二八耗、二四時間七八耗ト成リ、二月十日一時間七耗、二時間一八耗、二四時間七八耗ト成リ、左胸背下部ノ輕濁音ト呼吸音及ビ聲動ノ輕度減弱ヲ貽シテ治癒セリ。其間「ツベルクリン」皮内反應成績ハ一〇耗乃至二〇耗ノ間ヲ上下シ、赤沈反應正常ニ復セルト共ニ「ツ」反應上昇ノ傾向アリ。

### 第五例。 某、三一歳 男子。

右側ノ滲出性胸膜炎ナリ。長崎縣某町ニ於テ出生。父母健、同胞六名、内一兄不明症ニテ幼死、一姉感冒ニテ幼死、其他健存ス。生來健全ニシテ著患ヲ知ラズ、長ジテ某役所ノ雇ト成ル。大正十二年六月一日海軍志願兵トシテ佐世保海兵團ニ入籍ス。當時身長一六一・〇糎、體重五九・二疋、肺活量三〇〇〇耗、胸圍七五糎、擴張七糎、其他身體各部異常無シ。入籍後著患ナクシテ勤務。昭和二年五月一日輕校普教練生トシテ入校ス。當時身體検査成績、各部異常無キモ七月六日千倍「ツベルクリン」皮内反應四入時間目浸潤一三耗ニシテ陽性。同年十一月卒業。其後三ヶ年ヲ經テ昭和五年十一月一日再ビ高教練生トシテ入校ス。入校時身體検査成績身長一六二・六糎、體重五六・五疋、肺活量三五〇〇耗、體溫三六度三分其他各部異常無キモ同月六日「ツベルクリン」反應ヲ檢スルニ前回同様直徑六・一耗ノ發赤ト一七耗ノ浸潤トヲ生ジ、中央ニ紫斑ヲ呈ス。十二月二十四日胸部「レントゲン」透視検査ヲ行フニ右肺門陰影ノ濃厚ナルヲ發見ス。昭和六年一月二十日月例身體検査ノ際體溫三七度八分、肺活量二九〇〇耗ナルヲ發見ス。問診スルニ十一月下旬來感冒ノ氣味アリ一月十八日頃ヨリ輕度ノ頭痛ヲ發シ、同月二十日頃ヨリ兩側胸下部ニ輕度ノ疼痛ヲ感ズルニ至リシモノナリト謂フ。依ツテ同月二十四日精診スルニ右側胸下部ヨリ右背下部ニ互リ輕濁音ヲ放チ呼吸音及ビ聲動減弱ス。肺活量二六〇〇耗ニシテ二ヶ月半前ニ比シテ九〇〇耗ノ減少ヲ示ス。右肩胛下部ニ於テ試穿ヲ行フニ血性漿液六耗ヲ得、リザアルタ氏反應強陽性。檢尿蛋白及「ウロビリノーゲン」陰性。検査結核菌陰性。同月二十六日赤血球沈降速度ヲ檢スルニ一時間九八耗、二時間目一一六耗

二十四時間目一三〇耗ニシテ「ツベルクリン」皮内反應直徑三〇耗ノ發赤ト一七耗ノ浸潤トヲ生ズ。一月二十四日及び一月二十七日ニ胸部「レントゲン」寫眞検査ヲ行フニ右胸ニ著明ノ滲出液ヲ認メ、且右肺及び中野ニ互リ、即第二肋骨ヨリ第二肋間ニ互リ大體水平ニ走ル。境界不明ノ淡キ陰影アリ、内方ハ淡キ帶狀影ニテ右肺門影上部ニ連レリ、此陰影内ニ臟腑タル、連續セル、不整ノ節狀造構ヲ見ル。理學的ニハ何等ノ症狀ヲ呈セズ。依ツテ右滲出性胸膜炎ト診定シ安靜加療セシム。

其後一月二十八日マテ最高三八度ニ達スル發熱續キタルニ爾來平熱ヲ保ツ。胸液ハ稍々増加シ二月三日肺活量二四〇〇耗ニ減少セシモ其後排液ヲ行ハザルモ次第ニ減少シ二月十七日ニハ濁音界縮小シ、摩擦音ヲ生ジ、肺活量二九〇〇耗ニ復ス、三月十七日試穿陰性。七月十四日ニハ右肩胛下部ニ輕濁音ト呼吸音及聲動ノ輕度減弱ヲ胎スモ肺活量三一〇〇耗ニ達ス。「ツ」皮内反應ハ三月二十四日上昇シテ二五耗ト成リシモ其後二〇耗内外ヲ保ツ。唯、赤血球沈降速度ハナホ著シク亢進シ胸部「レントゲン」寫眞検査ノ成績五月二十八日ニ於テ右肺下部ノ胸液ヲ認メズ。橫隔膜境界ヲ明瞭ニス。此部分ハ癒著ノ爲メ空氣含量少ク。爲メニ全體トシテ暗キモ、肺紋様ヲ明ニ見ル事ヲ得。第二肋間ノ上記ノ不明ナル陰影ハ依然トシテ存在シ、濕戩性陰影著シク輕度トナリ。連續節狀造構明カトナリ來レリ。

## 二。地方海軍部隊ニ於ケル胸膜炎發病例

昭和四年八月末現在ニ於ケル身體歴一齊調査成績表及ビ昭和五年十二月末現在ニ於ケル各鎮守府保管ノ還納身體歴全部ヲ調査材料トシテ調査セシニ「ツ」反應陽性健康兵ヨリ發病セシ胸膜炎七四例ガアツタ。夫等ノ内譯ハ昭和二年六月入籍新兵一六例、同年十二月入籍新兵五〇例、昭和五年六月入籍計兵五例合計七五例デアル。是レヲ前項ノ東京海軍部隊ニ於ケル發病例一一例ニ合算スレバ八六例ニ上ル。

第二八表 入籍時「ツ」反應陽性者ヨリ發生セル胸膜炎

| 番<br>號 | 人<br>名 | 等<br>級 | 年<br>齡 | 「ツ」反應                 |               | 既<br>往<br>症 | 病<br>名 | 發<br>病      |        | 在<br>院 | 轉<br>歸 |        | 「ツ」反應後「ツ」應<br>應ヨリ「ツ」反應 |
|--------|--------|--------|--------|-----------------------|---------------|-------------|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|------------------------|
|        |        |        |        | 檢<br>査<br>年<br>月<br>日 | ケル<br>一<br>ウツ |             |        | 年<br>月<br>日 | 場<br>所 |        | 日<br>數 | 種<br>類 |                        |
| 一      | ■      | 三等     | 二三     | 一、二三                  | 一、一〇          | 無           | 右胸膜炎   | 三、八         | 利根     | 四七     | 治      | 利根     | 八                      |
| 二      | ■      | 三水     | 二三     | 同                     | ／             | 無           | 左胸膜炎   | 三、一〇        | 佐團     | 七九     | 治      | 佐團     | 三                      |
| 三      | ■      | 二水     | 二〇     | 同                     | 一、一〇          | 十三歳ノ時胸膜炎    | 左胸膜炎   | 四、二         | 陸奥     | 七九     | 治      | 佐團     | 一四<br>胸液結核菌            |

|        |        |        |       |             |              |         |         |         |         |             |              |         |        |         |         |        |       |       |         |
|--------|--------|--------|-------|-------------|--------------|---------|---------|---------|---------|-------------|--------------|---------|--------|---------|---------|--------|-------|-------|---------|
| 三三     | 二二     | 二一     | 二〇    | 一九          | 一八           | 一七      | 一六      | 一五      | 一四      | 一三          | 一二           | 一一      | 一〇     | 九       | 八       | 七      | 六     | 五     | 四       |
| ■      | ■      | ■      | ■     | ■           | ■            | ■       | ■       | ■       | ■       | ■           | ■            | ■       | ■      | ■       | ■       | ■      | ■     | ■     | ■       |
| 二機     | 三機     | 三水     | 三機    | 三水          | 三水           | 三水      | 三機      | 三機      | 三水      | 三機          | 二船           | 三機      | 三機     | 三機      | 三機      | 二機     | 二機    | 三水    | 二水      |
| 二〇     | 二〇     | 二二     | 二二    | 二二          | 二二           | 二三      | 二二      | 二二      | 二二      | 二二          | 二三           | 二三      | 二二     | 二二      | 二〇      | 二一     | 二〇    | 一九    | 二二      |
| 同      | 二、九    | 同      | 同     | 一、三、<br>二、三 | 三、三、<br>三、二〇 | 同       | 同       | 同       | 同       | 一、三、<br>二、三 | 三、三、<br>三、二〇 | 同       | 同      | 三、一     | 同       | 同      | 同     | 二、九   | 同       |
| /      | /      | 卅      | 十     | 十           | 十            | 卅       | 十       | 十       | 卅       | 卅           | 一            | 十       | 十      | 十       | 十       | 十      | 十     | 十     | 十       |
| 無      | 無      | 無      | 無     | 無           | 無            | 無       | 無       | 無       | 無       | 無           | 無            | 無       | 無      | 無       | 無       | 無      | 無     | 無     | 無       |
| 左胸膜炎   | 右胸膜炎   | 右胸膜炎   | 左胸膜炎  | 右胸膜炎        | 右胸膜炎、肺結核     | 兩胸膜炎    | 右胸膜炎    | 右胸膜炎    | 右胸膜炎    | 右胸膜炎        | 左胸膜炎         | 右胸膜炎    | 右胸膜炎   | 兩胸膜炎    | 右胸膜炎    | 右胸膜炎   | 右胸膜炎  | 兩胸膜炎  | 右胸膜炎    |
| 四、五    | 三、九    | 三、五    | 三、八   | 三、二         | 三、四          | 三、四     | 三、七     | 三、八     | 三、五     | 三、六         | 三、五          | 三、六     | 三、六    | 三、八     | 三、一     | 四、一    | 三、六   | 三、五   | 四、六     |
| 足柄     | 佐園     | 衣笠     | 一掃    | 長門          | 吳園           | 横園      | 金剛      | 榛名      | 霞空      | 平戸          | 二五驅          | 二四驅     | 利根     | 利根      | 加賀      | 佐空     | 同右    | 比叡    | 比叡      |
| 戸神     | 龜佐     | 湊横     | 湊横    | 湊横          | 龜吳           | 横       | 横       | 湊横      | 湊横      | 吳           | 仁同           | 民福      | 佐      | 佐       | 佐横      | 佐      | 龜佐    | 佐吳    | 佐吳      |
| 四七     | 八七     | 八〇     | 一四七   | 一三七         | 一四五          | 一三七     | 一六五     | 一二七     | 一       | 九一          | 一〇〇          | 六六      | 六九     | 一二五     | 一〇〇     | 一六九    | 四〇五   | 五四    | 五四      |
| 四、五、三〇 | 一、三、二八 | 三、八、二〇 | 四、一、二 | 四、四、二五      | 一、四、一、二、四    | 四、三、七、三 | 四、一、二、五 | 一、三、一、八 | 三、七、二、四 | 三、八、二、四     | 一、一、六        | 三、八、二、八 | 一、一、二〇 | 四、四、二、四 | 四、五、一、六 | 三、二、二〇 | 四、八、一 | 四、八、一 | 四、八、一、七 |
| 治      | 治      | 輕      | 治     | 治           | 免退           | 免       | 免       | 免       | 免       | 治           | 治            | 治       | 治      | 治       | 治       | 治      | 治     | 治     | 治       |
| 足柄     | 佐園     | 横園     | 横園    | 横園          | 龜病           | 横病      | 横病      | 湊病      | 霞空      | 吳園          | 佐園           | 佐病      | 佐園     | 佐園      | 佐園      | 佐園     | 佐園    | 佐園    | 佐園      |
| 二〇     | 一三     | 五      | 八     | 一一          | (三日)         | 四       | 七       | 八       | 五       | 六           | 三            | 六       | 六      | 八       | 一七      | 一〇     | 九     | 一八    | 一八      |
| 一      | 一      | 一      | 一     | 一           | 一            | 一       | 一       | 一       | 一       | 一           | 一            | 一       | 一      | 一       | 一       | 一      | 一     | 一     | 一       |

|        |         |         |        |         |        |        |        |       |       |          |       |        |        |        |        |       |        |
|--------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|-------|-------|----------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 四一     | 四〇      | 三九      | 三八     | 三七      | 三六     | 三五     | 三四     | 三三    | 三二    | 三一       | 三〇    | 二九     | 二八     | 二七     | 二六     | 二五    | 二四     |
| ■      | ■       | ■       | ■      | ■       | ■      | ■      | ■      | ■     | ■     | ■        | ■     | ■      | ■      | ■      | ■      | ■     | ■      |
| 二水     | 二水      | 三水      | 二水     | 二機      | 二機     | 二水     | 三機     | 二機    | 一水    | 二機       | 三水    | 三水     | 三機     | 三水     | 二水     | 三水    | 三水     |
| 二三     | 二三      | 二三      | 二三     | 二三      | 二〇     | 二三     | 二三     | 二三    | 二三    | 二三       | 二二    | 二三     | 二三     | 二三     | 二三     | 二三    | 二三     |
| 三、三〇   | 三、一五    | 三、一五    | 八、     | 三、二四    | 二、七    | 三、二七   | 三、二七   | 七、    | 同     | 三、二四     | 七、    | 三、二〇   | 同      | 三、八    | 九、一    | 同     | 三、二    |
| 十      | 十       | 十       | 一      | 十       | 十      | 十      | 十      | 十     | 一     | 十        | 十     | 十      | 十      | 卅      | 卅      | 十     | 一      |
| 十      | 十       | 十       | 十      | 十       | 十      | 十      | 十      | 十     | 十     | 十        | 十     | 十      | 十      | 十      | 十      | 十     | 十      |
| 無      | 無       | 無       | 無      | 無       | 無      | 無      | 無      | 無     | 無     | 無        | 無     | 無      | 無      | 無      | 無      | 無     | 無      |
| 左頸腺結核  | 右胸膜炎    | 左胸膜炎    | 右胸膜炎   | 左胸膜炎    | 慢性氣管枝炎 | 右胸膜炎   | 左胸膜炎   | 左胸膜炎  | 核、肛圍瘍 | 右胸膜炎、肺結核 | 右胸膜炎  | 左胸膜炎   | 右胸膜炎   | 左胸膜炎   | 左胸膜炎   | 左胸膜炎  | 右胸膜炎   |
| 一、三、二  | 三、九、二一  | 三、九、三   | 三、七、一八 | 四、七、一三  | 四、四、一三 | 四、七、二〇 | 四、三、二六 | 四、六、八 | 四、二、一 | 一、三、二五   | 三、三、三 | 三、五、一六 | 三、八、一八 | 三、五、二二 | 三、一、二五 | 三、五、五 | 三、七、一七 |
| 日向     | 平戸      | 韓崎      | 阿武隈    | 日向      | 六掃     | 扶桑     | 阿武隈    | 日向    | 吳病    | 日向       | 日向    | 扶桑     | 韓崎     | 吳團     | 長良     | 佐團    | 比叡     |
| 龜吳     | 吳       | 吳       | 龜吳橫    | 吳佐      | 同      | 同      | 同      | 同     | 同     | 同        | 同     | 同      | 吳      | 吳      | 佐島青    | 佐     | 佐橫     |
| 三五二    | 五八      | 八〇      | 一七五    | 二四四     | 一〇八    | 三〇     | 一五一    | 七四    | 一四一   | 二二三      | 二一〇   | 一二九    | 八九     | 一四一    | 一〇八    | 一五六   | 一二二    |
| 四、八、一六 | 一、三、二二  | 一、三、二二  | 四、一、二九 | 四、九、二七  |        |        | 四、九、二四 |       | 四、七、二 | 四、八、三    | 一、〇、二 | 三、九、二二 | 一、一、一四 | 三、四、二  | 三、五、一六 | 一、〇、八 | 一、二、一  |
| 治      | 治       | 治       | 治      | 治       |        |        | 免      |       | 免     | 死        | 同     | 免      | 治      | 治      | 治      | 治     | 治      |
| 吳團     | 吳團      | 同       | 吳團     | 吳病      |        |        | 吳病     |       | 同     | 同        | 同     | 吳病     | 吳團     | 吳團     | 佐病     | 佐團    | 佐團     |
| 九      | 七       | 七       | 一      | 一七      | 二二     | 一七     | 一三     | 二四    | 二二    | 一〇       | 九     | 三      | 六      | 三      | 五      | 五     | 七      |
| 五、一、七  | 五、一、〇、五 | 五、一、一、七 |        | 五、一、一、七 |        |        |        |       |       |          |       |        |        |        |        |       |        |

|             |              |               |                  |               |             |                  |               |               |              |              |             |           |             |             |                |             |             |               |
|-------------|--------------|---------------|------------------|---------------|-------------|------------------|---------------|---------------|--------------|--------------|-------------|-----------|-------------|-------------|----------------|-------------|-------------|---------------|
| 六〇          | 五九           | 五八            | 五七               | 五六            | 五五          | 五四               | 五三            | 五二            | 五一           | 五〇           | 四九          | 四八        | 四七          | 四六          | 四五             | 四四          | 四三          | 四二            |
| ■           | ■            | ■             | ■                | ■             | ■           | ■                | ■             | ■             | ■            | ■            | ■           | ■         | ■           | ■           | ■              | ■           | ■           | ■             |
| ”           | ”            | ”             | 二水               | ”             | ”           | ”                | ”             | 二機            | 二機           | 二水           | 二水          | 三水        | 二機          | 四水          | 三機             | 二水          | 三水          | 三水            |
| ”           | ”            | ”             | ”                | ”             | ”           | ”                | ”             | 二二三           | 二二二          | 二二三          | 二二三         | 二二三       | 二二二         | 二二三         | 二二三            | 二二三         | 二二三         | 二二三           |
| ”           | ”            | ”             | ”                | ”             | ”           | ”                | ”             | 一、三、<br>一七    | 一、三、<br>一七   | 一、三、<br>一七   | 九、<br>一、    | 一、<br>三、  | 九、<br>一、    | 一、<br>三、    | 三、<br>三、<br>二二 | 八、<br>二、    | 七、<br>二、    | 三、<br>三、<br>〇 |
| 十           | 十            | 十             | 十                | 十             | 十           | ／                | ／             | 十             | 十            | 十            | ／           | 十         | 十           | 十           | 十              | 十           | 十           | 十             |
|             |              |               | 無                |               |             | 無                | 無             | 無             | 無            | 無            | 無           | 無         | 無           | 無           | 無              | 無           | 無           | 無             |
| 右胸膜炎        | 右胸膜炎         | 兩胸膜炎          | 左胸膜炎             | 右胸膜炎          | 右胸膜炎        | 急性肺炎兼右滲<br>出性胸膜炎 | 右胸膜炎          | 左胸膜炎          | 右胸膜炎         | 左胸膜炎         | 胸腹膜炎        | 兩胸膜炎      | 兩胸膜炎        | 兩胸膜炎        | 左胸膜炎           | 右胸膜炎        | 右胸膜炎        | 右胸膜炎          |
| 四、<br>一、二、三 | 三、<br>五、一、八  | 五、<br>五、一、九   | 五、<br>一、二、三      | 四、<br>八、三〇    | 五、<br>一、二、八 | 一、三、<br>一、二、五    | 三、<br>四、八     | 三、<br>九、二、七   | 三、<br>一〇、一、六 | 四、<br>五、六    | 三、<br>九、一、一 | 三、<br>五、八 | 三、<br>七、二、五 | 三、<br>一、二、七 | 三、<br>九、二、一    | 三、<br>五、一、四 | 三、<br>九、四   | 三、<br>七、一、三   |
| 佐           | 陸<br>奥       | 川<br>内        | 霧<br>島           | 大<br>空        | 名<br>取      | 對<br>馬           | 佐             | 二<br>四<br>驅   | 數<br>島       | 羽<br>黑       | 對<br>馬      | 名<br>取    | 駒<br>橋      | 佐<br>團      | 神<br>通         | 十<br>四<br>驅 | 鬼<br>怒      | 那<br>珂        |
| 佐           | 佐            | 佐             | 佐<br>吳           | 佐             | 佐           | 龜<br>佐<br>同<br>仁 | 佐             | ／             | 佐            | 佐            | 佐<br>吳      | 龜<br>佐    | 佐           | 佐           | 佐              | 吳<br>馬      | 龜<br>吳      | 龜             |
| 三七〇         | 八五           | 一一一           | 一五〇              | 八四            | 一一五         | 二〇九              | 二四六           | 二八            | 八七           | 一            | 二〇〇         | 一九七       | 一九六         | 一六一         | 七七             | 一八          | 二三一         | 二八二           |
| 五、<br>一、二、三 | 三、<br>八、一、一  | 一、五、<br>〇、二、四 | 五、<br>六、二、三      | 一、四、<br>一、二、六 | 五、<br>七、二、四 | 四、<br>七、九        | 一、三、<br>一、一、一 | 一、三、<br>一、一、一 | 四、<br>一、一、二  | 四、<br>四、二〇   | 四、<br>三、一   | 四、<br>三、一 | 四、<br>七、一   | 三、<br>七、六   | 一、二、<br>三、一、一  | 三、<br>九、二、六 | 四、<br>四、二、三 | 四、<br>四、二、三   |
| 免           | 治            | 治             | 治                | 治             | 治           | 治                | 治             | 治             | 治            | 免            | 免           | 免         | 免           | 免           | 治              | 治           | 治           | 治             |
| 病佐          | 病佐           | 病佐            | 病佐               | 病佐            | 病佐          | 龜病               | 佐病            | 驅二<br>四       | 佐病           | 免            | 佐病          | 佐病        | 佐病          | 佐病          | 吳團             | 吳團          | 吳團          | 龜             |
| 一三          | 五            | 二九            | 二五               | 二〇            | 二五          | 一一               | 四             | 九             | 一〇           | 一五           | 一三          | 五         | 一一          | 一           | 七              | 一〇          | 一五          | 五             |
|             | 胸液結核菌<br>(十) |               | M(四、九、二七)<br>(十) |               |             |                  |               |               |              | 胸液結核菌<br>(十) |             |           |             |             | 100×m<br>(十)   |             |             | 100×m<br>(十)  |

「ツ」反應陽性健康者ヨリ發病セル胸膜炎ハ、同反應陰性健康者ヨリ其ノ陽性轉化ト共ニ發病セル胸膜炎ト其ノ病型ヲ異ニ

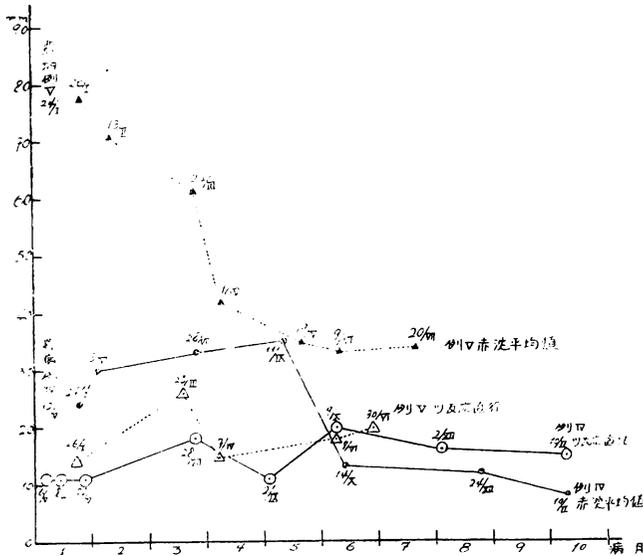
三。「ツ」反應陽性健康者ヨリ發病セシ胸膜炎ト陰性健康者ヨリ發病セシ胸膜炎

トノ病型比較

|          |      |      |      |         |         |         |         |         |      |      |      |      |       |       |
|----------|------|------|------|---------|---------|---------|---------|---------|------|------|------|------|-------|-------|
| 七五       | 七四   | 七三   | 七二   | 七一      | 七〇      | 六九      | 六八      | 六七      | 六六   | 六五   | 六四   | 六三   | 六二    | 六一    |
| 機        | 三水   | 二機   | 二水   | 二機      | 二水      | 二機      | 二水      | 二機      | 二水   | 三水   | 三機   | 三機   | 三水    | 三主    |
| 七、二九     | 三、二六 | 三、二四 | 三、二四 | 三、二四    | 三、二六    | 三、二五    | 三、一五    | 三、二六    | 三、一〇 | 一、四〇 | 一、四〇 | 一、四〇 | 一、四〇  | 一、四〇  |
| +        | +    | +    | +    | +       | +       | +       | +       | +       | +    | +    | +    | +    | +     | +     |
| +        | +    | +    | +    | +       | +       | +       | +       | +       | +    | +    | +    | +    | +     | +     |
| 急氣炎      | 肺結核  | 右胸膜炎 | 左胸膜炎 | 左胸膜炎    | 左胸膜炎    | 右胸膜炎    | 右胸膜炎    | 右胸膜炎    | 左胸膜炎 | 右胸膜炎 | 腹膜炎  | 左胸膜炎 | 右胸膜炎  | 右胸膜炎  |
| 左胸膜炎兼腹膜炎 | 右胸膜炎 | 右胸膜炎 | 左胸膜炎 | 左胸膜炎    | 左胸膜炎    | 右胸膜炎    | 右胸膜炎    | 右胸膜炎    | 左胸膜炎 | 右胸膜炎 | 腹膜炎  | 左胸膜炎 | 右胸膜炎  | 右胸膜炎  |
| 一、三〇     | 三、五  | 三、二  | 五、一  | 四、二     | 五、九     | 四、九     | 五、八     | 五、五     | 一、四  | 五、一  | 五、二  | 一、四  | 五、一   | 五、七   |
| 吳團龜      | 韓崎吳  | 朝日吳  | 鬼怒吳  | 一九驅舞    | 日向吳     | 矢矧吳     | 兵校吳     | 十九驅吳    | 淺間   | 橫    | 橫    | 橫    | 橫     | 橫     |
| 五五三      | 一二四  | 六九   | 一五五  | 五八      | 四〇二     | 三五二     | 八五      | 一九〇     |      | 一五三  | 一〇四  | 二五五  | 一〇七   |       |
| 五、四      | 三、九  | 五、四  | 五、二  | 一、五     | 一、〇     | 五、一     | 一、一     | 五、九     |      | 八、一  | 五、二  | 五、八  | 五、五   |       |
| 死        | 免    | 死    | 免    | 輕       | 治       | 治       | 輕       | 治       |      | 免    | 免    | 免    | 死     |       |
| 龜病       | 吳病   | 吳病   | 吳病   | 舞病      | 吳團      | 吳病      | 吳病      | 吳病      |      | 橫病   | 橫病   | 橫病   | 橫病    |       |
| 一六       | 三    | 二四   | 二二   | 三一      | 二〇      | 一九      | 三〇      | 二七      | 二二   | 四    | 五    | 二    | 四     | 一〇    |
|          |      |      |      | 五、一、一、四 | 五、一、一、七 | 五、一、一、九 | 五、一、一、〇 | 五、一、一、五 |      |      |      |      | 九、二、八 | 四、一、〇 |

先づ余ノ自ラ其ノ發病ヲ觀察シ、其ノ經過ヲ追跡スル事ヲ得タル、前記第一表ノ五例ニ就テ此ノ關係ヲ考察シテ見ヤ  
 ウ 其ノ内第一例乃至第四例ハ其ノ發病、經過、臨牀所見等全ク普通型滲出性胸膜炎デアツテ軍隊ニ多發スル胸膜炎  
 ノ定型の病型ヲ呈スル。殊ニ第三及四例ハ胸部「レントゲン」寫眞檢査ニヨリ肺癆變化ノ無キ事ガ證明サレテ居ル。然  
 ルニ第五例ノミハ、其ノ病型滲出性ナル點ニ於テ右四例ト類似スルガ如キモ、其ノ經過ニ於テハ著ク異ナル處ガア  
 ル。

第四圖 滲出性胸膜炎患者ノ赤沈反應及「ツベルクリン」皮内反應成績  
 (第IV例 安藤)  
 (第V例 立石)



第五例立石六某ニ於テハ一九二七年七月六日普經練生入校  
 時「ツ」反應弱陽性(二三耗)ナリシガ、其後三年半ヲ經テ一  
 九三〇年十一月六日高經練生入校時「ツ」皮内反應中陽性  
 (二七耗)ト成リシモノデアアル。其後三ヶ月ヲ經テ一九三一  
 年一月二十日右滲出性胸膜炎ヲ發見セラレタモノデアアル。  
 即チ「ツ」反應陽性時ヨリ四三ヶ月後ニ胸膜炎ヲ發病シタモ  
 ノデ、「ツ」反應陽轉後餘リ早期ニ發病シタモノトハ稱サレ  
 無イ、其ノ病型ニ於テ最モ特異ナルハ其ノ赤血球沈降速度  
 ノ異常デアアル。本例ハ前述ノ如ク「レントゲン」的ニハ肺ニ  
 異狀在ルモ臨牀的ニハ胸部ニ肺癆病變ヲ發見スル事ハ出來  
 ナイガシカシ赤血球沈降速度ノ異常亢進シ、數ヶ月ヲ經過  
 スルモ正常ニ復セナイ點ハ普通ノ滲出性胸膜炎ト趣キヲ異  
 ニシ、寧ロ肺癆ニ伴フ隨伴性胸膜炎ヲ想ハシメル。次ノ第  
 四圖ニ於テ、第三例安藤某ト其ノ赤沈反應及「ツ」皮内反應

成績ヲ比較對照スル。

其他余ノ自ラ觀察セザル諸例ニ於テハ其ノ病型ヲ詳カニセナイガ、試ミニ其ノ死亡例(粟粒結核症併發)、除役例、開放性肺癆續發例、兩側併發例、腹膜炎併發例、長期在院例(一八〇日以上)等ニ就テ「ツ」反應陰性健康者ヨリ發病セシ胸膜炎八六例ト「ツ」反應陰性健康者ヨリ發病セシ胸膜炎一〇八例トヲ比較スル。其ノ成績ハ次ノ第二九表ニ示ス通りデア  
ル。即チ死亡率、免除率、腹膜炎合併率、在院日數ニ於テハ陰性群ヨリ發病セシ胸膜炎ニ高ク、開放性肺結核併發率、兩側胸膜炎併發率ニ於テハ陽性群ヨリ發病セシ胸膜炎ニ高イ。此ノ事實ハ「ツ」反應陰性者ニハ急性惡性ノ胸膜炎多ク、陽性者ニハ慢性良性ニシテ慢性肺癆ニ續發スル所謂隨伴性胸膜炎ノ多イ傾向ヲ示スモノデアラウ。

第二九表 「ツ」反應陰性者ヨリ發病セシ胸膜炎ト陽性者ヨリ發病セシ胸膜炎トノ病型比較

| 症 例          | 「ツ」反應陰性健康者ヨリ發病セシ胸膜炎 |       | 「ツ」反應陽性健康者ヨリ發病セシ胸膜炎 |       | 合 計 |       | 備 考                |
|--------------|---------------------|-------|---------------------|-------|-----|-------|--------------------|
|              | 例 數                 | %     | 例 數                 | %     | 例 數 | %     |                    |
| 總 例          | 一〇八                 | 一〇〇・〇 | 八六                  | 一〇〇・〇 | 一九四 | 一〇〇・〇 |                    |
| 死亡例(粟粒結核症併發) | 八                   | 七・四   | 五                   | 六・三   | 一三  | 七・五   | 轉歸不明者ノ陰性群一三名、陽性群六名 |
| 免 除 例        | 二五                  | 二九・四  | 二一                  | 二六・三  | 四六  | 二六・三  |                    |
| 開放性肺結核續發例    | 三                   | 二・八   | 七                   | 八・一   | 一〇  | 五・二   |                    |
| 兩側胸膜炎例       | 一二                  | 一一・五  | 一三                  | 一五・一  | 二五  | 一二・九  |                    |
| 腹膜炎併發例       | 一三                  | 一二・〇  | 四                   | 四・七   | 一七  | 八・八   |                    |
| 一八〇日以上在院例    | 三二                  | 三三・七  | 一八                  | 二二・五  | 五〇  | 二八・五  |                    |
| 右合計(重症)      | 九三                  | 八六・〇  | 六八                  | 七九・〇  | 一六一 | 八三・〇  |                    |

病スル胸膜炎ノ中ニハ多少ノキオニゲル氏ノ所謂隨伴性胸膜炎ノ混在スルヲ否定シ得ヌ。

#### 四。「ツ」反應陽性健康兵ト陰性健康兵トノ胸膜炎發病時期比較

要之、「ツ」反應陰性健康者ヨリ發病シタ胸膜炎ト陽性健康者ヨリ發病シタ胸膜炎トハ其ノ病型ニ多少ノ差異ヲ示スモノガアル。故ニ「ツ」反應陽性健康者ヨリ發病シタ胸膜炎ノ大部分ハ陰性健康者ヨリ發病シタ胸膜炎ト同様ニ結核感染後早期ニ發病シタモノデアラウガ、一部ハ結核感染後晚期ニ發病シタ胸膜炎デアラウト考ヘラレ  
ル。即チ「ツ」反應陽性健康者ニ發

胸膜炎ガ「ツ」反應陽性轉化後數ヶ月ノ潜伏期ヲ以テ發病スルモノトシタナラバ、第一回「ツ」反應検査成績既ニ陽性ナル者ヨリ發病スル場合ハ其ノ検査後數ヶ月以内ニ發病スベク、陰性ナルモノヨリ發病スル場合ハ、夫等陰性者ニヤガテ起コルベキ「ツ」反應陽性轉化ニ從ツテ發病スベキデアル。又、實際ニ斯カル事實ヲ認め得タナラバ夫等ノ胸膜炎ノ發病ヲ「ツ」反應陽性轉化後數ヶ月以内ニ在リト逆算シテ差支無イデアラウ。

然ラバ吾等ノ場合ニ於テ果シテ如何デアルカ。一九三七年六月以來、東京及ビ地方海軍部隊ニ於テ「ツ」反應検査ヲ受ケタル數千名ノ海兵中ヨリ一九三一年六月マデニ發生セシ胸膜炎ハ合計一九四例デアアル。内第一回検査陰性ナリシ者ヨリ發病セシハ一〇八列、第一回検査陽性ナリシ者ヨリ發病セシハ八六例デアアル。右兩群ニ於テ其ノ發病時期ヲ比較シ本問題ノ解決ニ資スル(第三〇表)。

第三〇表 「ツ」反應陰性者ト陽性者トノ胸膜炎發病時期比較

| 「ツ」反應検査時ヨリ發病マデノ月次 | 「ツ」反應陰性群ヨリ發病セシ胸膜炎 |    | 「ツ」反應陽性群ヨリ發病セシ胸膜炎 |    | 以上合計 |     | 陰性群胸膜炎 |            | 陽性群胸膜炎 |           | 備考 |
|-------------------|-------------------|----|-------------------|----|------|-----|--------|------------|--------|-----------|----|
|                   | 例數                | %  | 例數                | %  | 例數   | %   | 數      | 例數%<br>108 | 數      | 例數%<br>86 |    |
| 一                 | 一                 | 一七 | 五                 | 八三 | 六    | 一〇〇 | 五      | 四・六        | 一一     | 一二・八      |    |
| 二                 | 一                 | 五〇 | 六                 | 五〇 | 八    | 二〇  | 五      | 四・六        | 一一     | 一二・八      |    |
| 三                 | 三                 | 三八 | 五                 | 六二 | 八    | 二〇  | 五      | 四・六        | 一一     | 一二・八      |    |
| 四                 | 三                 | 三八 | 五                 | 六二 | 八    | 二〇  | 五      | 四・六        | 一一     | 一二・八      |    |
| 五                 | 六                 | 四三 | 四                 | 五七 | 一〇   | 二四  | 一五     | 一四・九       | 一七     | 一九・八      |    |
| 六                 | 六                 | 四三 | 四                 | 五七 | 一〇   | 二四  | 一五     | 一四・九       | 一七     | 一九・八      |    |
| 七                 | 四                 | 四五 | 五                 | 五五 | 九    | 二二  | 一      | 一〇・二       | 一四     | 一六・二      |    |
| 八                 | 四                 | 四五 | 五                 | 五五 | 九    | 二二  | 一      | 一〇・二       | 一四     | 一六・二      |    |
| 九                 | 三                 | 三八 | 五                 | 六二 | 八    | 二〇  | 一      | 一〇・二       | 一四     | 一六・二      |    |
| 一〇                | 六                 | 五〇 | 六                 | 五〇 | 一二   | 三〇  | 二〇     | 一八・五       | 一一     | 一二・八      |    |
| 一一                | 六                 | 五〇 | 六                 | 五〇 | 一二   | 三〇  | 二〇     | 一八・五       | 一一     | 一二・八      |    |
| 一二                | 六                 | 五〇 | 六                 | 五〇 | 一二   | 三〇  | 二〇     | 一八・五       | 一一     | 一二・八      |    |

森 說 小林「ツベルクリンアレルギー」ト肋膜炎

|    |    |    |    |    |                        |     |     |     |     |     |     |     |     |      |      |  |      |     |     |     |     |     |     |     |     |
|----|----|----|----|----|------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|--|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 三八 | 三七 | 三六 | 三五 | 三四 | 三三                     | 三二  | 三一  | 三〇  | 二九  | 二八  | 二七  | 二六  | 二五  | 二四   | 二三   | 二二   | 二一   | 二〇  | 一九  | 一八  | 一七  | 一六  | 一五  | 一四  | 一三  |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 二〇                     | 一〇  | 一〇  | 〇三  | 〇三  | 〇〇  | 二二  | 二二  | 二二  | 四三   | 三七   | 九七   | 七三   | 三一  | 一一  | 三一  | 一一  | 一一  | 二二  | 二二  | 二三  |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 六七                     | 〇〇  | 五〇  | 〇七  | 七五  | 〇〇  | 六七  | 一〇  | 五〇  | 六七   | 一〇   | 七〇   | 九〇   | 七〇  | 六〇  | 七五  | 二五  | 三三  | 五〇  | 六七  | 四三  |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 一〇                     | 一〇  | 一〇  | 一一  | 一一  | 〇〇  | 一〇  | 〇二  | 〇二  | 二〇   | 〇三   | 一一   | 三二   | 一一  | 三二  | 一一  | 三二  | 一一  | 二一  | 一四  | 一四  |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 三三                     | 〇〇  | 五〇  | 一〇  | 二五  | 〇〇  | 三三  | 〇〇  | 五〇  | 三三   | 〇〇   | 三〇   | 一〇   | 三〇  | 四〇  | 二五  | 七五  | 六七  | 五〇  | 三三  | 五七  |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 三〇                     | 〇二  | 〇二  | 一四  | 〇〇  | 〇〇  | 三二  | 二四  | 〇〇  | 六三   | 一〇   | 一〇   | 一〇   | 一〇  | 一〇  | 四四  | 四三  | 四三  | 四三  | 三七  | 三七  |
| 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃                      | 〃   | 〃   | 〃   | 〃   | 〃   | 〃   | 〃   | 〃   | 〃    | 〃    | 〃  | 〃    | 〃   | 〃   | 〃   | 〃   | 〃   | 〃   | 〃   | 〃   |
| 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 三                      | 三   | 三   | 三   | 三   | 三   | 六   | 六   | 六   | 一四   | 一四   | 一九   | 一九   | 五   | 五   | 五   | 五   | 七   | 七   | 七   | 七   |
| 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 二・八                    | 二・八 | 二・八 | 二・八 | 二・八 | 二・八 | 五・六 | 五・六 | 五・六 | 一三・〇 | 一三・〇 | 一七・六   | 一七・六 | 四・六 | 四・六 | 四・六 | 四・六 | 六・五 | 六・五 | 六・五 | 六・五 |
| 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 二                      | 二   | 二   | 二   | 二   | 二   | 三   | 三   | 三   | 五    | 五    | 六  | 六    | 六   | 六   | 六   | 六   | 七   | 七   | 七   | 七   |
| 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 〇  | 二・三                    | 二・三 | 二・三 | 二・三 | 二・三 | 二・三 | 三・五 | 三・五 | 三・五 | 五・八  | 五・八  | 七・〇  | 七・〇  | 七・〇 | 七・〇 | 七・〇 | 七・〇 | 八・三 | 八・三 | 八・三 | 八・三 |
|    |    |    |    |    | 三月第一回「ツ」反應ヲ行ヒシ徴兵ハ滿期ト成ル |     |     |     |     |     |     |     |     |      |      | 一月三月又ハ七月第一回「ツ」検査ヲ行ヒシモノナレバ翌年八月又ハ翌々年二月又ハ四月ニ相當ス |      |     |     |     |     |     |     |     |     |

| 計  | 一〇八 | 八六 | 一九四 | 一〇八 | 一〇〇 | 八六 | 一〇〇 |
|----|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|
| 三九 | ○   | ○  | ○   | ○   | ○   |    |     |
| 四〇 | ○   |    | ○   | ○   | ○   |    |     |
| 四一 | ○   | ○  | ○   | ○   | ○   | 一  | 一・二 |
| 四二 | ○   | ○  | ○   | ○   | ○   |    |     |
| 四三 | ○   |    | ○   | ○   | ○   |    |     |
| 四四 | ○   |    | ○   | ○   | ○   | 一  | 一・二 |
| 四五 | ○   | ○  | ○   | ○   | ○   |    |     |
| 四六 | ○   | ○  | ○   | ○   | ○   |    |     |
| 四七 | ○   | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○   |
| 四八 | ○   | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○   |

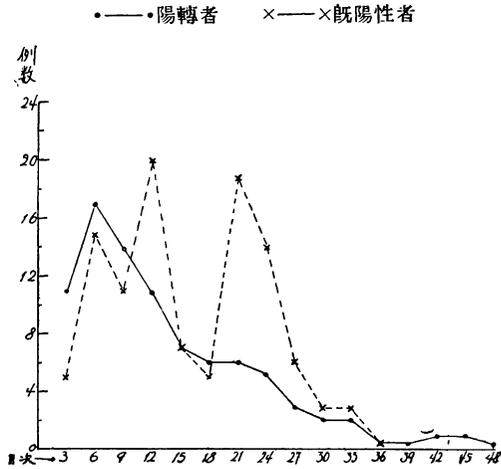
「ツ」反應陰性者ト陽性者トノ胸膜炎發病時期ヲ比較スルニ陰性者ヨリハ第二半期及ビ第四半期ニ多發スル傾向アルニ反シ、陽性者ヨリハ第一半期ニ著シク多發シ其後次第ニ衰へ第四半期ニ至ルニ増加セズ。從ツテ陰性者ト陽性者トノ胸膜炎發病數比較ハ第一半期ニ於テハ二〇對二八ナルモ第二半期ニハ三一對二一ニ變ジ、第三半期ニハ再ビ同數ト成ルモ第四半期ニハ再ビ三三對一一ト成ル。右ノ成績ヲ大觀スルニ「ツ」反應陽性者ヨリ胸膜炎ヲ發スル場合ハ、始メノ一年間ニ其ノ大部分五八%ヲ出シ、次ノ一年間ニハ二八%ヲ發スルニ過ギナイ。反之、陰性者ニ於テハ始メノ一年間ニ四九%ヲ發シ、次ノ一年間ニモ四一%ヲ發スル。胸膜炎ノ如何ニモ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病セルヲ想ハシムルノデア

一

ル。ナホ此ノ關係ハ次ノ曲線ニヨリ一層明瞭ニ諒解スルコトガ出來ル(第五圖)。  
 「ツ」反應陰性者ト陽性者トノ胸膜炎發病曲線ヲ觀ルニ陽性者ヨリハ始メノ一年間ニ發病シ盡シテ仕舞フガ、陰性者ヨリハ第二年ニモ及ブ。第三年ニ於テ發病數少キハ滿期等ニテ既デニ觀察外ニ脱セル者多キニモヨルベシ。三月「ツ」反應ヲ檢査セシ徵兵ニ於テハ三二ヶ月後ニ滿期ト成ル勘定デア

ル。ナホ「ツ」反應陰性者ヨリノ發病ハ殆ンド年一回ノ週期ヲ以テ消長スル傾向ガアル。是レハ季節ト關係スル處大ナルベク、其ノ本態ニ就テハ他日改メテ研究スル事トスル。唯本論

第五圖 「ツ」反應陽轉者ト既陽性トノ  
胸膜炎發病時期比較



文ニ於テ必要ナルハ兩曲線ノ比較デアアルガ、同一ノ季節的或ハ其他ノ關係ニ於テ而モナホ斯克モ特異ノ隔離ヲ來セルハ吾人ノ豫想ニ適中シ欣快ヲ禁ズル能ハザル處デアアル。

胸膜炎ノ中ニハ全然其ノ病型ヲ異ニシ、「ツ」反應陽轉ト無關係ニ發病シタモノモ混在スルデアラウ。第二、年以後、入りテ、散發的ニ發生セル胸膜炎例、例ヘバ立六某ノ如キ症例ハ其ノ成因ヲ別ニ考フル方ガヨイノデアアルマイカ。

### 五。「ツ」反應陽性健康兵ト陰性健康兵トノ胸膜炎發病率比較

「ツ」反應陽性健康兵ト陰性健康兵ハ何レガ胸膜炎ヲ發生シ易イカ。

胸膜炎ガ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病スルモノトシテモ夫レハ必ずシモ海軍入籍後ノ「ツ」反應検査後ニ起コッタ轉化者ノミニ發病スルト限ラナイ。海軍入籍後ノ第一回「ツ」反應直前ニ於テ「ツ」反應ノ陽性ニ成ツタモノ即チ入籍時既デニ「ツ」反應陽性ナ者ヨリモ斯克ノ如ク後日ニ於テ胸膜炎ヲ發病スル可能性ガ在ルノデアアル。夫レニシテモ我が海軍入籍後ニ於ケル第一回「ツ」反應後、海軍在籍數年中其ノ陽性兵ト陰性兵ト何レガ胸膜炎ヲ多ク發病セシカ。此ノ「ツ」反應陰性

者ト陰性者トノ胸膜炎發病率ノ問題ノ解決ニハ一定數ノ「ツ」反應既檢者ニ對シ、或ル一定期間ニ於ケル胸膜炎ノ發生數即チ發病率ヲ見出ス事ガ必要デアル。然シ乍ラ、斯カル調査ハ必ズシモ容易デハ無イ。幸ヒ茲ニ次ノ調査ガアル。

第三一表 海經校練生入校時「ツ」反應ト其後ノ胸膜炎及ビ肺結核(開放性)發病率

| 番 號      | 級 名 | 入校年月日 | 第一回「ツ」<br>反應年月日 | 觀察期<br>間月數 | 「ツ」反應陰性群 |        | 「ツ」反應陽性群    |        |        |
|----------|-----|-------|-----------------|------------|----------|--------|-------------|--------|--------|
|          |     |       |                 |            | 總員數      | 胸膜炎發病數 | 總員數         | 胸膜炎發病數 | 肺結核發病數 |
| 一        | 二四高 | 一、一、二 | 七、七、二四          | 四一         | 二        | 五〇     | 西立、二前、      | 一      |        |
| 二        | 四〇普 | 二、五、二 | 七、七、八           | 四一         | 〇        | 二一     | 的穗立、三日、山、   | 二      |        |
| 三        | 二五高 | 二、一、二 | 二、一、一〇          | 三六         | 〇        | 三五     | 岩、一村、牛、佐、沼、 | 四      |        |
| 四        | 四一普 | 二、二、二 | 二、二、二           | 三五         | 〇        | 二三     | 佐中、二        | 〇      |        |
| 五        | 四二普 | 三、五、三 | 五、一、〇           | 三〇         | 一        | 二二     | 〇           | 〇      |        |
| 六        | 二六高 | 三、一、三 | 三、一、五           | 二四         | 〇        | 三四     | 野塚、二        | 〇      |        |
| 七        | 四三普 | 三、一、三 | 三、一、五           | 二四         | 〇        | 一八     | 〇           | 〇      |        |
| 八        | 四四普 | 四、五、四 | 七、一、七           | 一七         | 〇        | 二二     | 〇           | 〇      |        |
| 九        | 二七高 | 四、一、四 | 四、一、四           | 一二         | 一        | 四二     | 〇           | 〇      |        |
| 一〇       | 四五普 | 四、一、四 | 四、一、六           | 一二         | 〇        | 四二     | 〇           | 〇      |        |
| 一一       | 四六普 | 四、五、五 | 五、五、六           | 六          | 〇        | 四二     | 安           | 一      |        |
| 一二       | 二八高 | 五、一、五 | 一、一、六           | 九          | 二        | 五六     | 〇           | 〇      |        |
| 一三       | 四七普 | 五、一、五 | 一、一、六           | 六          | 〇        | 四七     | 〇           | 〇      |        |
| 一四       | 四八普 | 六、五、二 | 六、五、四           | 六          | 一        | 三五     | 〇           | 〇      |        |
| 合計       |     |       |                 |            | 一〇八      | 四八     | 一一          | 一四     |        |
| 兩群發病率百分比 |     |       |                 |            | 一〇〇      | 六・五    | 一・八         | 二・三    | 二・九    |

備考 第一一一號ハ一九三〇年一〇月迄、其他ハ三一年六月マテ觀察。

余ハ一九二七年六月東京海軍部隊數百名ニ「ツ」皮内反應ヲ檢シ、其後モ新入者ニ對シ同検査ヲ施行スルヲ例トシ今日ニ至ルモノデアルガ其ノ内經校練生通計五九五名ノ運命ヲ調べテ見ル(第三一表)。陰性群一〇八名中ヨリ七例即チ六・五%ノ胸膜炎ヲ發シ、陽性群四八七名ヨリ一一例即チ二・二%ノ胸膜炎ヲ發シテ居ル。即チ六・五對二・三即チ七四%對二六%ノ比デ陰性者ハ胸

膜炎發病率が高い。然ルニ肺結核(開放性)ノ發生ヲ見ルニ陰性群一〇八名ヨリ二例即チ一・八%ナルニ對シ、陽性群四八七名ヨリハ一四例即チ二・九%デアアル。即陽性者ノ方ガ斷然肺結核發病率が高いノデアアル。即チ六乃至四一ヶ月ノ將來ニ於テハ必ズ胸膜炎ハ「ツ」反應陰性群ヨリ發シ易イ、肺結核(開放性)ハ「ツ」反應陽性群ヨリ發シ易イト言フ事ニ成ル。之ヲ換言スレバ普通ノ滲出性胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病スルガ、普通ノ開放性肺結核ハ「ツ」反應陽性轉化後晚期ニ發病スルト云フ事デアアル。但シ玆ニ肺結核ト稱スルハ全ク普通ノ臨牀的診斷ニヨツタモノデアツテ「レントゲン」診斷ニヨツテ始メテ診斷シ得ル程度ノ早期浸潤ノ如キハ算入サレテ居ナイ。

ナホ我が海軍ニ於テハ一九二七年八月、二九年一月、同年三月、三〇年十月等ニ於テ各海兵團新兵ニ「ツ」皮内反應ヲ試ミタガ夫等ノ運命ハ如何デアアルガ。柴田敏夫博士ハ一九二七年六月及十二月入團ノ海兵團新兵ニシテ在團中「ツ」反應検査ノ行ハレタル兵員五五九七名ニ對シ、其後一九二九年八月三十一日現在マデ約一ケ年半乃至六ケ年ノ胸膜炎、肺結核等ノ發生狀況ヲ調査シ、陰性群二〇八二名ヨリハ四八例(二三%)、陽性群ヨリハ五二例(一・五%)ノ胸膜炎發生ヲ見タト謂フ。反之、肺結核ハ陰性群ヨリ二例(〇・一%)陽性群ヨリ一九例(〇・五%)ノ發生ヲ見タリト云フ。右柴田博士ノ調査材料タル一九二七年及二八年「ツ」皮内反應ニ於テハ百倍「ツベルクリン」液皮内注射後四八時間目ニ於ケル皮膚浸潤直徑九耗以下ヲ直チニ陰性トセシモノニシテ右余ノ場合ト少ク其ノ標準ヲ異ニスルモ、其ノ結果ハ大凡同一デアアル。即チ、觀察期間約一ケ年半乃至二年ニ過ギザルヲ以テ未ダ一般ニ胸膜炎發生數少ナルモ陰性者ニ高率ニシテ陽性者ニ低率ナル事ニハ相違ハナイ。

余ハ一九二七年六月以來、一九三〇年六月ニ至ル四年間ニ於テ我が海軍全般ニ於テ發生セシ胸膜炎例ヲ各鎮守府保管ノ身體歴等ニヨリテ調査シ其ノ内既往ニ於テ「ツ」反應検査ヲ受ケ居リシモノ總數一九四例ヲ得タ。此ノ一九四例ノ材料ニ就テ其ノ陰性者ニ發病セシヤ陽性者ニ發病セシヤヲ調査セシニ、前記八六例ノ「ツ」反應陽性健康兵ヨリ發病セシ胸膜炎ヲ得タノデアアル。是レヲ先ニ報告セシ陰性健康兵ニ發病セシ一〇八例ニ比スレバ明カニ少イノデアアル。但シ右調査材料

一二四例中ニハ前記柴田博士ノ材料一〇〇例モ包含スルモノニシテ、從ツテ此ノ「ツ」反應陽性ハ浸潤一〇耗以上、陰性ハ九耗以下トシテ判定シタ例ガ多數ヲ占メル。兔モアレ、「ツ」反應陰性兵ヨリ發病セシ胸膜炎一〇八例ニ對シ、陽性兵ヨリ發病セシ胸膜炎八六例ノ比デアアル。是レヲ百分比トスレバ五五%ト四五%ノ比ト成ル。陰性者ヨリ發病シタ胸膜炎ノ方ガ明カニ多イノデアアル。然シ乍ラ、之レハ直チニ陰性群及ビ陽性群ノ發病率ノ比ヲ示スモノデハ無イ。元來、海軍兵員ニハ「ツ」反應陽性者ノ方ガ多イノデアアル。今假リニ、前記柴田博士ノ新兵五五九七名ニ於ケル「ツ」反應陽性率六三%ヲ取ツテ、茲ニ適用スルナラバ、次第九表ニ示ス計算ト成ル。即チ「ツ」反應陰性健康者ハ其ノ後三乃至四年ノ間、於テハ六九ノ胸膜炎發病可能性ガアルハ、對シ、同反應陽性健康者ハ三・一ノ同病發病可能性ガアル事ヲ示ス。此ノ關係ハ

第三二表 「ツ」反應陰性者ト陽性者トノ胸膜炎發病率比較

| 胸膜炎<br>例實數<br>(a) | 計<br>算            | 陰性群<br>ト陽性<br>群トノ<br>百分比<br>(b) |                               | 發病率<br>比率<br>(c) | 發病率<br>百分比<br>(d) |
|-------------------|-------------------|---------------------------------|-------------------------------|------------------|-------------------|
|                   |                   | $b = a \times \frac{100}{194}$  | $b = a \times \frac{100}{63}$ |                  |                   |
| 一〇八例              | 例(1) 健康者ヨリ發病セシ胸膜炎 | 五六%                             |                               | 一五二              | 六九%               |
| 八六例               | 例(2) 健康者ヨリ發病セシ胸膜炎 | 四四%                             |                               | 七〇               | 三一%               |
| 一九四例              | 合計                | 一〇〇%                            |                               | 二二二              | 一〇〇%              |

第八表ニ於ケル陰陽兩群ニ於ケル胸膜炎發病率比六・五對二・三即チ七四%對二六%ト偶然ニモ殆ンド一致シ陰性群ニ斷然高率ナルヲ示スノデアアル。

斯ク胸膜炎ハ入校時「ツ」反應陽性ナリシ者ヨリ發病スル事ハ事實デアアルガ、夫レハ陰性者ヨリ發病スルモノニ比スレバ明カニ少數デアアル。故ニ夫等ノ胸膜炎ハ假リニ普通ノ滲出性胸膜炎デナイトシテモ、胸膜炎ノ多數(約七割)ハ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病スルト謂ヘルノデアアル。然ルニナホ夫等陽性者ヨリ發病セシ胸膜炎モ亦前述ノ如ク必ずシモ直チニ「ツ」反應陽性轉化後晚期ニ發病シタモノトハ言ハレナイノデアアル。殊ニ斯ク胸膜炎ノ多數ハ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病スル傾向アル事實ニ鑑ミ、夫レ等モ亦早期ニ發病シタモノト考ヘル方ガ至當デアアル。即チ夫等ノ多クハ入校後第一回「ツ」反應検査直前ニ於テ「ツ」反

應ノ陽性ト成ツタモノヨリ發病シタ者カモ知レナイノデアル。

然シ乍ラ「ツ」反應陰性者ニ發セシ胸膜炎ト陽性者ニ發病セシ胸膜炎トハ其ノ病型ヲ異ニスルモノガアル。即チ「ツ」反應陽性者ニハ慢性肺核ヲ發スル事ガ多イノデアルカラ、夫等胸膜炎ノ内ニハ所謂隨伴性胸膜炎モ多少含まレテ居ルカモ知レナイノデアル。此ノ問題ヲ決定スル爲メニハ更ラニ詳シク其ノ胸膜炎ノ臨牀的病型ヲ檢討シテ見ル必要ガアル。從來カカル「ツ」反應陽性者ニ發病シタ胸膜炎ヲ以テ直チニ其ノ全部ガ慢性肺癆ヨリノ續發症ト考ヘル傾向ガアツタガ、必ズシモ然ラザル事丈ケハ事實デアル。

之ヲ要スルニ普通型ノ滲出性胸膜炎ハ「ツ」反應陰性ナリシ健康者ヨリ、其ノ陽性轉化ニ伴ツテ發病スルモノガ多イガ、又、「ツ」反應陽性ナリシ健康者ヨリモ發病スル事ガアル。其ノ場合ハ夫レガ、「ツ」反應陽性轉化ニ伴ツタモノカ否カ判定ニ苦シムガ、(一)其ノ大多數ハ其ノ病型ニ於テ陰性者ヨリ發病シタモノト異ナル處無イ事、(二)其ノ大多數ハ「ツ」反應陽性ナリシ時ヨリ半年又ハ一ケ年以内ニ發病スル事、(三)「ツ」反應陽性者ヨリノ發病率ハ陰性者ノ七ニ對シテ僅カ三ニ過ギザル事等ノ諸點ヲ綜合考察シ、恐ラク其ノ大部分ハ「ツ」反應陽性轉化後早期(半年又ハ一年)ニ發病シタモノト解スベキデアル。而シテ其他ノ小部分ハ慢性肺癆等ニ續發シタ「ツ」反應陽性轉化後晚期性ノ異型胸膜炎ト解スベキデアアル。

然ラバ何故ニ滲出性胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ於テノミ多發スルカ。「ツベルクリンアレルギー」ハ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ於テ強度ナルハ事實ナルモ、晚期ニ於テモ亦強度ナル事ガアル。故ニ右ノ事實ヲ以テ胸膜炎發病ノ原因ヲ直チニ「ツベルクリンアレルギー」ニ歸スル事ハ出來無イノデアル。斯カル「ツベルクリンアレルギー」ト胸膜炎發病機轉トノ關係ハ更ラニ研究ヲ要スル問題デアル。吾人ハ先ヅ茲ニ胸膜炎ノ「ハ」反應陽性轉化後早期ニ於テノミ多發スル事實ヲ闡明シ得タルニ満足スルモノデアル。

#### 六。第四部結論

一。「ツベルクリン」皮内反應陽性ナル健康兵ニ、其後約三—四年以内ニ於テ胸膜炎ヲ發病シタモノガ八六例アル。是等ノ胸膜炎ハ果シテ「ツ」反應陽性轉化後晚期ニ發病シタモノデアラウカ。

二。「ツ」反應陽性健康兵ヨリ發病セシ胸膜炎八六例ノ病型ヲ「ツ」反應陰性健康兵ニ發病シタ胸膜炎一〇八例ノ夫レト比較スルニ、大體同型ナルモノ多キモ前者ニ於テハ開放性肺結核併發例及ビ兩側胸膜炎併發例比較的多ク後者ニ於テハ急性惡性例ガ比較的多イ 故ニ「ツ」反應陽性群胸膜炎ニハ多少ノ結核感染後晚期ニ發病スル胸膜炎ヲ混在スル。

三。「ツ」反應陽性健康兵ヨリ發病スル胸膜炎八六例ト「ツ」反應陰性健康兵ヨリ發病スル胸膜炎一〇八例トノ發病時期ヲ比較スルニ前者ニ於テハ始メノ一年間ニ發病シ次ノ二年目ニハ殆ンド發病スルモノ無キニ至ルモ後者ニ於テハ一年目ニ於テモ二年目ニ於テモ同様ニ發病スル故ニ「ツ」反應陽性健康兵ヨリ發病シタ胸膜炎八六例モ亦、其ノ大部分ハ「ツ」反應陽性轉化後半年乃至一年以内ニ發病シタモノデ、唯少數例ノミガ例外トシテ「ツ」反應陽性轉化後晚期ニ發病シタモノト解スベキデアル。

四。海兵五九五名ノ六乃至四一ヶ月間ニ於ケル胸膜炎發病率ハ「ツ」反應陽性者ハ二・二%ナルニ對シ陰性者ハ六・五%デアッタ。即チ將來數年間ニ於ケル胸膜炎發病ノ可能性ハ陽性者ニ於テ三ニシテ陰性者ニ於テ七デアアル。斯ク胸膜炎ハ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病スル事多キモノナルヲ以テ「ツ」反應陽性群ヨリ發病セシ胸膜炎八六例モ亦恐ラク其ノ大部ハ「ツ」反應検査直前ニ於テ「ツ」反應陽性轉化ノ在ツタモノデアラウ。

五。胸膜炎ガ「ツ」反應陰性者ヨリ發病シタル場合ハ同反應陽性轉化後早期ニ發病シタモノナル事明カデアアルガ、陽性者ヨリ發病シタル場合ト雖モ必ズシモ「ツ」反應陽性轉化後晚期ニ發病シタモノトハ言ヘナイ。前四項ノ事實ヨリ推論スレバ宜シク其ノ大部分ハ「ツ」反應陽性轉化後早期ニ發病シタモノト解スベキデアアル。但シ、其ノ場合「ツベルクリンアレルギー」ガ胸膜炎發病ノ原因ナリヤ否ヤハ更ラニ研究ヲ要スル問題デアアル。(第四部終)

## 第五部 總 括

### 一。「ツベルクリン」反應陽性轉化ト胸膜炎ノ發病



「ツベルクリン」皮内反應ノ成績カラ推定シ得ル限リニ於テハ極メテ強度デアリマス。恐ラク其ノ個體ガ將來再ビ得ル事能ハザル程ノ強イ「アレルギー」ヲ「ツ」反應陽轉後ニ乃至三ヶ月ノ間ニ得ルノデアリマス。此ノ極メテ強イ「アレルギー」ノ時期ニ繼イデ屢々胸膜炎ガ發病スルノデアリマス。斯ク「アレルギー」ノ上昇ト胸膜炎ノ發病トハ明カニ同時性デアリマス。ダガシカシ其ノ間果シテ因果ノ關係有リヤ否ヤ、若シ有リトスレバ如何ナル關係アリヤ。是レハ更ラニ研究ヲ要スル問題デアリマス。私ハ未ダ此ノ問題ニ就テ意見ヲ述ベ難キヲ遺憾ト存ジマス。

### 三. 滲出性胸膜炎ノ成因ニ關スル考察

「ツベルクリン」反應陽性轉化後早期ニ於テ胸膜炎ノ發病スル事ハ嚴然タル事實デアリマス。此ノ事實カラ胸膜炎ノ成因ヲ考察スルニハ先ヅ、此ノ「ツベルクリン」反應陽性轉化後早期殊ニ其ノ第一期ヨリ第二期ニ互ル時期ノ體況ヲ詳ニシ、其ノ特徴ヲ明カニセテバ成リマセン。私ハ其ノ特徴トシテ「ツベルクリンアレルギー」ノ強イト謂フ事實、肺臟ニ新鮮ナル初期變化群初感染竈及肺門淋巴腺竈ノ存在スル事實、結核菌血症ノ存在スルデアラウト思ハレル事實ノ三ツヲ擧ゲタイト思ヒマス。而シテ夫等ノ内ノ一部或ハ全部ガ關與シテ、胸膜ニ結核菌感染性ノ滲出性炎症ヲ發病スルニ至ルモノト考察シマス。ナホ此ノ胸膜炎ノ發病ニ際シ、其ノ個體物質代謝狀態、植物性神經系狀等ノ之レニ影響スベキ事モ想像スルニ難クナイ處デアリマス。

是レヲ以テ私ノ宿題報告ヲ終リマス。(終)

(本稿ハ昭和六年四月ノ學會宿題報告ニ其後同年九月ニ至ル間ニ於テ研究セル成績ヲ追加シタルモノナリ。)

### 關係文獻

- 1) 小林義雄, 結核初感染ニ繼發スル胸膜炎(一九二六年十一月十九日、海軍軍醫會議演要旨)、海軍軍醫雜誌、第一六卷、第一號、第四〇頁、(一九二七年三月)。
- 2) 小林義雄, 海軍胸膜炎ノ成因ニ關スル考察(一九二七年四月二十二日、海軍軍醫會議演要旨)、海軍軍醫雜誌、第一六卷、第三號、第一六一頁、(一九二七年七月)。
- 3) 小林義雄, 海軍胸膜炎ノ豫防ニ關スル考察(一九二七年五月二十日、海軍軍醫會議演要旨)、海軍軍醫雜誌、第一六卷、第三號、第一六三頁、(一九二七年七月)。
- 4) 小林義雄, 海軍ノ胸膜炎問題、醫事公論、第八一九號、(一九二八年三月)。
- 5) 小林義雄, 胸膜炎ノ發生病理(綜說)、東西醫學大觀、第六號、(一九二八年三月)。
- 6) 小林義雄, 「ツベルクリン」反應(綜說)、東西醫學大觀、第一二號、(一九二八年三月)。

八年九月)。7) **小林義雄**，特發性肋膜炎ノ成因ニ關スル一考察。實驗醫報。第一五年。第一八〇號。(一九二九年十月)。8) **小林義雄**，「ツベルクリン」皮内反應ト其ノ新解釋。治療及處方。第一一七號。(一九二九年十二月)。9) **小林義雄**，特發性胸膜炎ノ結核感染早期發見說。東京醫事新誌。第二六六二號。(一九三〇年二月)。10) **小林義雄**及**田邊優**，**神立金作**，健康者ノ「ツベルクリン」反應ト胸部「レントゲン」所見。東京醫事新誌。第二六六三號。(一九三〇年三月)。11) **小林義雄**，青年期ニ於ケル「ツベルクリン」反應陽性轉化ト其ノ症狀。東京醫事新誌。第二六六四號。(一九三〇年三月)。12) **小林義雄**，「ツベルクリン」反應ノ陽性轉化ト胸膜炎ノ發生。東京醫事新誌。第二六六五號。(一九三〇年三月)。13) **小林義雄**，「ツベルクリン」反應陰性海兵ニ對スル胸膜炎豫防。東京醫事新誌。第二六八四。五號。(一九三〇年七月及八月)。14) **小林義雄**，「ツベルクリン」反應ノ實地應用。東西醫學大觀。第三二號。(一九三〇年五月)。15) **小林義雄**，軍隊胸膜炎ノ成因ニ就テ。(第八回。日本醫學會。軍醫醫學部會議演說記錄)。海軍軍醫會雜誌。第一九卷。第四號。(一九三〇年六月)。16) **小林義雄**，胸膜炎ノ成因及豫防ニ關スル研究。(第二五回。醫學談話會演說遠記)。東西醫學大觀。第三三號。(一九三〇年六月)。17) **小林義雄**，胸膜炎ノ發生病理ト其ノ治療方針。臨床醫學。第一八年。第三。四號。(一九三〇年三。四月)。18) **小林義雄**，肋膜炎ニ關スル新知見。内外治療。第五年。第八號。(一九三〇年八月)。19) **小林義雄**，結核ノ豫防注射。東西醫學大觀。第三六號。(一九三〇年九月)。20) **小林義雄**，「ツベルクリン」反應ノ陽性轉化ニ就テ。日本醫事新報。(第四四五號。(一九三一年二月)。21) **小林義雄**，「ツベルクリン」反應ノ「アレルギ」一トト肋膜炎。(第九回。日本結核病學會總會宿題報告要旨)。並ニ其ノ附議結核。第九卷。第六號。(一九三一年六月)。22) **小林義雄**，海軍胸膜炎經過者ノ「ツベルクリン」反應。赤沈反應及ビ胸部「レントゲン」所見。東京醫事新誌。第二七二六號。(一九三一年五月)。23) **小林義雄**，「ツベルクリン」陰性健康者ノ胸部「レントゲン」所見。東京醫事新誌。第二七二七號。(一九三一年五月)。24) **小林義雄**，「ツベルクリン」反應陰性健康者ノ消極的「アレルギ」ノ狀態ニ在ル結核感染者ナリヤ。東京醫事新誌。第二七三一號。(一九三一年六月)。25) **小林義雄**，「ツベルクリン」反應ニ就テ。大阪醫事新誌。第二卷。第六號。(一九三一年六月)。26) **小林義雄**，胸膜炎ノ發病ト氣候トノ關係。臨床醫學。第一九年。第七號。(一九三一年七月)。27) **小林義雄**，「ツベルクリン」反應陰性健康者ノ所謂生物學的潛伏期乃至不全「アレルギ」ノ狀態ニ至ル結核感染者ナリヤ。東京醫事新誌。第二七三七號。(一九三一年八月)。28) **小林義雄**，「ツベルクリン」反應陰性健康者ノ結核治療ニヨル積極的「アレルギ」ナリヤ。東京醫事新誌。第二七四三及四號。(一九三一年九月)。29) **小林義雄**，**岡治道**，滲出性粟粒結核ノ一例。(剖驗材料供覽)。第一〇七回。内科集談會演說要旨)。日本內科學會雜誌。第一六卷。第五號。第五六九頁。(一九二八年五月)。**岡治道**，急性粟粒結核。日本傳染病學會雜誌。第四卷。第八一〇號。(一九三〇年八月)。30) **岡治道**，結核初期變化群ト肋膜炎トノ關係學會結核。第六卷。第五九二頁。(一九一八年五月)。31) **上田春治郎**，帝國海軍ニ於ケル胸膜炎ノ研究。其一。胸膜炎ト結核トノ關係結核。第六卷。第六號。(一九二八年六月)。32) **有馬英二**，**山科清三**，**不破秀三**，肋膜炎發生ニ關スル研究。(第二報)。(學會)結核。第七卷。第八號。(一九二八年九月)。33) **今村荒男**，結核非感染者ノ感染後ニ於ケル結核性疾患。醫事公論。第九一二號。(一九三一年一月)。